



はつあい

初愛

4U (for you...)

デジタル特装版

初愛4U (for you...)

～はつあい～ デジタル特装版

- ・あらしのよる」(初愛～はつあい～26)
- ・5センチメートルのあなた」(初愛～はつあい～27)
- ・いじわるなキスをさせてね」(初愛～はつあい～28)
- ・八月の無邪気」(初愛～はつあい～29)
- ・白い体験」(初愛～はつあい～30)
- ・ありふれたロマンス」(初愛～はつあい～31)
- ・ふたりのベッド」(初愛～はつあい～32)
- ・鼓動にさわって…」(初愛～はつあい～33)





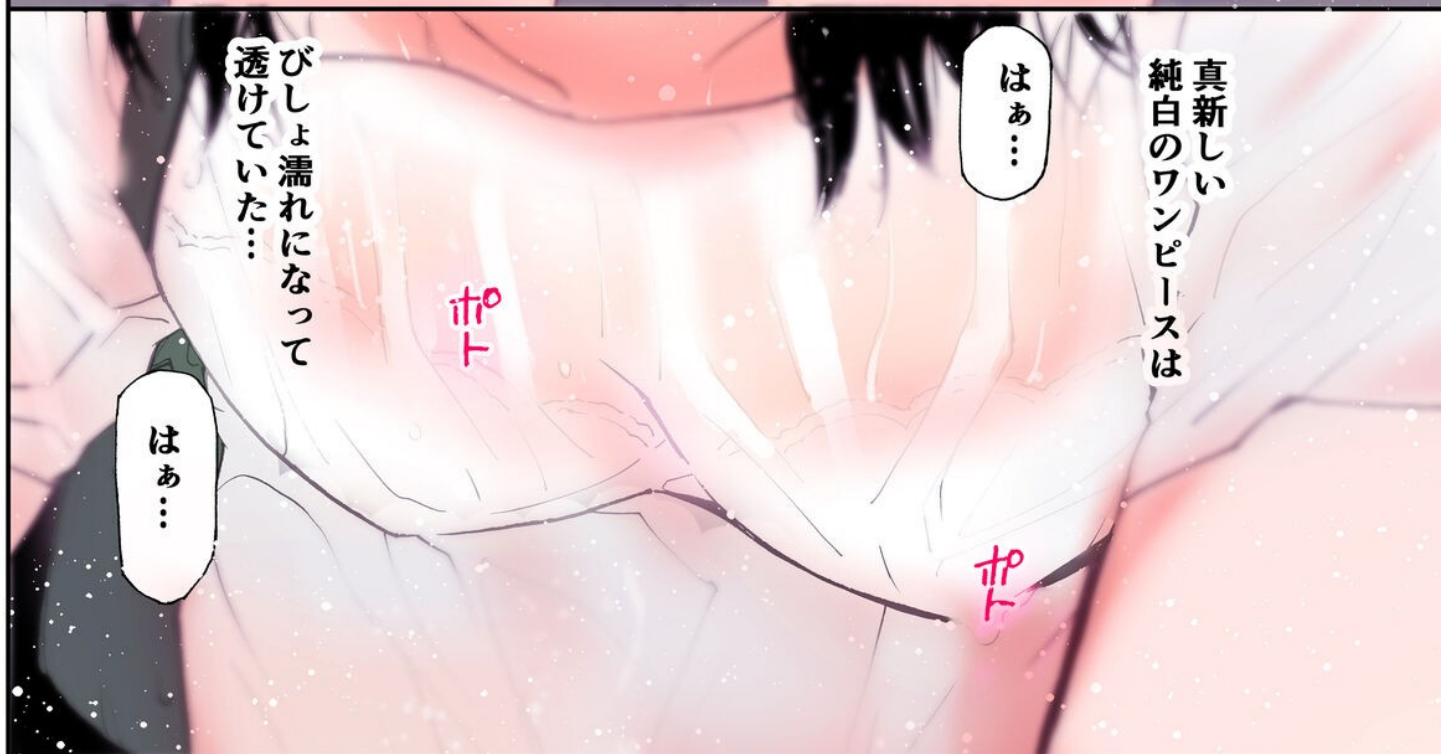
あらしのよる





はあッ…

はあッ…



真新しい
純白のワンピースは

はあ…

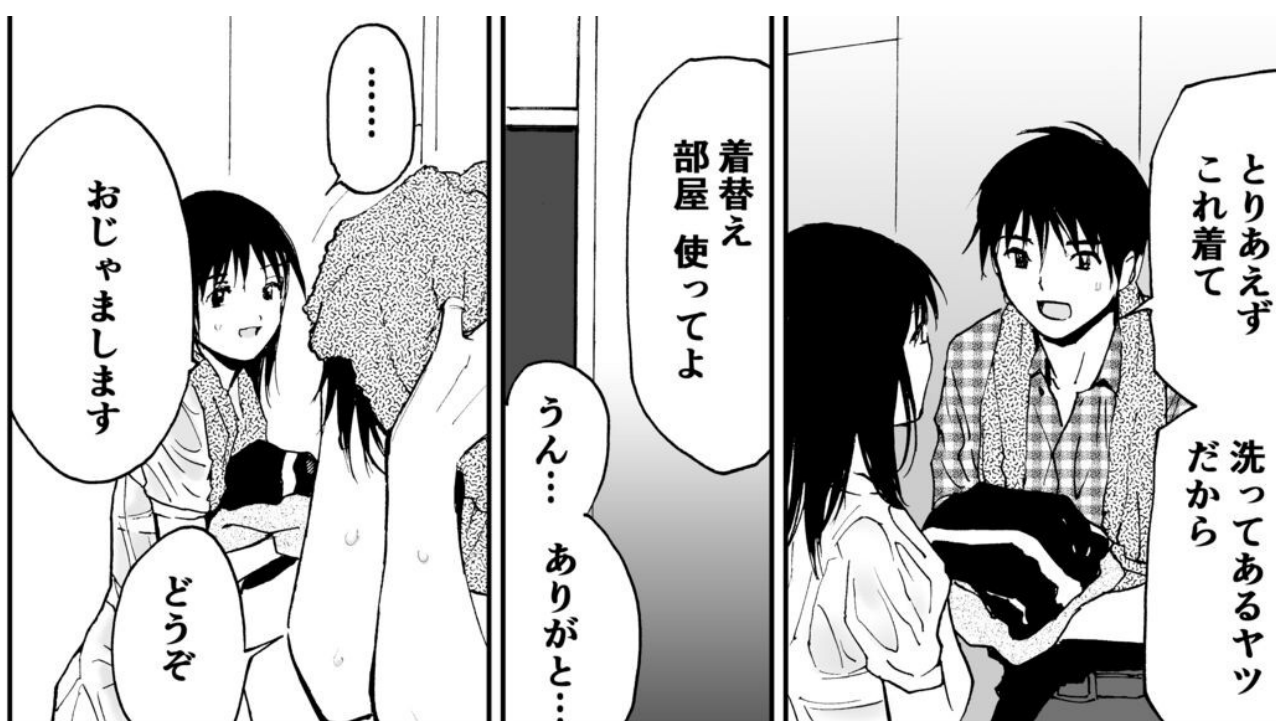
ポ
ト

ポ
ト

びしょ濡れになって
透けていた…

はあ…







どうしょ……



交通機関に
大きな影響が
出ています

うわあ……

復旧の見通しは
立っておらず
現在……

今日
帰れない……



最初のキス…

二度目のキス…

三度目のキスからは…

舌を絡ませたキスに
なった…

ん…

くちゅ…

ア

ア

ア

ホントはねわたし
今日のデートで
キスまでいけたらいいなって…

想ってた…

どうしょ…

展開…

はやすぎるかな…



もう…!!

はッ…

はッ…

ガッ

ガッ

止まら
ないッ…!!

はッ

チゅ

う……



咲ちゃん…!!

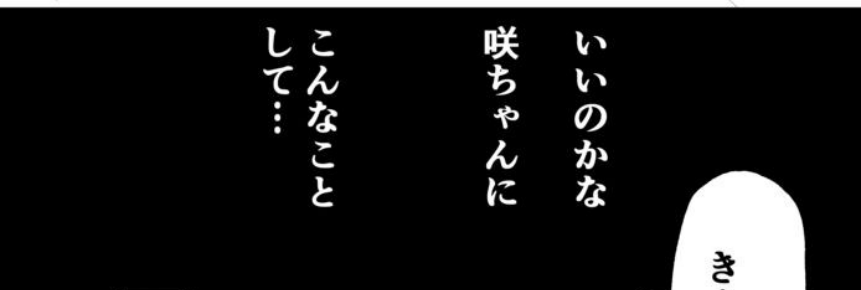
ん……



う……



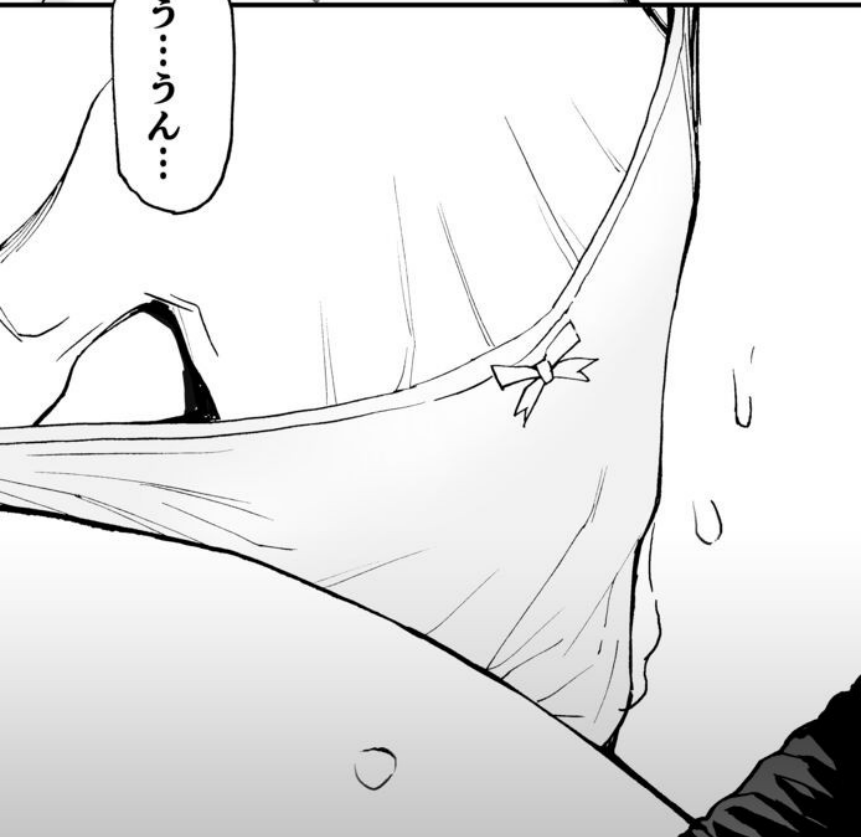
んあ……



いいのかな
咲ちゃんに
こんなこと
して……



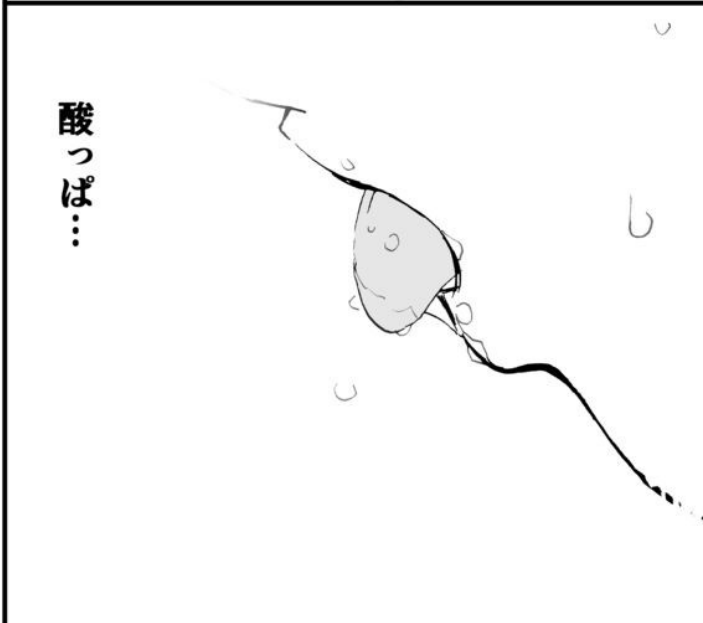
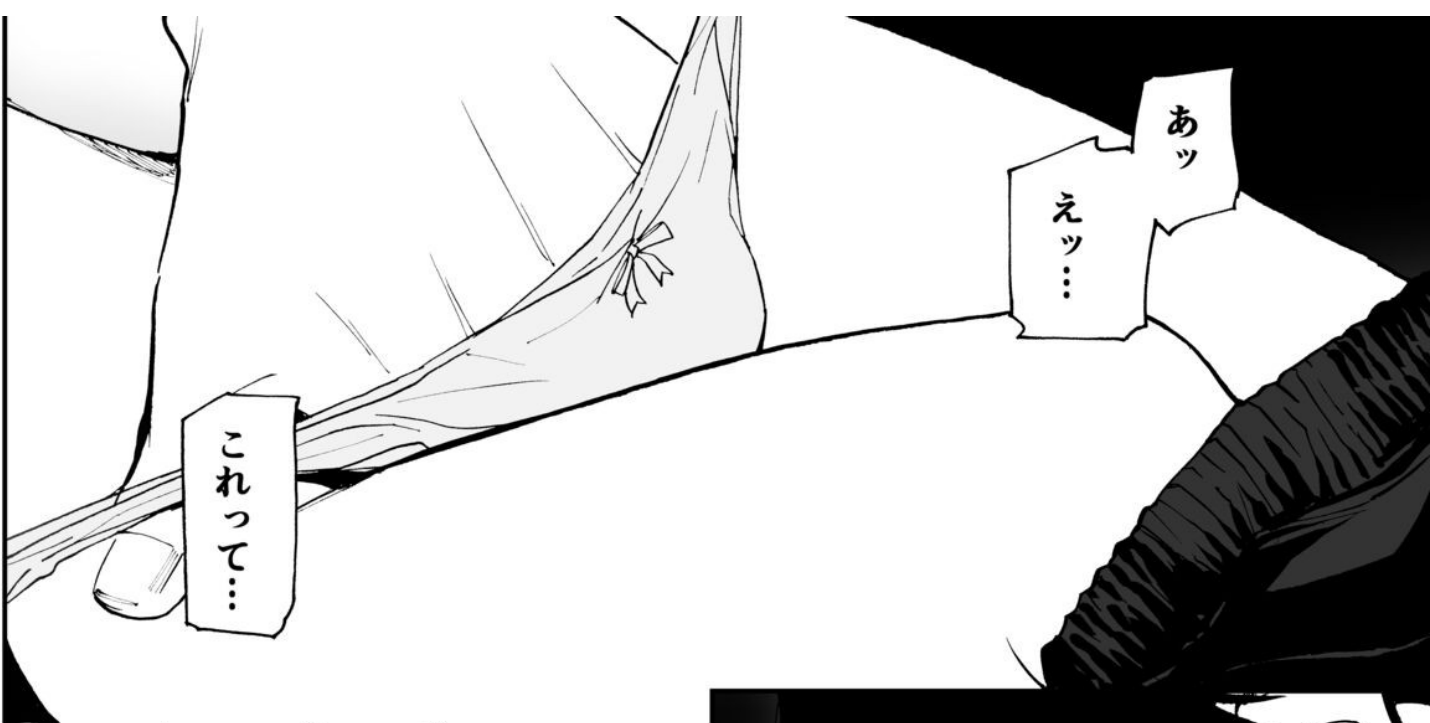
き……
気持ちいい?



う……うん……



あ……







咲ちゃん
あなの...

待って
孝也くん...!!



は...

は...



ああ...
ああ...
ある!!

それって
挿れていいって
...ことだよな

あるよ!!



ごめん...
避妊具
あるかな...?

え...



あは
ちゃんと用意
してたんだ...♡

挿れる...!!



挿れる…!!



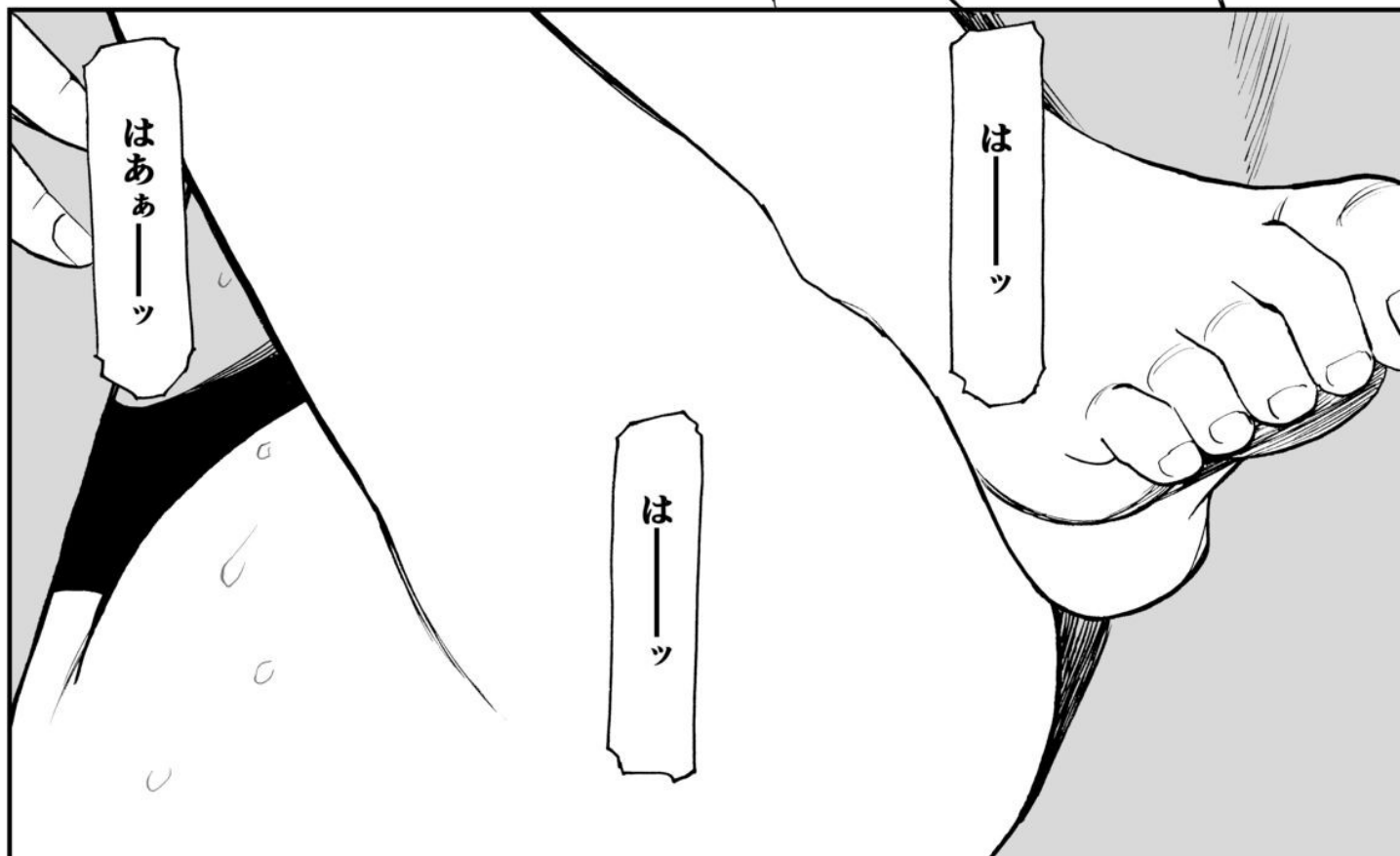
割れ目



ヌルって…



すごい
格好に
させてしまった…





はあぁ——ッ

は——ッ

はあぁ——あッ

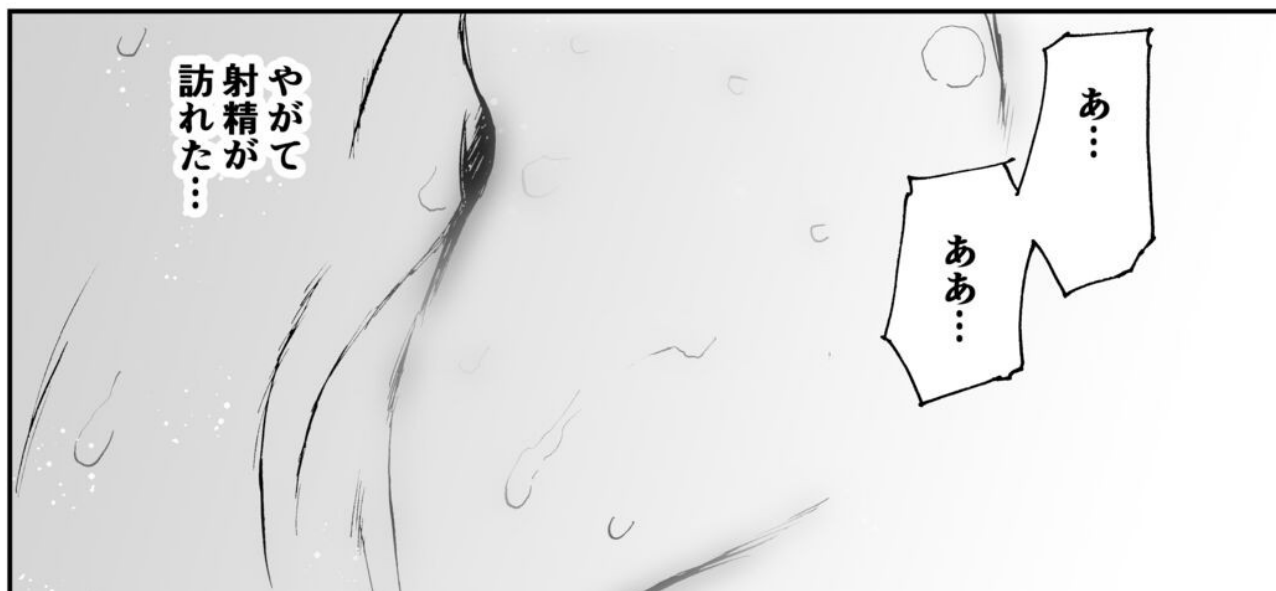


ん……んッ

う……

は……

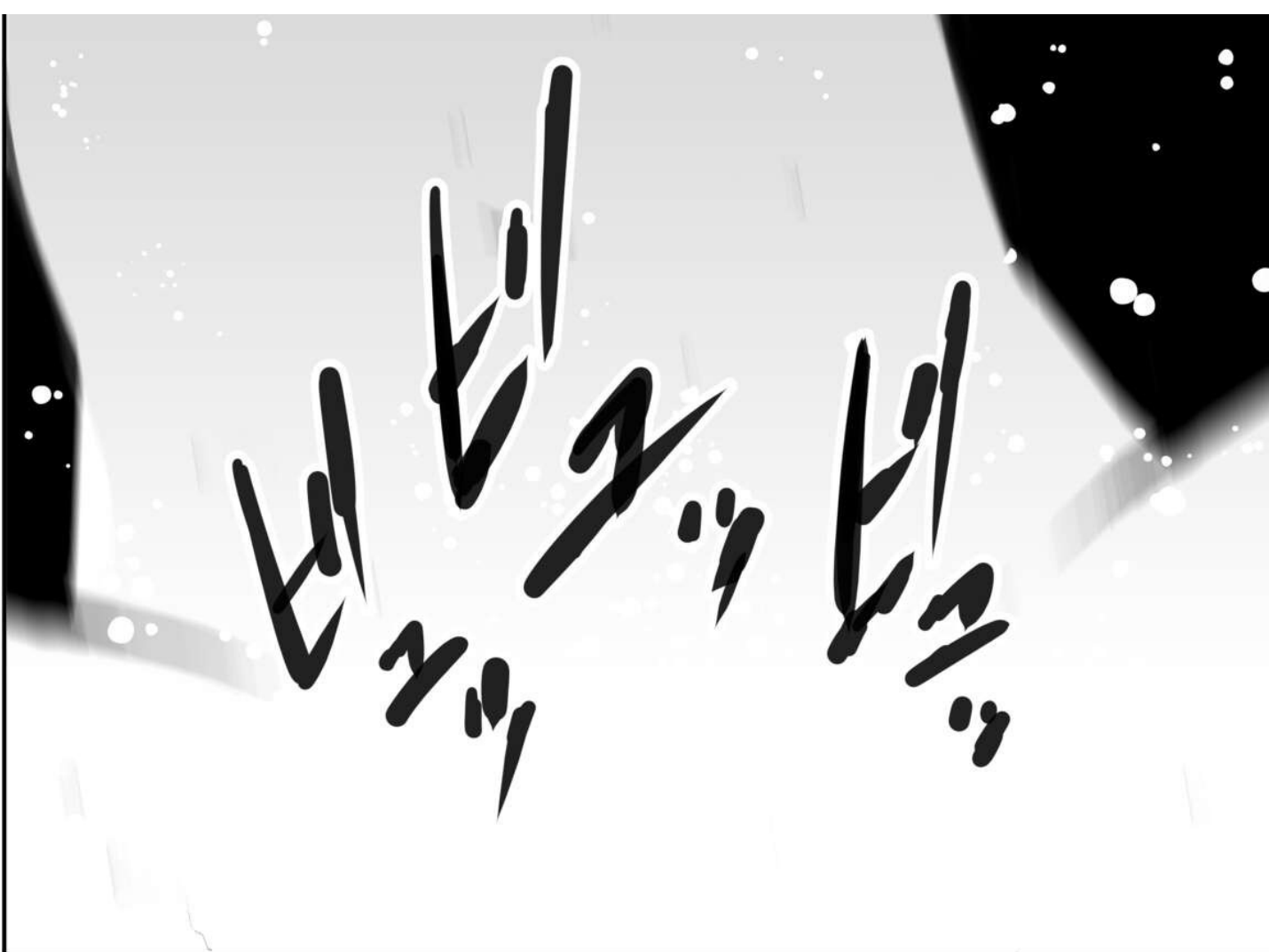
背中がゾクリとした…



やがて
射精が
訪れた…

あ……

ああ……



引き抜いた跡
は…

ポツカリと
穴に
なっていた



はあ…

はあ…

はあ…

下腹が
彼女の体液で
濡れていた





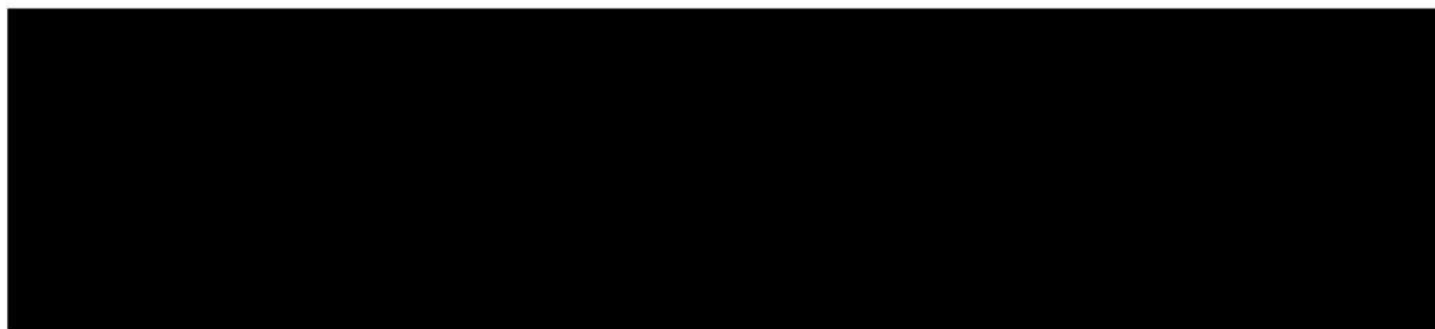
ボクたちセックスをしたんだよね

結ばれたんだよね

ふたりは
この世界で
特別な関係に
なったんだよね

.....
そうだよ

そうだよ





ア

咲ちゃん!!

待機ランプも
すべて消えた…闇

外の嵐の音が
迫ってきた

どこ?

ア



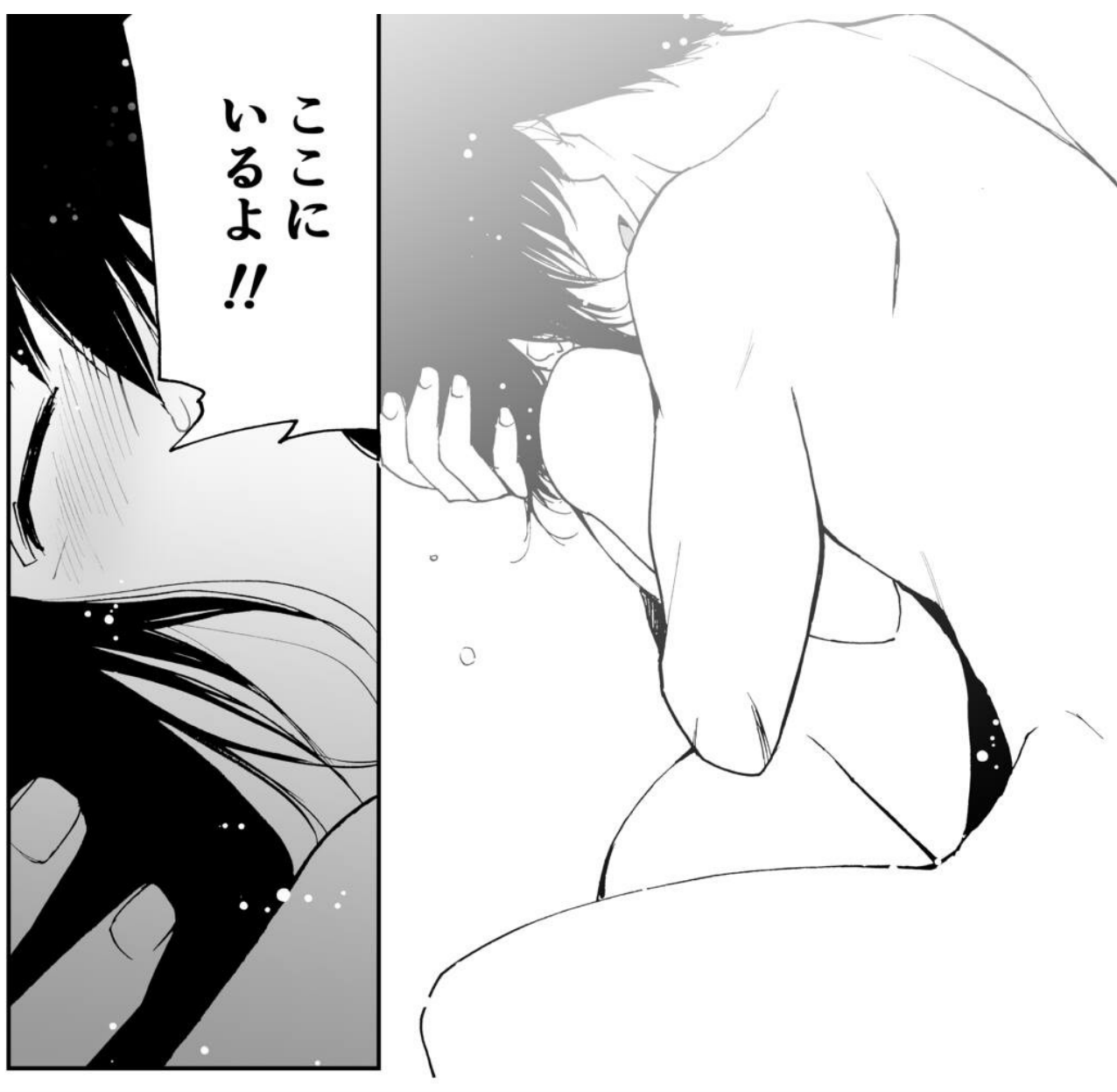
咲ちゃん!!



咲ちゃん!!



咲ちゃん!!

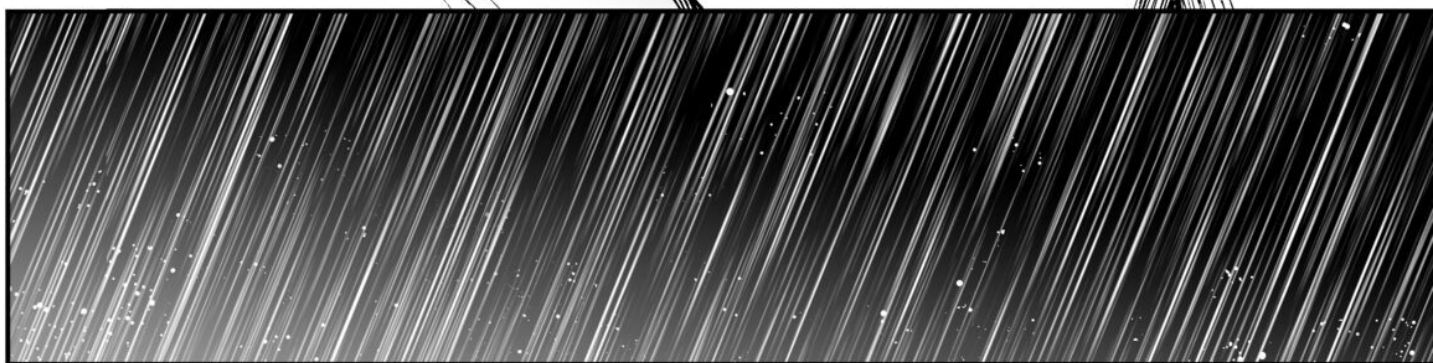




息がかかる…

心臓の音が
身体に響いてくる…

あったかい…



大丈夫だ

まちがいない!!



愛してるッ!!

きゅっ

孝也くん…



しゅ…

しゅ
好き
い♡

あらしのよる



5

センチメートルの

かなた





か…

顔…近いね…



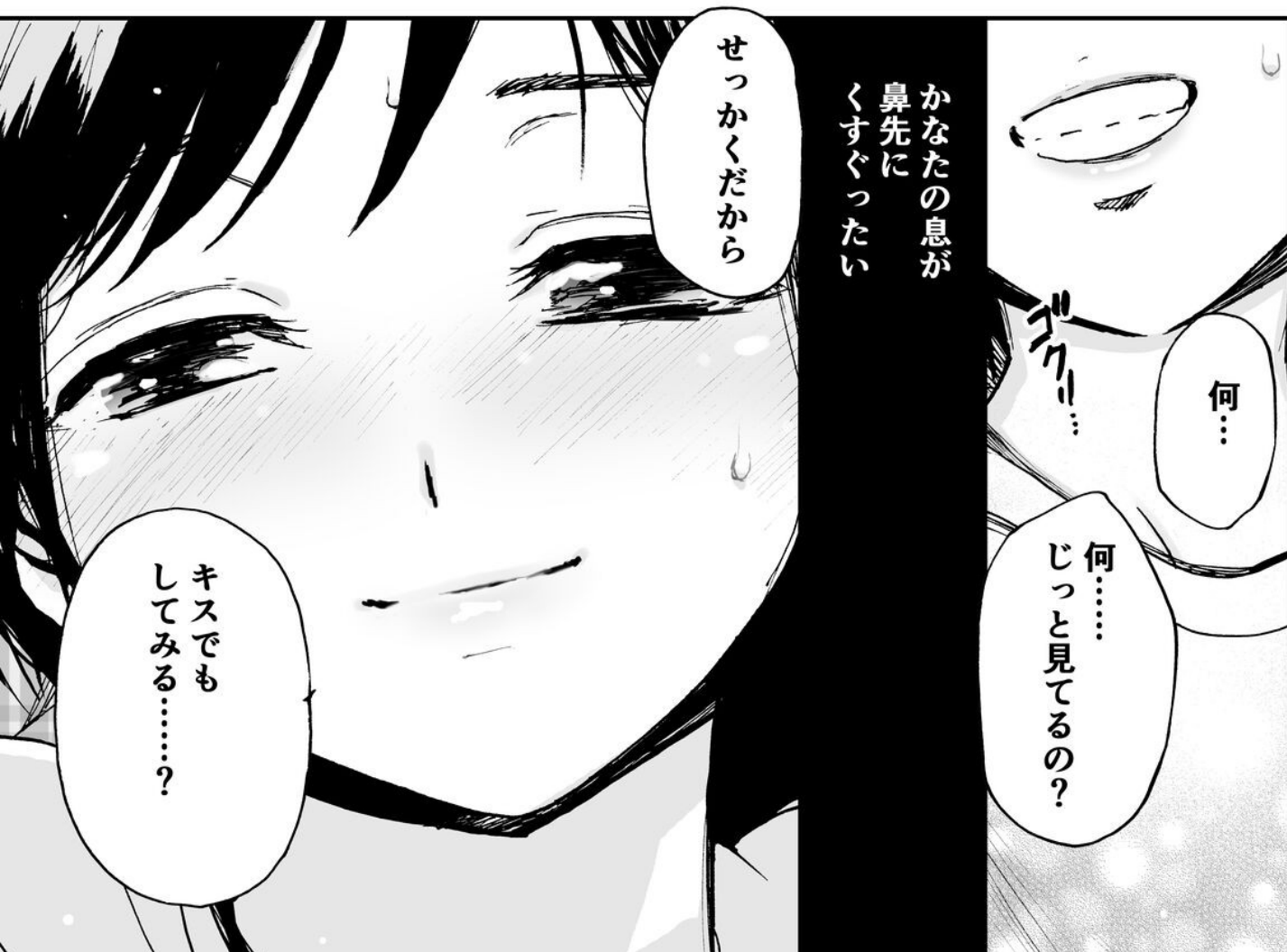
ち

近づ…



わずか
5センチメートルの先に
かなたの顔があった

いつものように
バカみたいに
笑って
ふざけあってた
だけの
はずだった
……



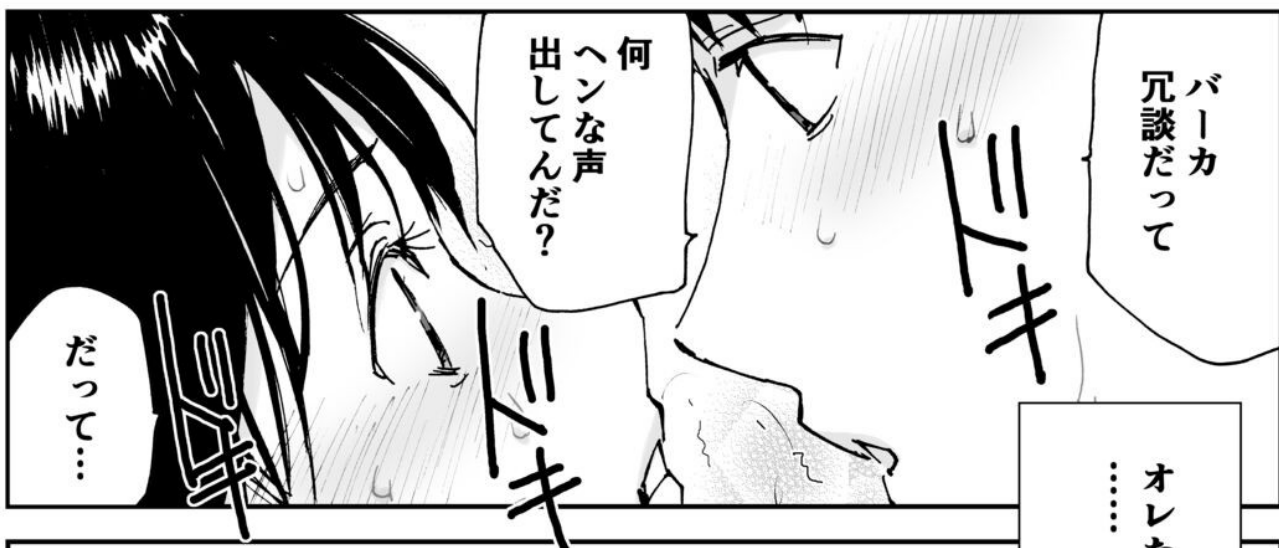
せっかくだから

かなたの息が
鼻先に
くすぐったい

何……

何……
じっと見てるの？

キスでも
してみる……？



かなたとオレは
出会った時から
すごく気が合った



コオラア!!

ボクのパンツ
見たでしょ

純太郎
ドスケベ!!

痛ッ!!

アッ

見てねーよ!!

かなたの
パンツなんて
見ても
しょーがねーだろ!!

一緒にいるだけで
楽しくて

同性の友だち
以上に
何でも話せて

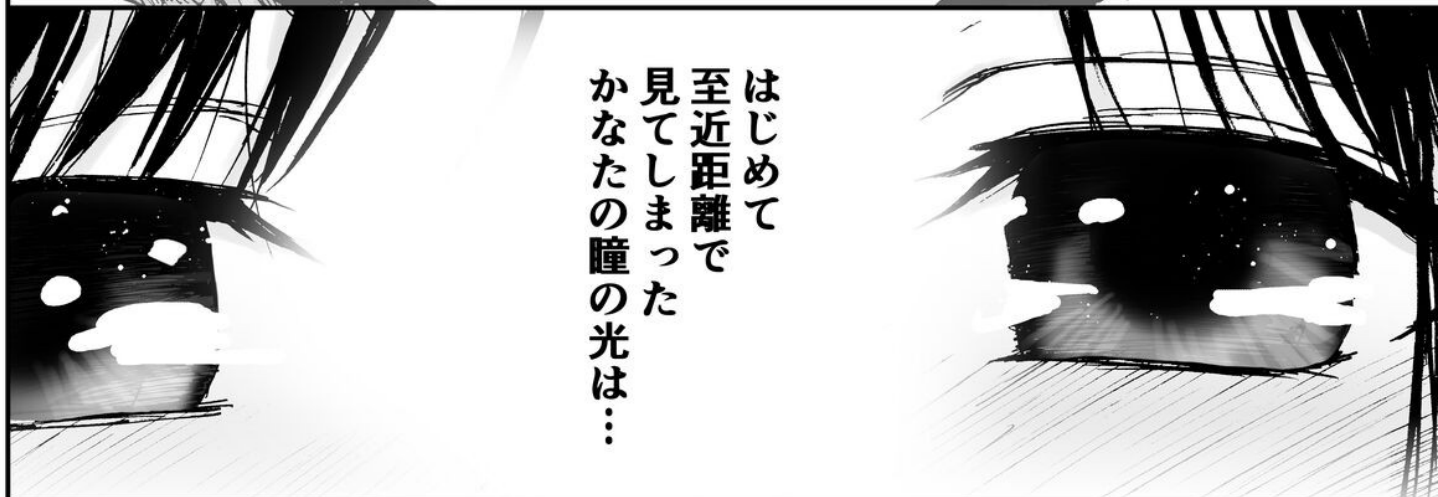
いつも
笑ってばかり
いた



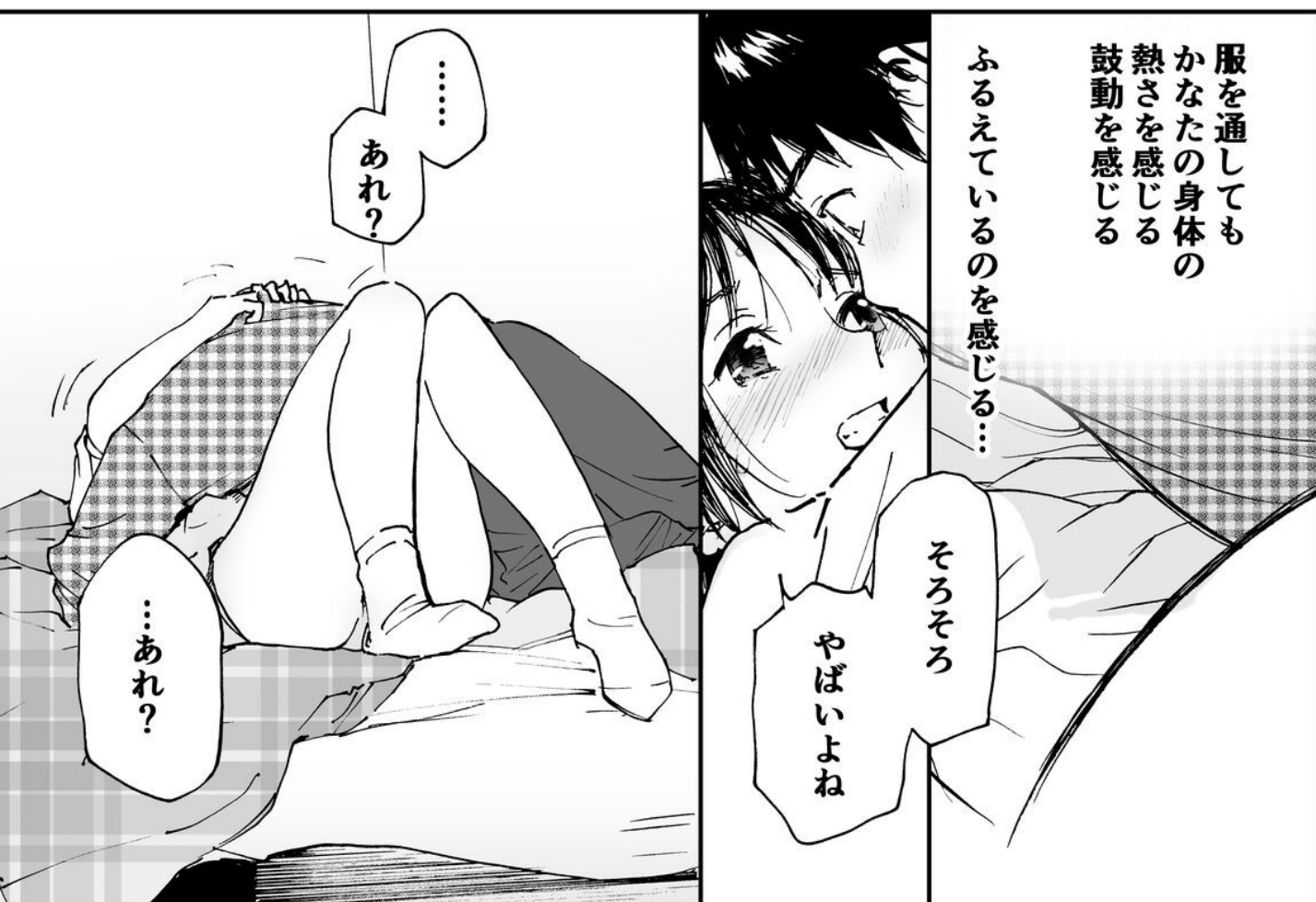
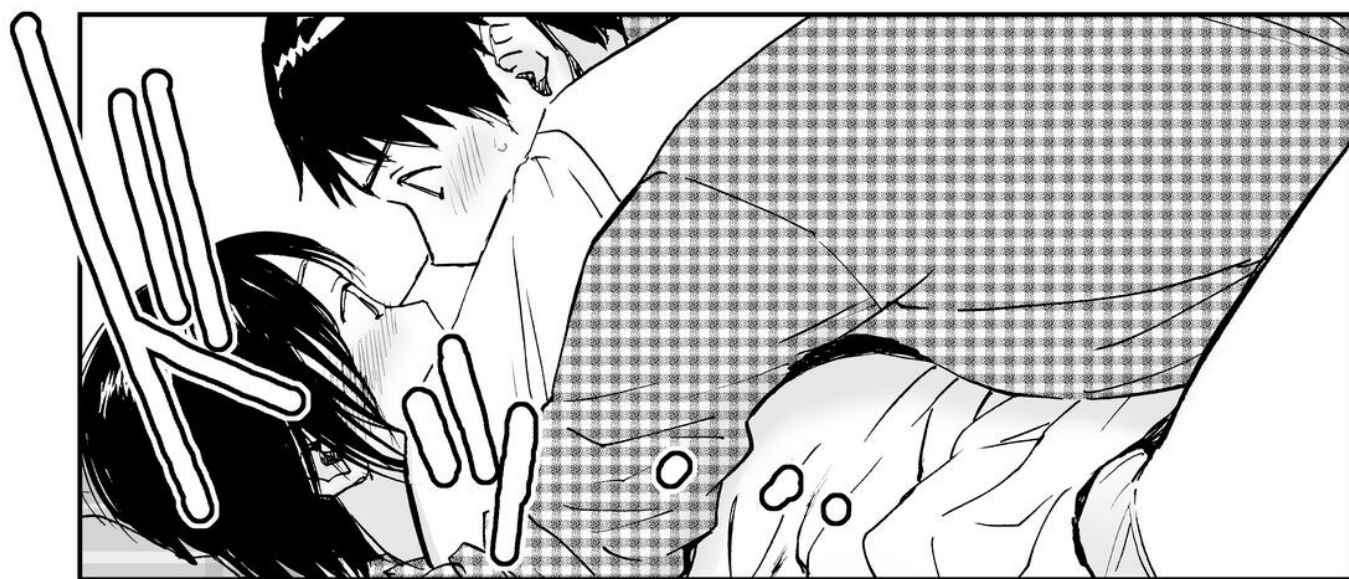
なんだとぅー!!

かなたとオレは
すごく仲いい友だち
そのはず

……だけど



そうじゃなかった…





オレたちは
最初から

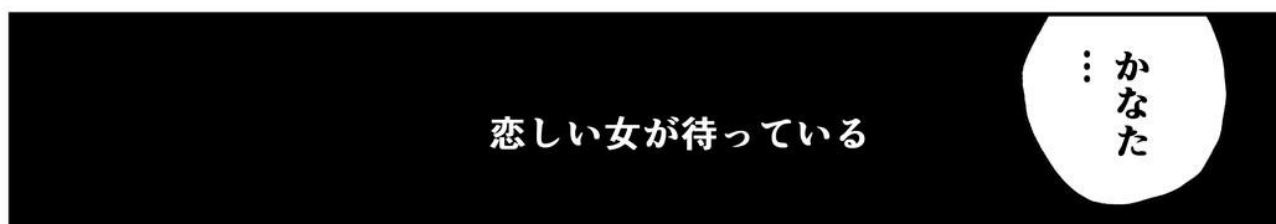
「友だち」じゃ
なかったんだ



どうしよう…

ボク…

……

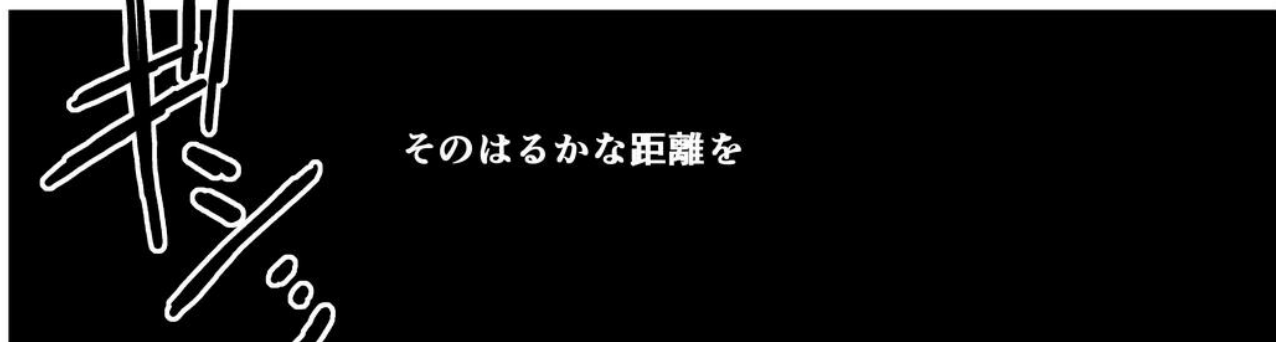


かなた

恋しい女が待っている



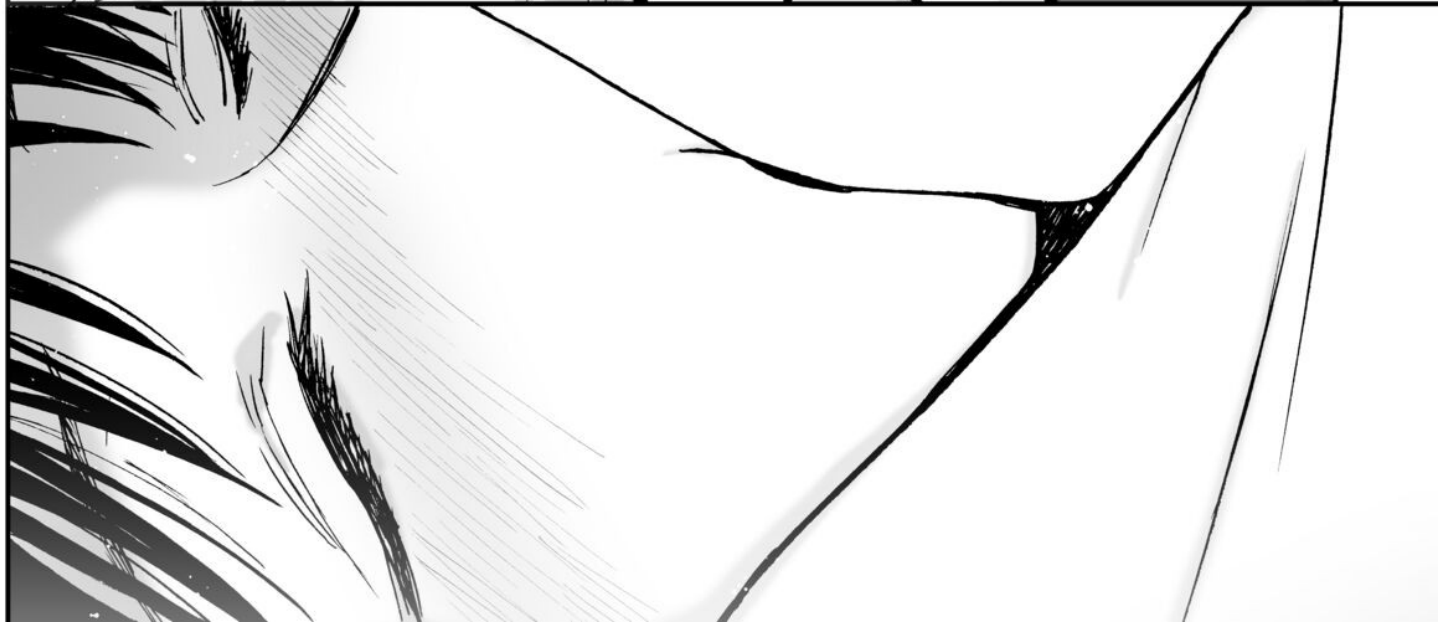
残り5センチメートル

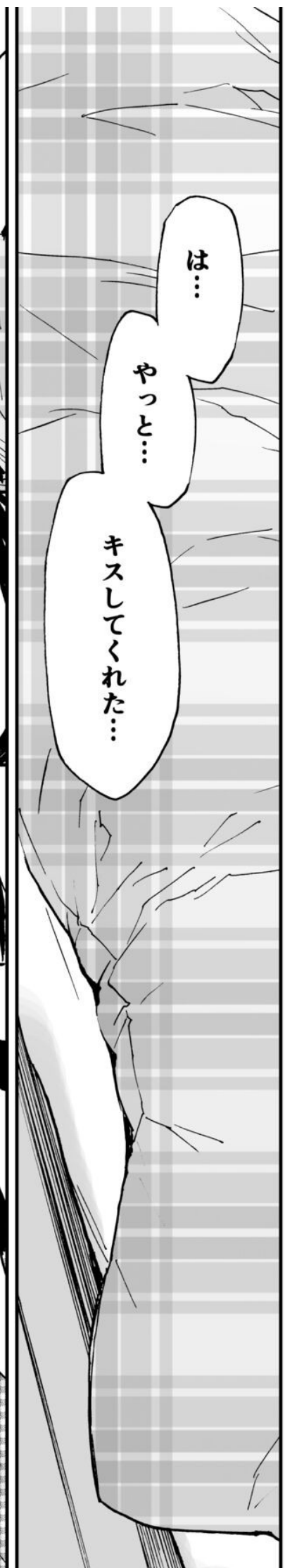


そのはるかな距離を



超えた……





か
かなた…

緊張してる？
純太郎…

う、うん
まあな…

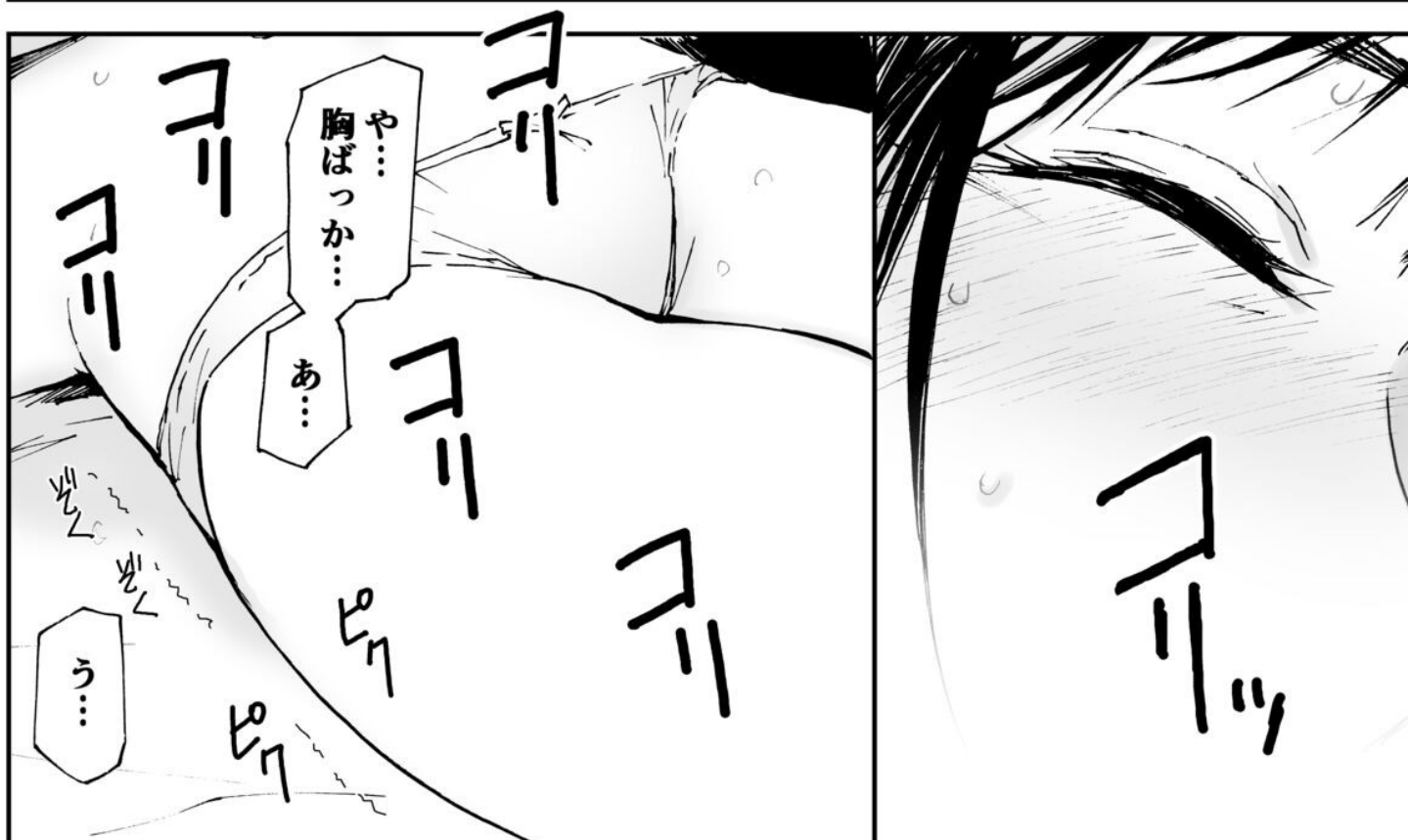
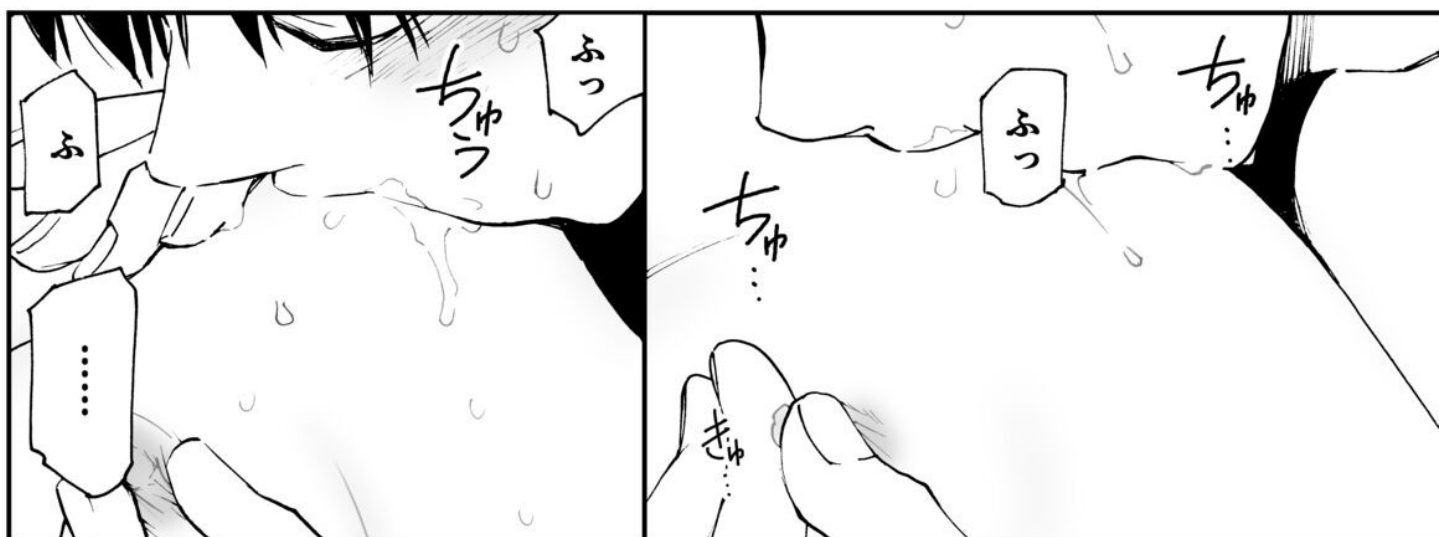
肌
すべすべ
なんだ…

ふっ
くすぐった…

あんま
じっと見ないでよ

たいした胸じゃ
ないんだから…



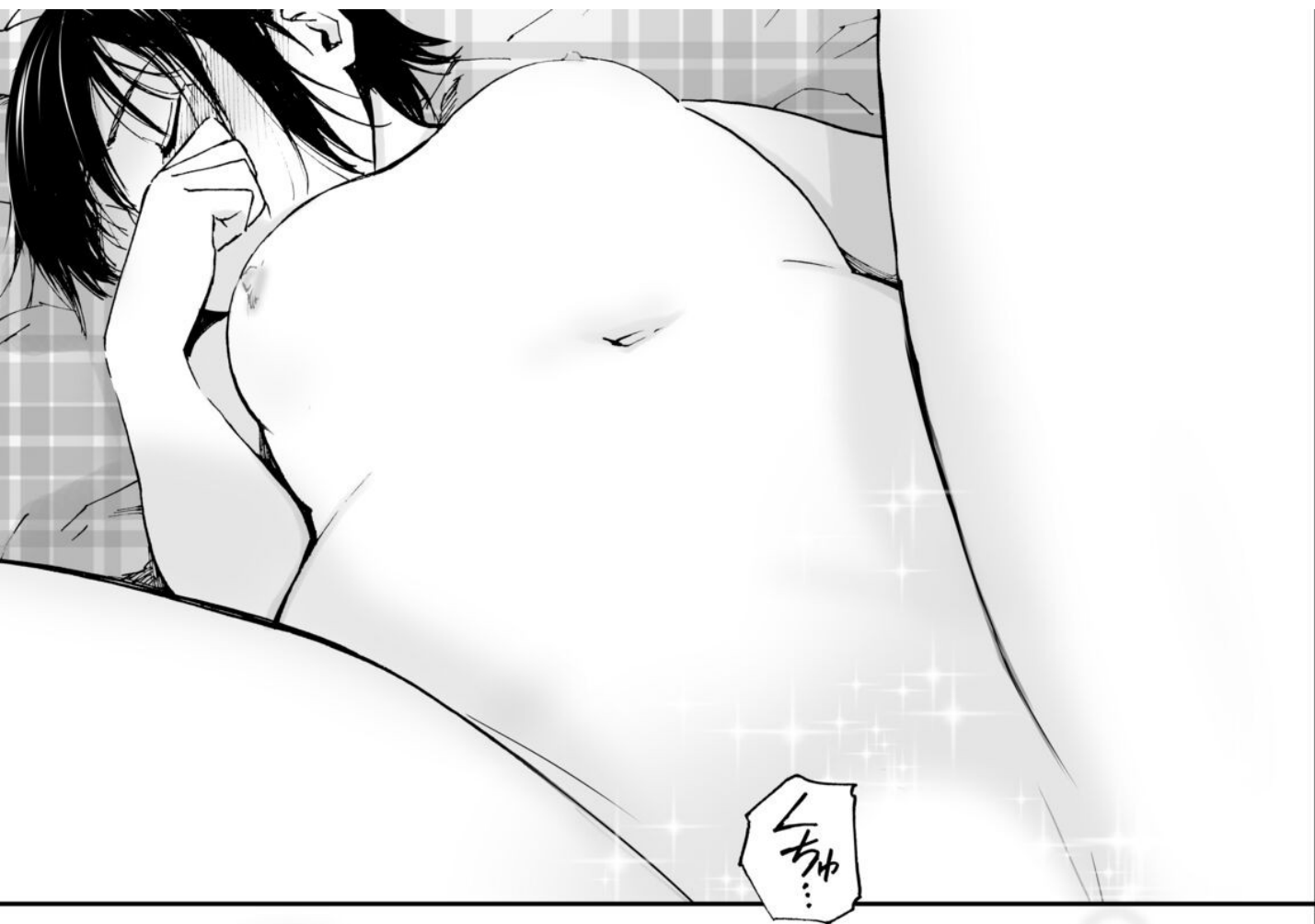






ぐしょぐしょだ…!!



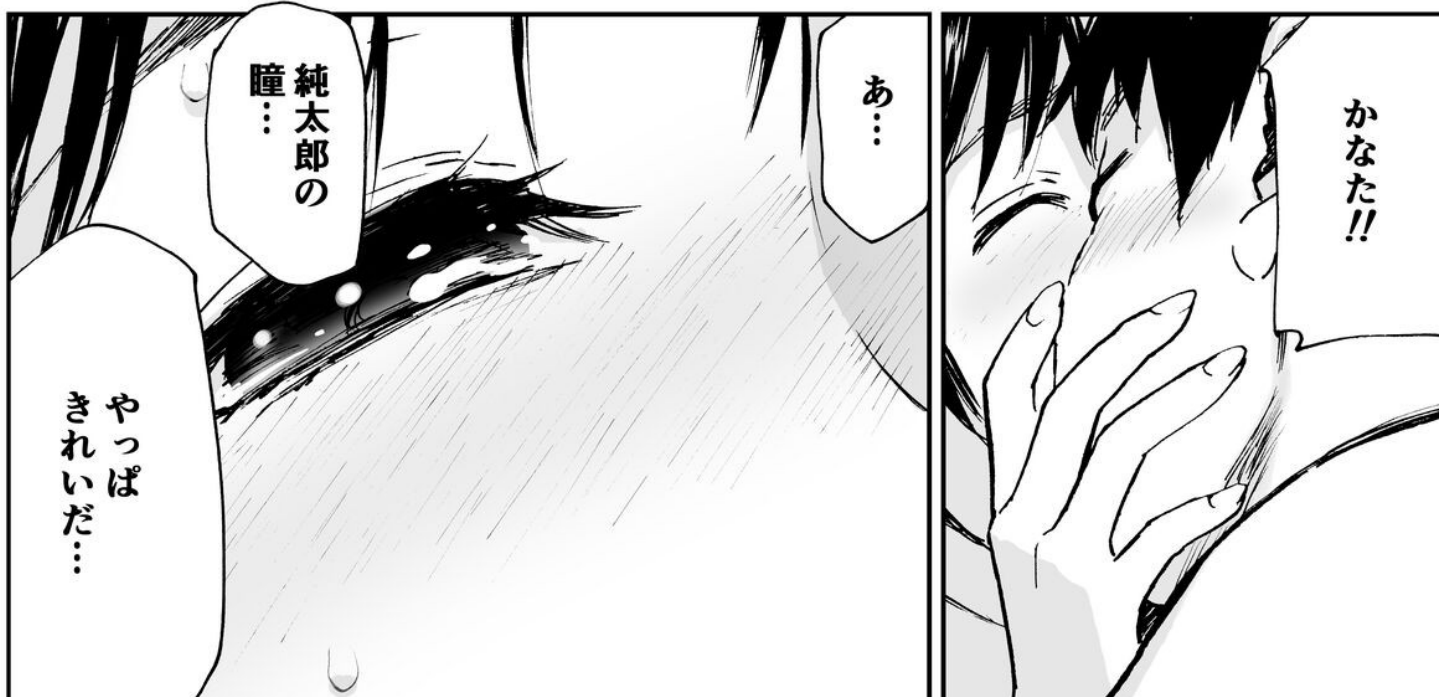


ピンク色ッ…!!









あ

んあ…

あ

んああ

あ

あああ

大好きッ!!

はあああああ♡

大好きいッ!!

きゅん♡

きゅん♡

きゅん♡

VII
V2,
19
.





ずっと…

はあッ

ずっと…

はあッ

好きだったんだ…!!





うん
しちゃった

ア
ア

ア

.....



しちゃったね

あたしたち...



あーあ

シヤアア



あたしたち
もう
「友だち」じゃ
ないんだね...



そうだね...

そう言うとか
ちょっと
さびしいな...

裸のあなたを
もう一度
ぎゅっと抱きしめた...

バーカ♡

そして
眼の前に...

恋人の笑顔が
あった

5

センチメートルの

かなた



いいわるな
キスを
させてね





え?

じゃ
脱ぎなさい!!

何…何言ってるんだ?

真由香が
唐突に
言い放った

一日中
我がまま無理難題で
振り回した挙句

裸になって



ね

早く!!

約束でしょ



バカじゃないのか?

何よ!!

今日は
何でも
私の言うことを
聞いてくれるでしょ

私を
慰めるために

えーと
なんでこんなことにな
ってしまったん
だろう……

たしか
本当は慰められなきゃ
ならないのは
ボクの方だったんじゃないか

ボクは失恋
したんだ……



失恋……

サッ



もともと
彼女が本気じゃ
ないことは
薄々感じていた
……

気まぐれに
与えられた
はじめての女の
唇と肌の甘い味……

それを
一方的に突然
断たれた……

胸が空っぽに
なった気がした
……



よっ

慰めが
要る？

フラれたん
だって？

ガサツなのが
来た……

ホラホラ
いい加減
元気出なさいよ

しょーがないよ
無理っぽかったしね
あの娘には他に
本命がいるのは
見え見えだったしね





うるさいな!!
黙ってろ!!



真由香に
何がわかるんだ!!



ふざけんなあッ!!



どう…

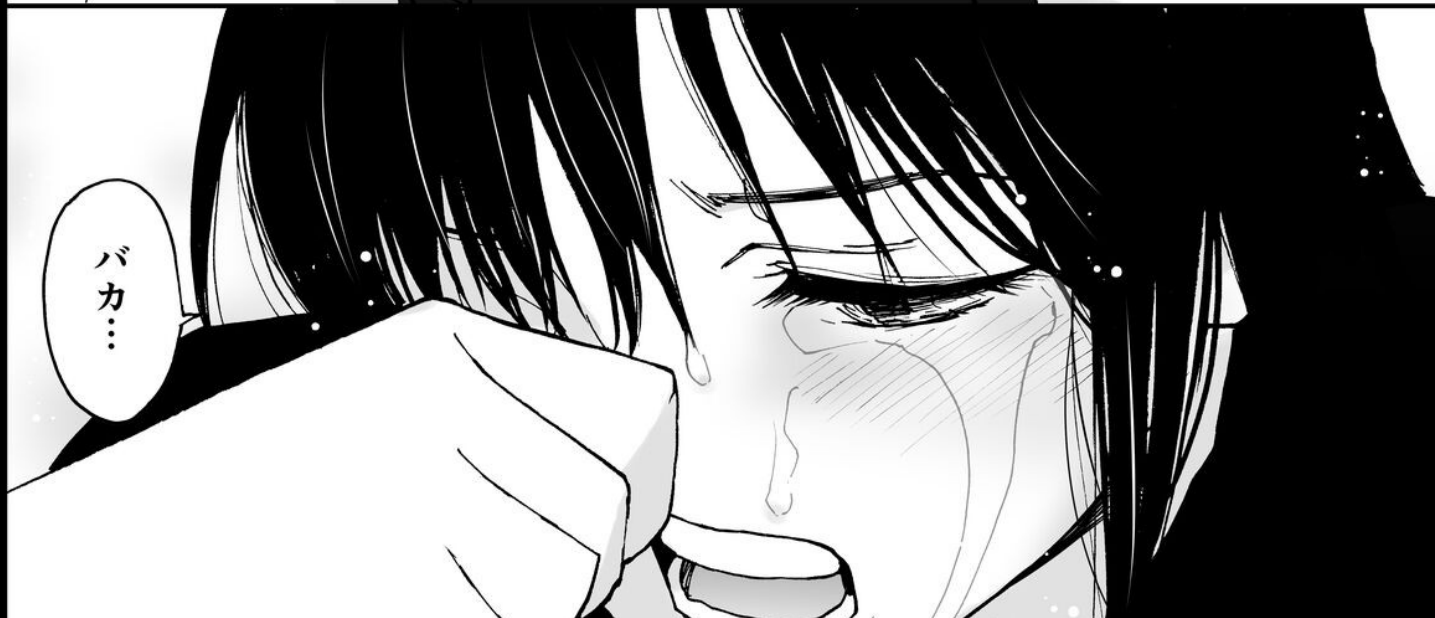
慰められた?

あの娘のキスと
そんなに違うものじゃ
ないでしょ……



あ
あはは…

し
しちゃった……



舜のくせに
私を泣かせるなんて!!

ひどいわよ!!

わかってんの?

何であの時
急に泣いたり
したんだよ?
真由香には
関係ないこと
だろ

言う通りに
脱ぎなさい

よーし!!

こうなりゃ

知りたきゃ...

.....

ヤケだ!!

ど、どーだ



フ…フィン



オ、オイ
待てっ!!

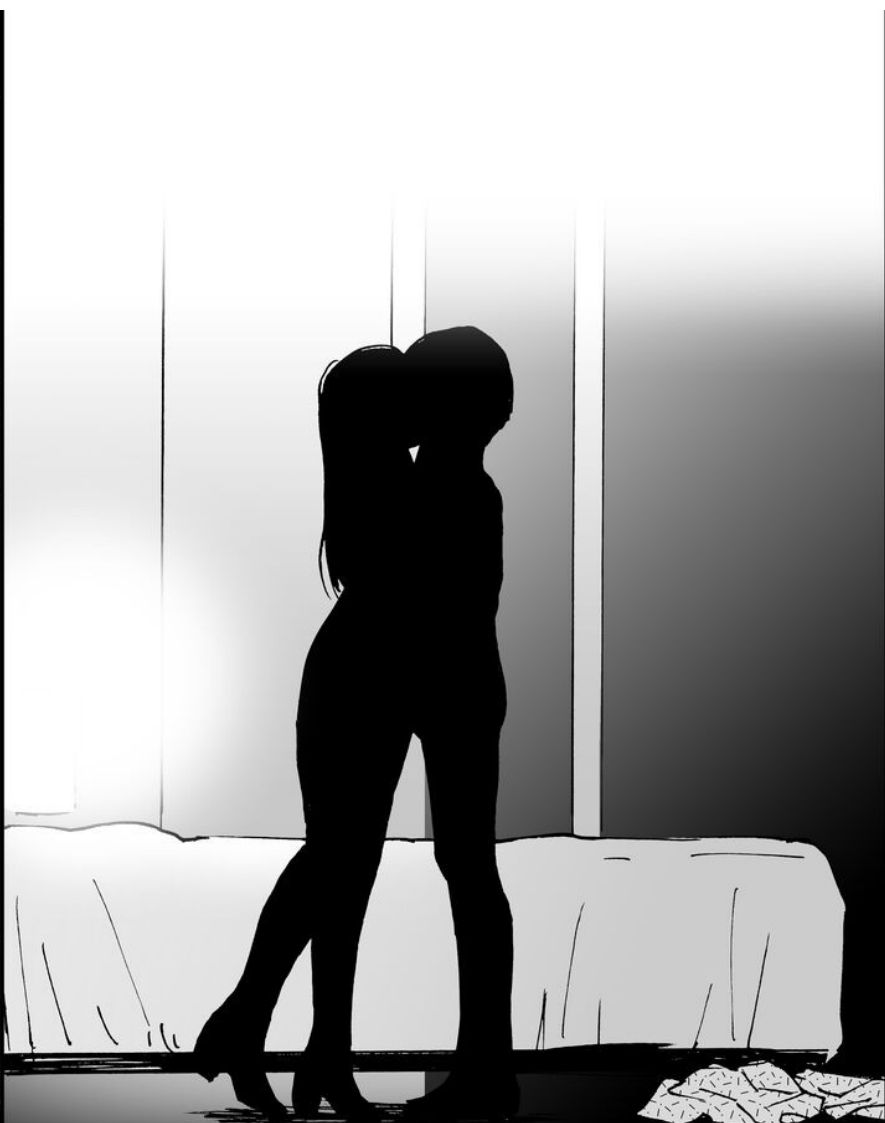
シャレに
ならないぞ!!



もういっぺん
拒否したら

あんたを
殺す!!





何…
考えてんだ…？

真由香…!!

フラれたんでしょ

苦しいんでしょ

だから
ちよつと

私が慰めて
あげようかなって

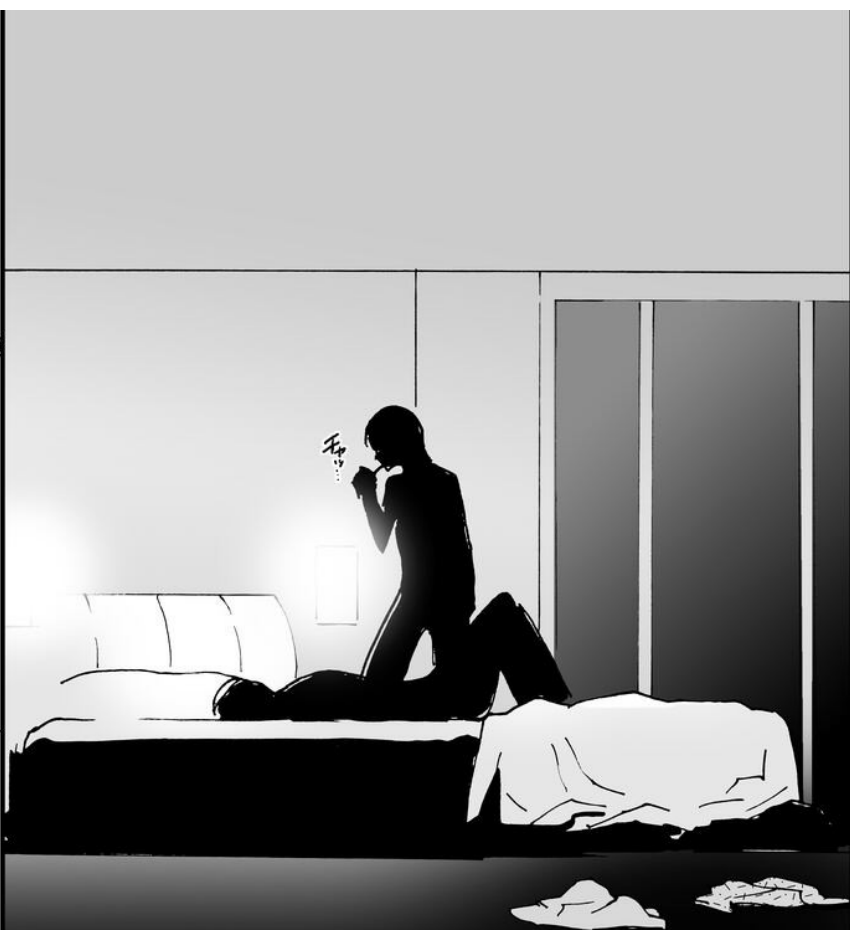
バ、バカか!!

フンだ…

勃ってるくせに…

ホントに…

殺しちゃいそう





真由香…



ん…

は…



真由香の腕…

あったかい…

は…

は……

ん……

ん……

ふ……

は……

ふたり目に知った
女の乳房

ものめずらしさ
じゃなく……
ただただ

やさしい!!

ねえ……

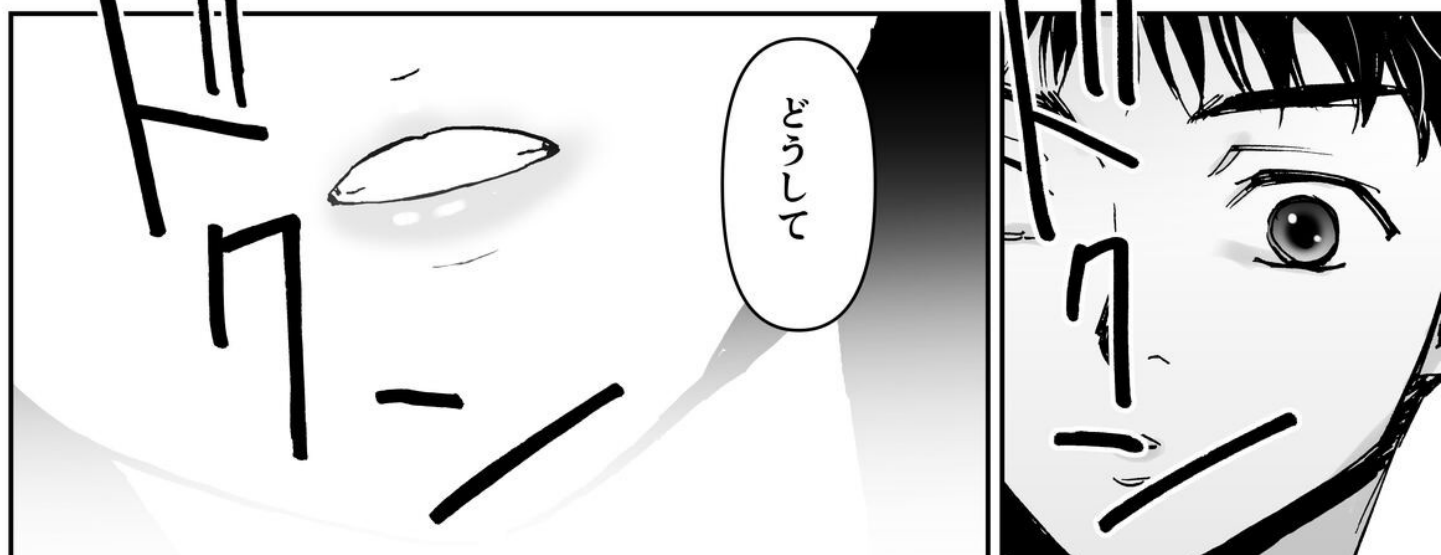


知らなかった
でしょ

私のほうが
あの娘より
胸
大きいんだからね

ちっとも

知らなかったでしょ



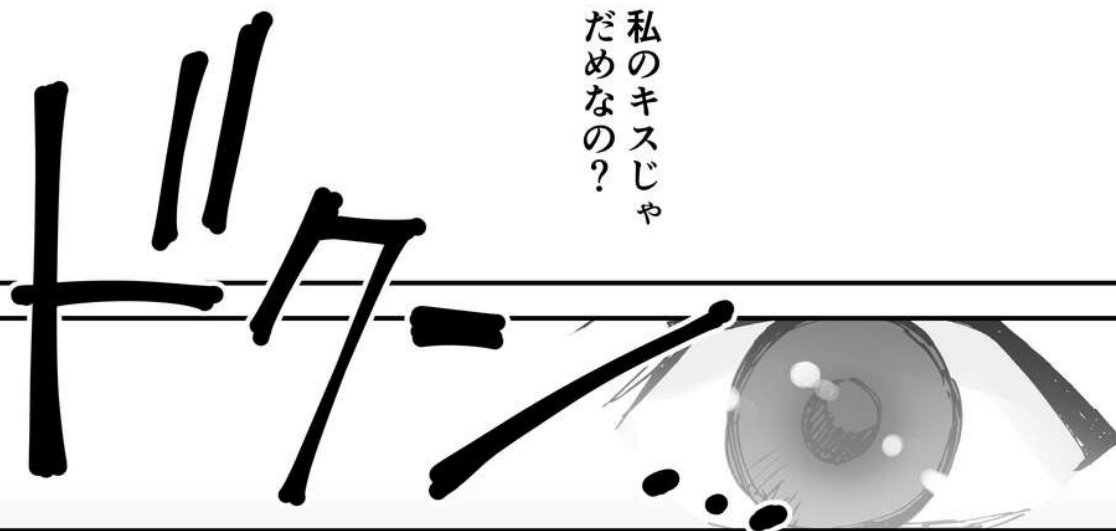
どうして



どうして

私じゃ
なかったの？

私のキスじゃ
だめなの？



恋に

落とされた



ボクは
きっとはじめて

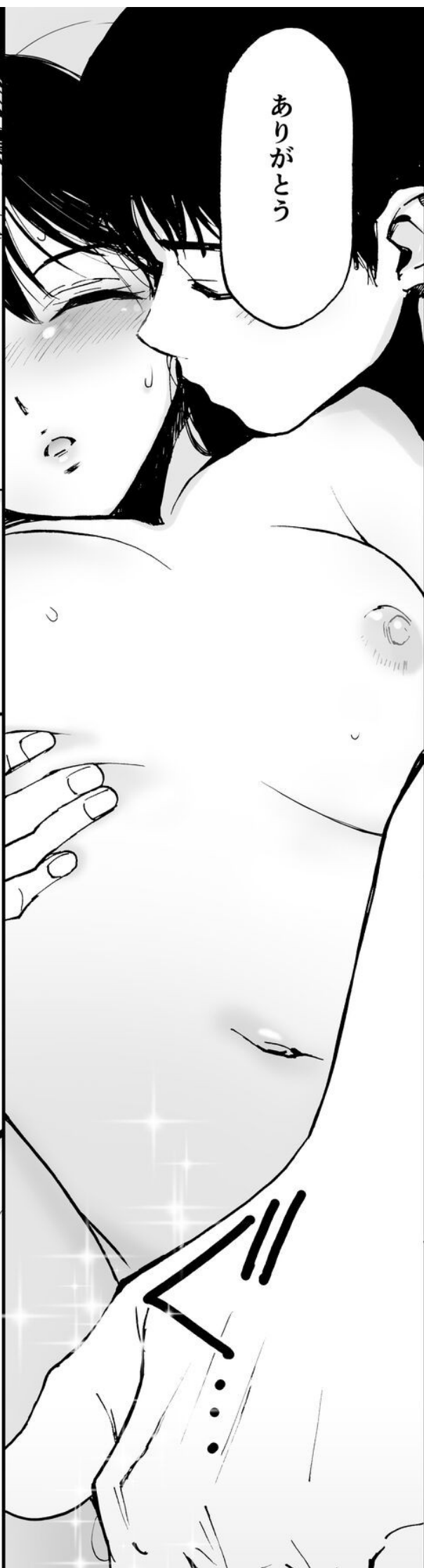
あこがれや
興味本位じゃない
キスをした

自分から
した

相手の想いに

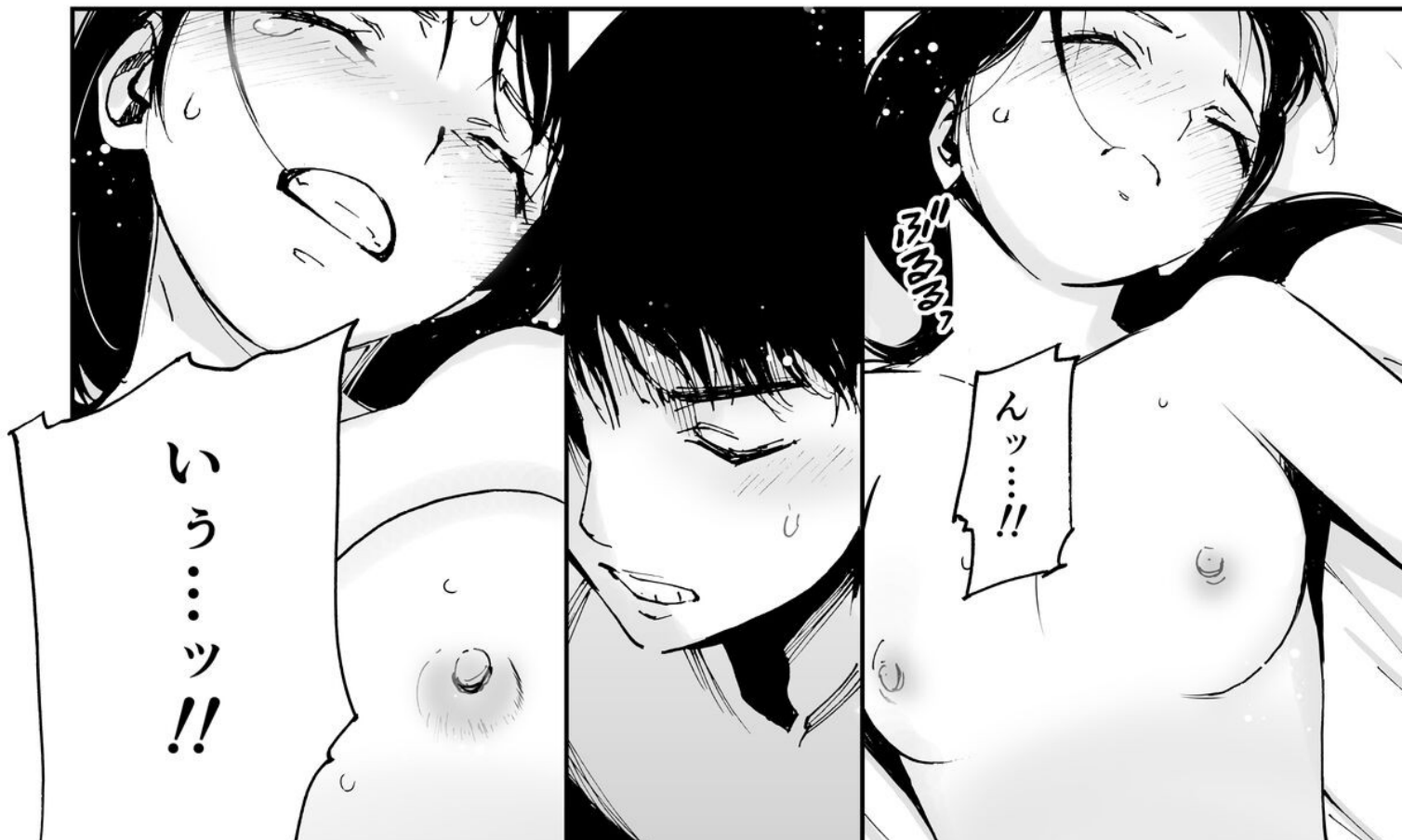
応えるキス







真由香をまた泣かせてしまった





よかった……



は……



はあ……ッ

は……

は……

ヒッ
ヒッ
ッ

ヒッ
ヒッ
ッ

ん
ん

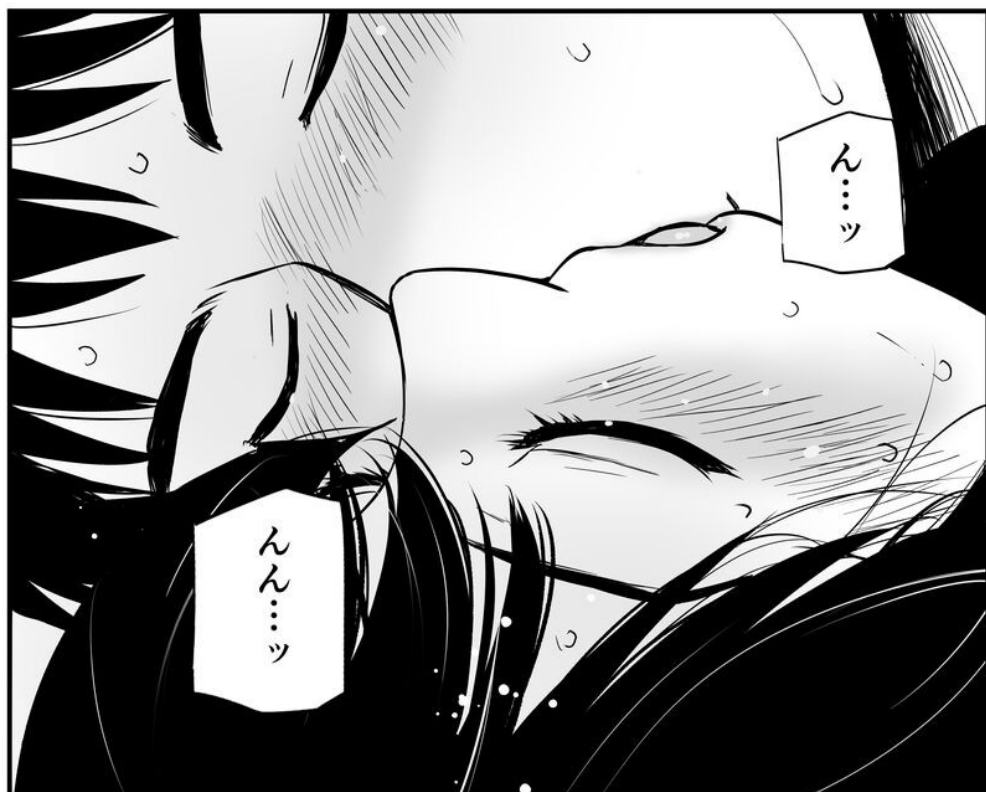
ん
ん



私の
はじめてを…

あなたに
あげられた…







はッ

はあッ

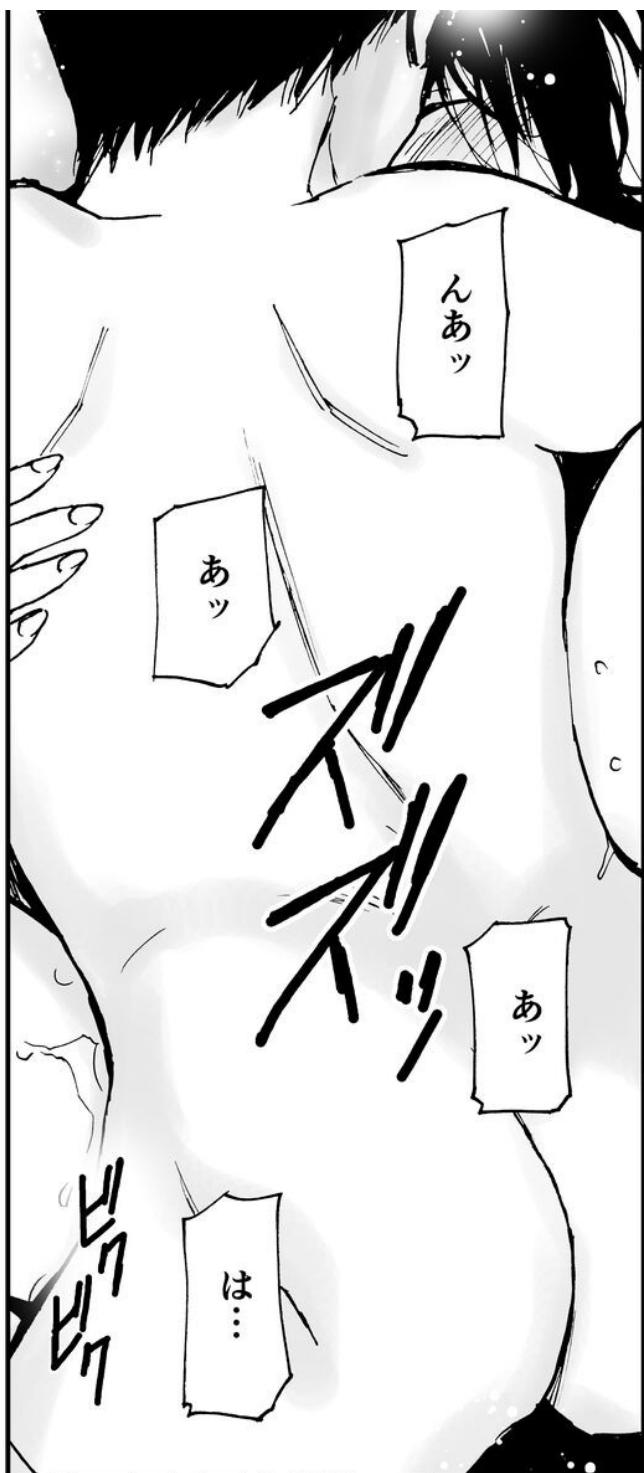
はッ

はああッ

あ…

ああ…

好き…ッ…!!



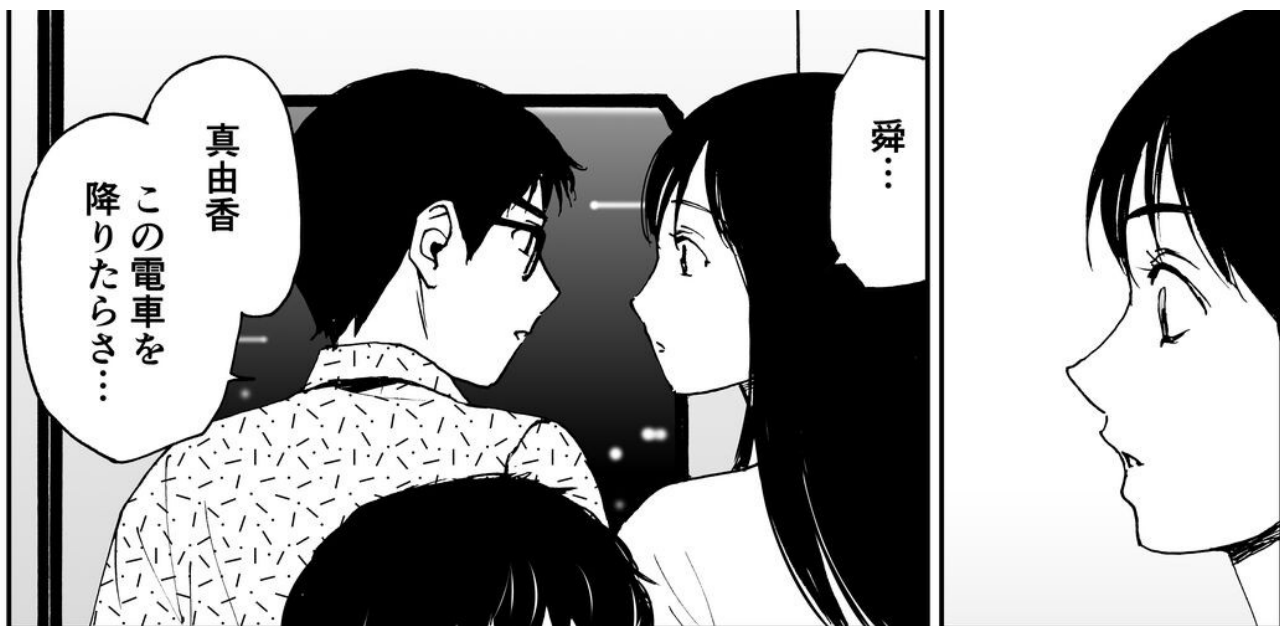


あああああ
あああああッ
!!









いじわるな
キスを
させてね

八月の無邪気





ボクとナコは
幼なじみ

いくつもの
一緒に夏を
すごして
.....

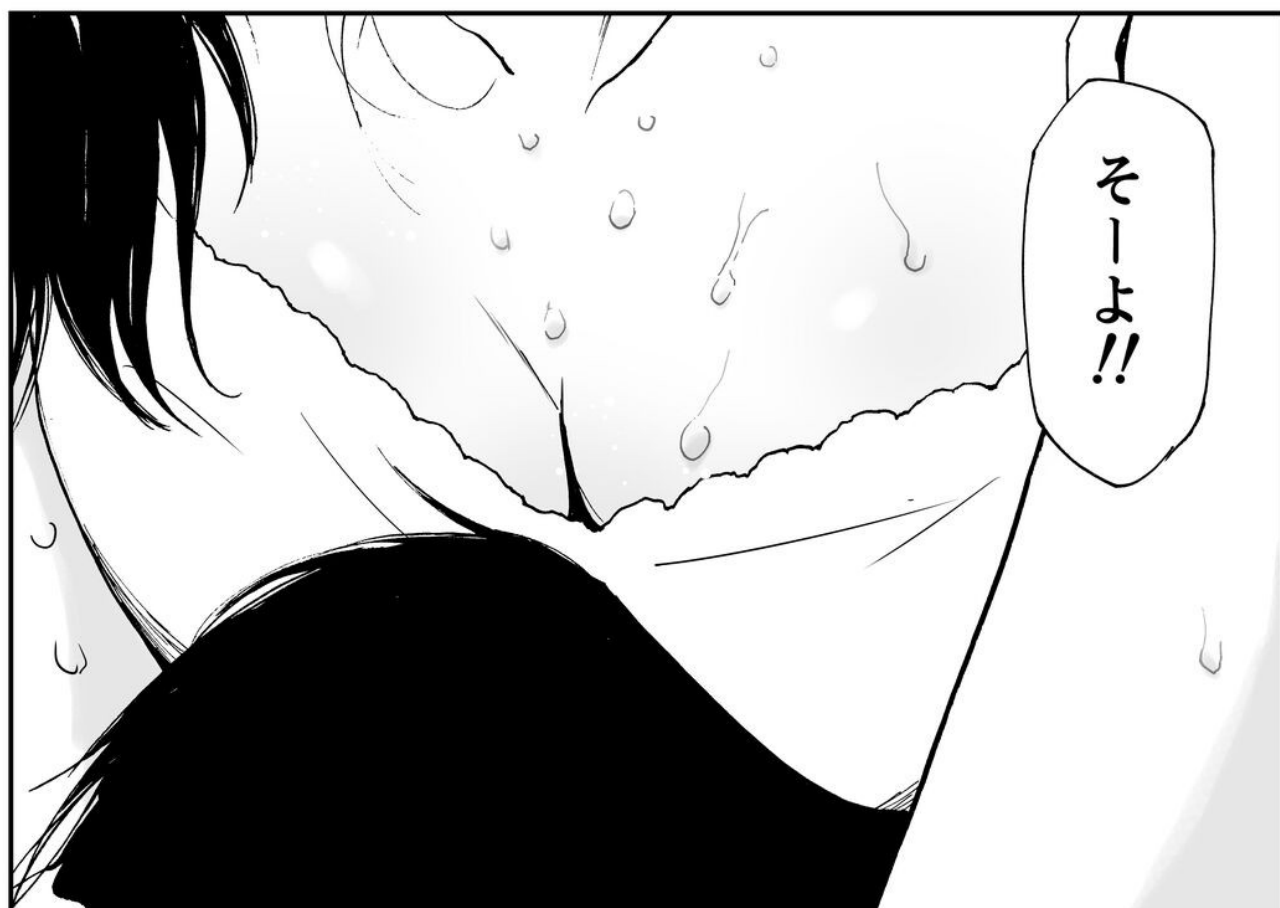
...大人になった

ホーラ

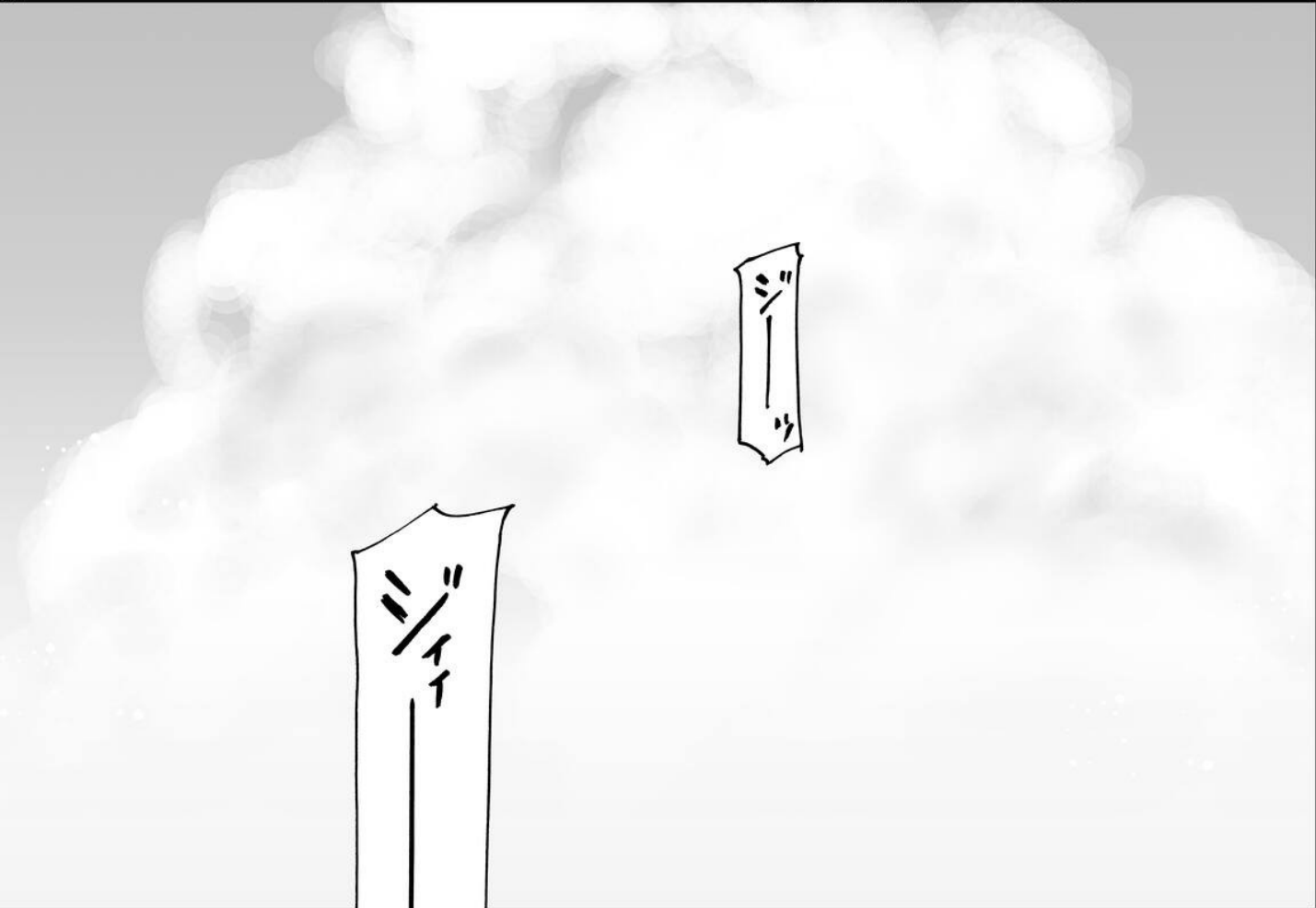
さっさと
脱いじやいなさいよ!!

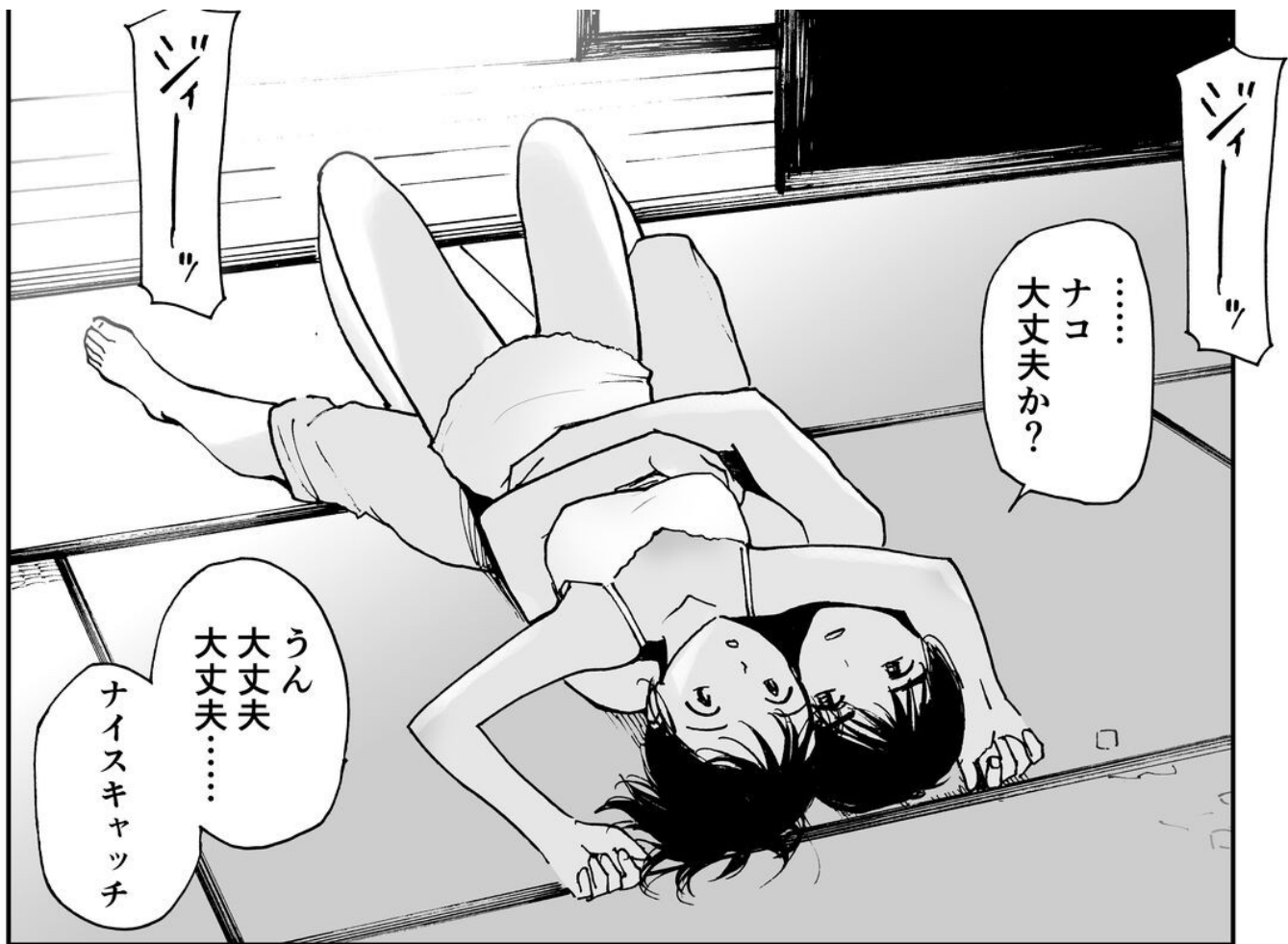
ハッ
ハッ

ホラ
ジロちゃん!!











ジロちゃん
また
汗…

あ…



暑い…ね…



おもしろ…

くすぐったい
よ…

フー

いーじゃない
……

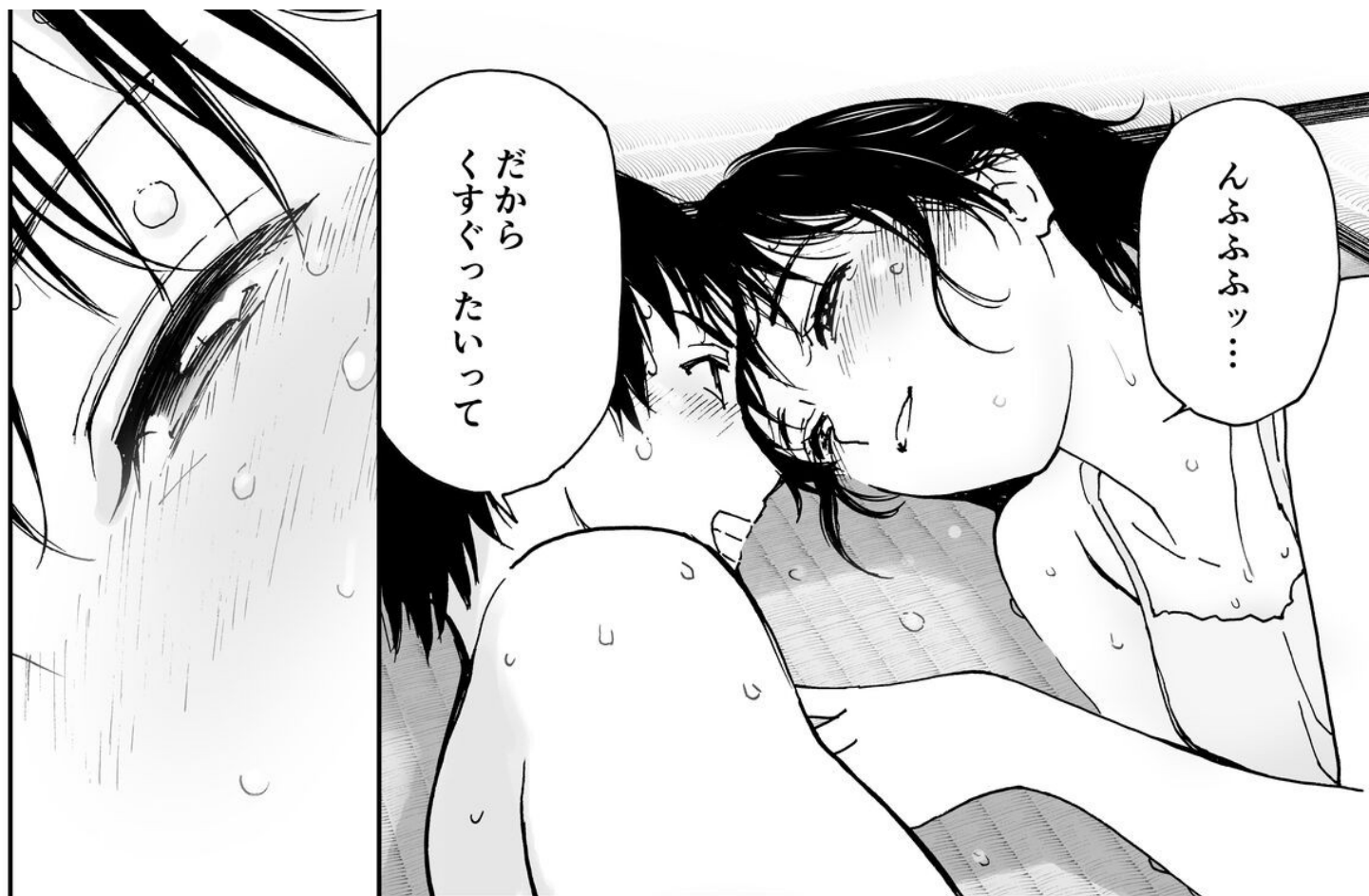


こっぴ



ホラ

どんだん
噴き出して
きてるよ



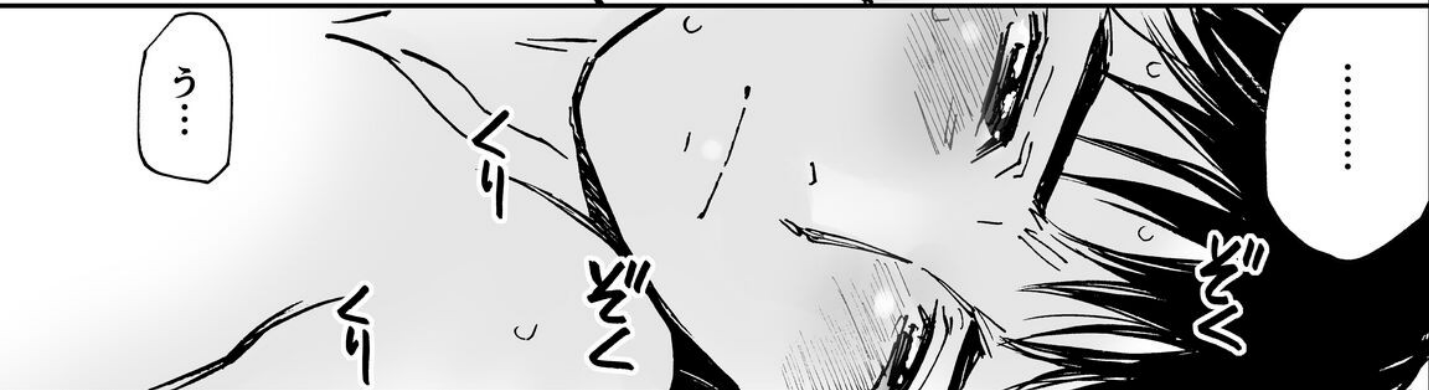


ジロちゃんの
乳首♡



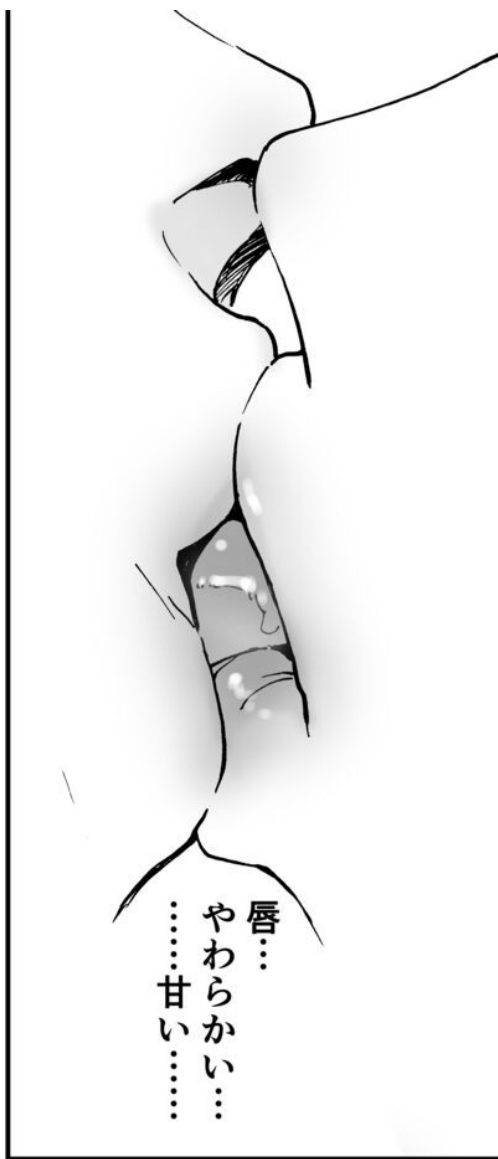
う…

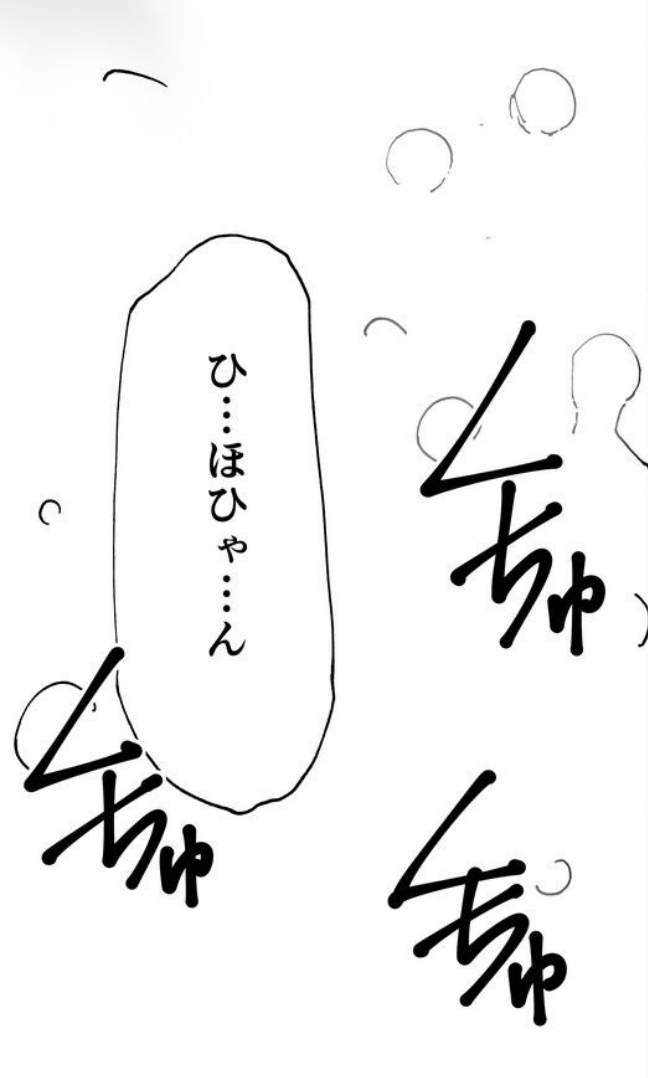
……



ふーん

男の人のも
固くなるんだね…





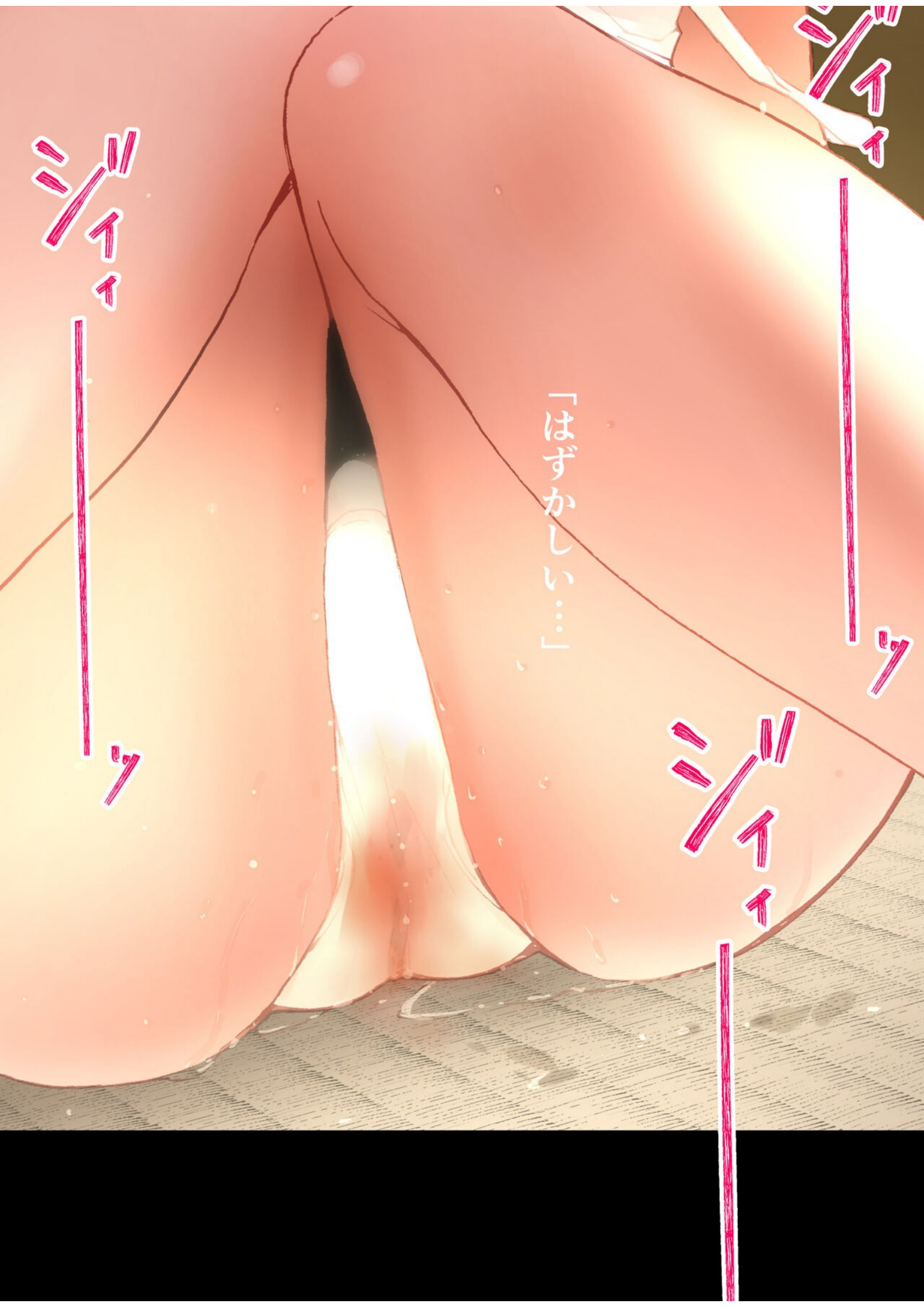
ジ
ー
ッ

き...

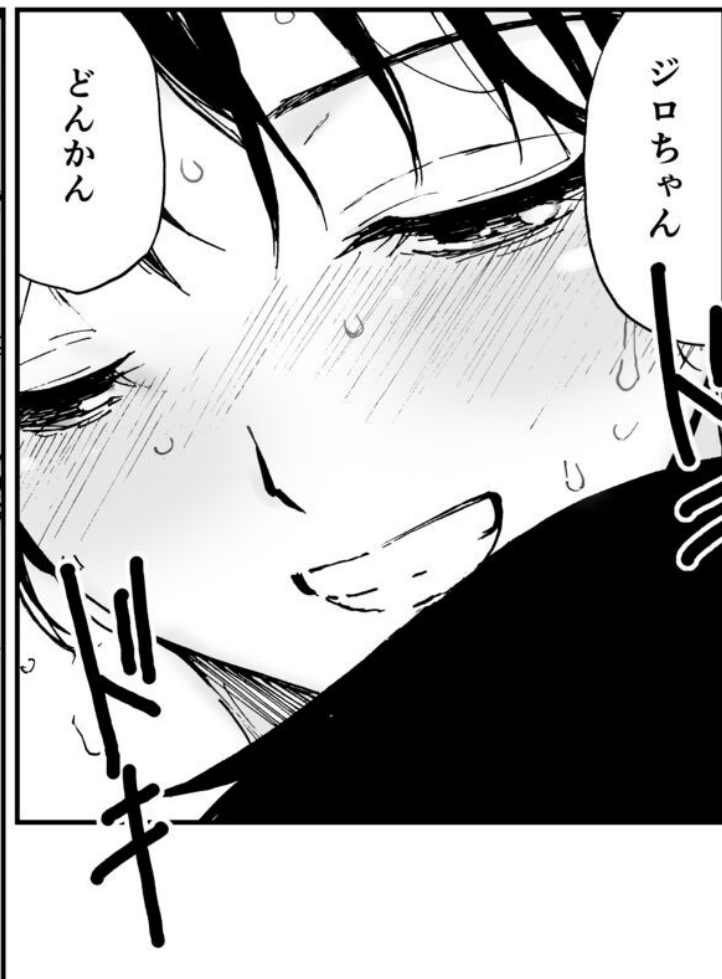
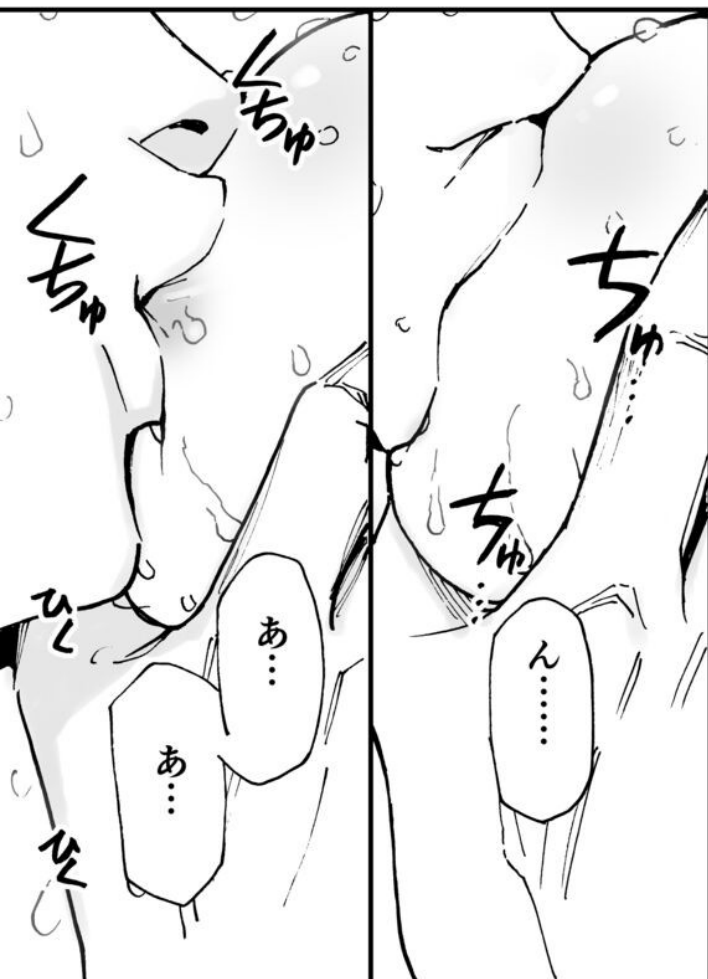
きれいだよ
ナコ.....

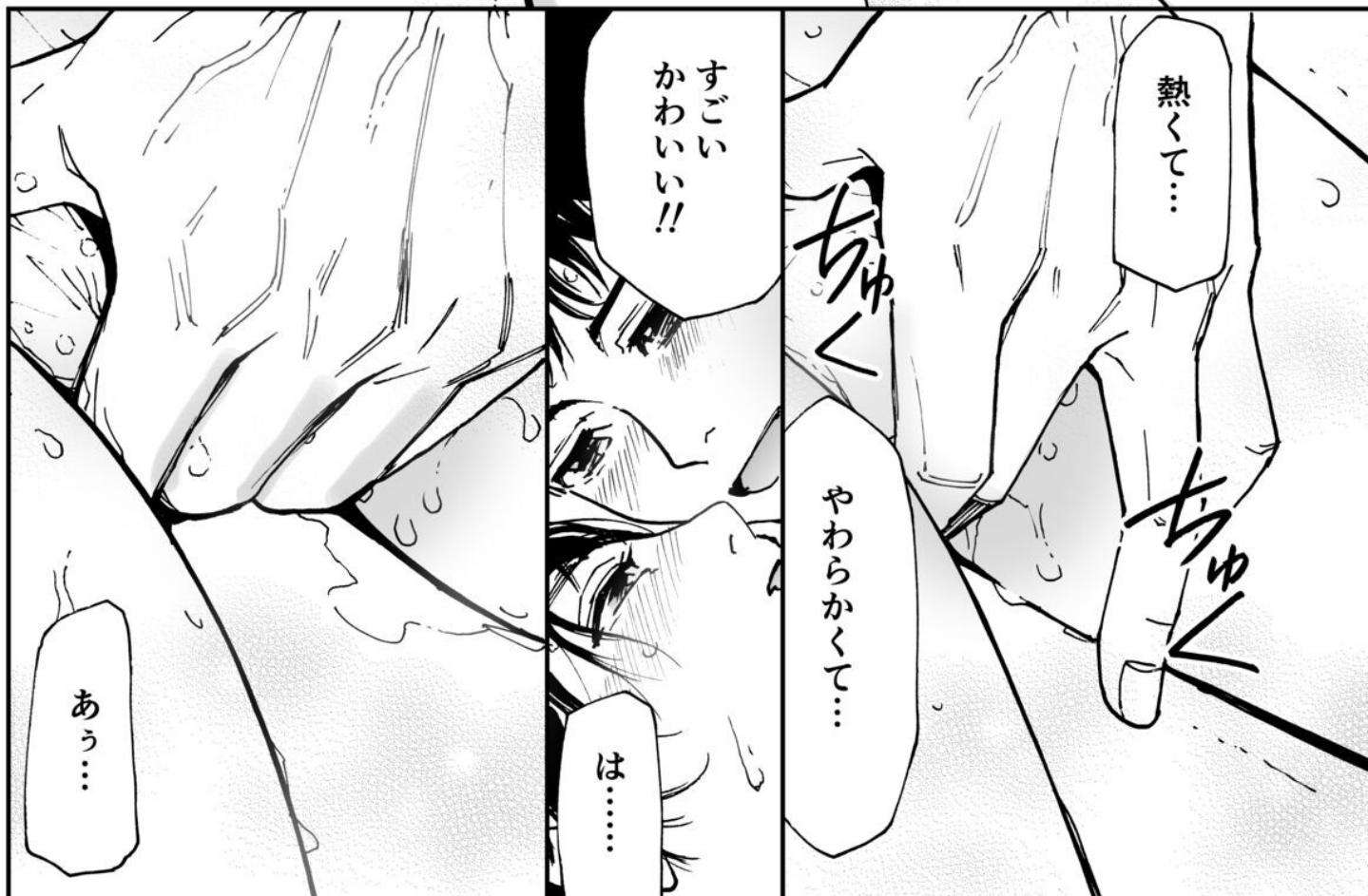
.....はずかしい.....

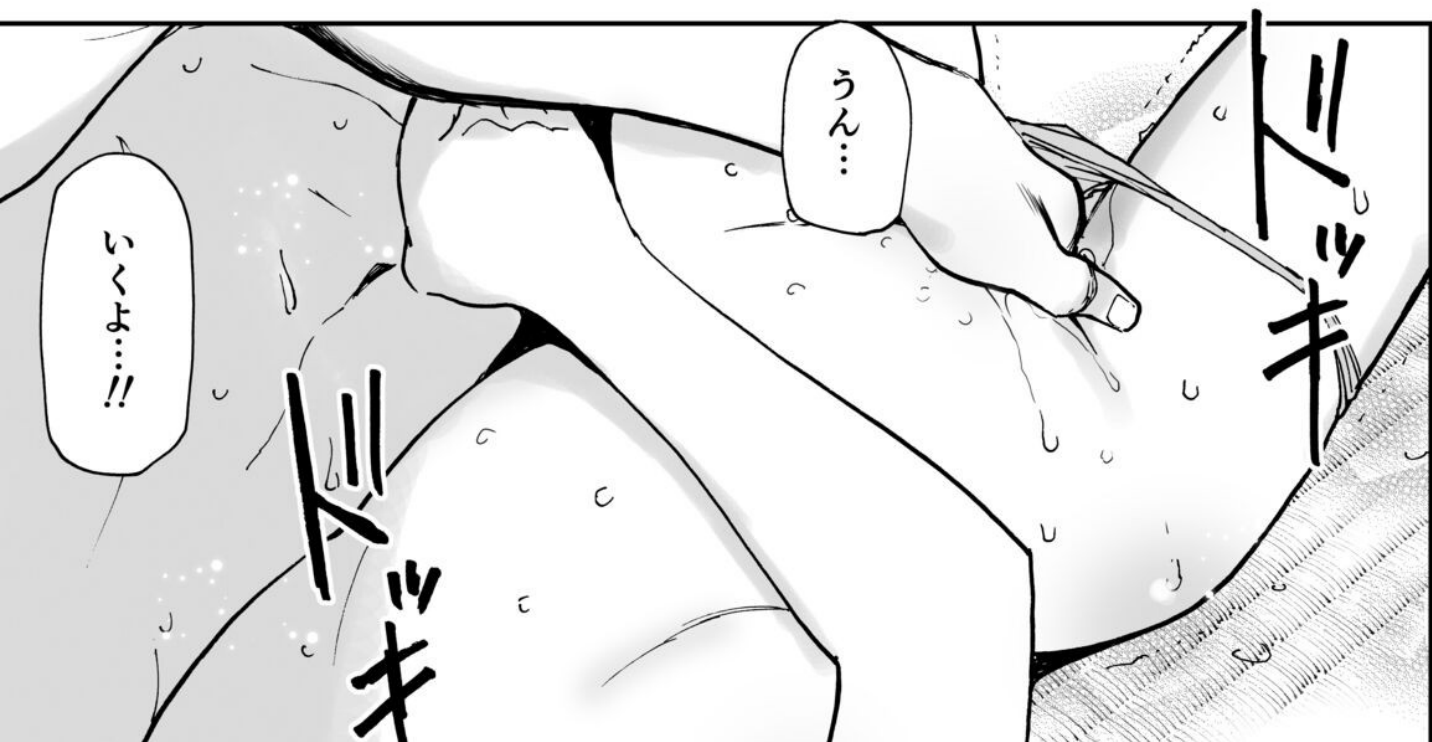




「はずかしい…」











は...

は...

は...



ナコ...

ひとつに
なってるよ...



俺たち
やっと...

やっと
なれたよ!!



うん!!

うんツ!!



ジロちゃん...!!

はじめて
入った
ナコの内は…

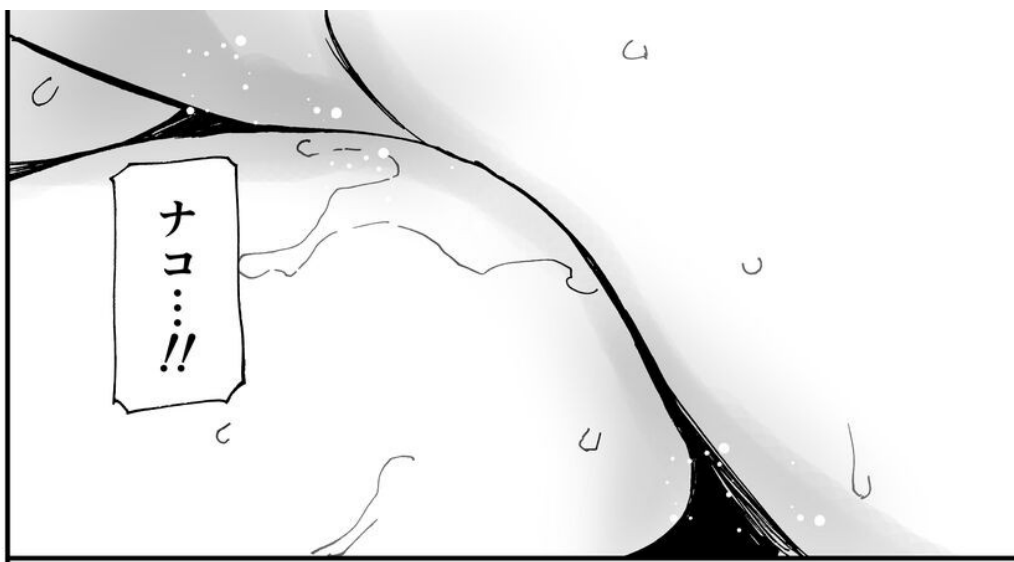
すごく
なつかしい感触…

だって
ずっと…

ボクたちは
ずっと…

好き!!

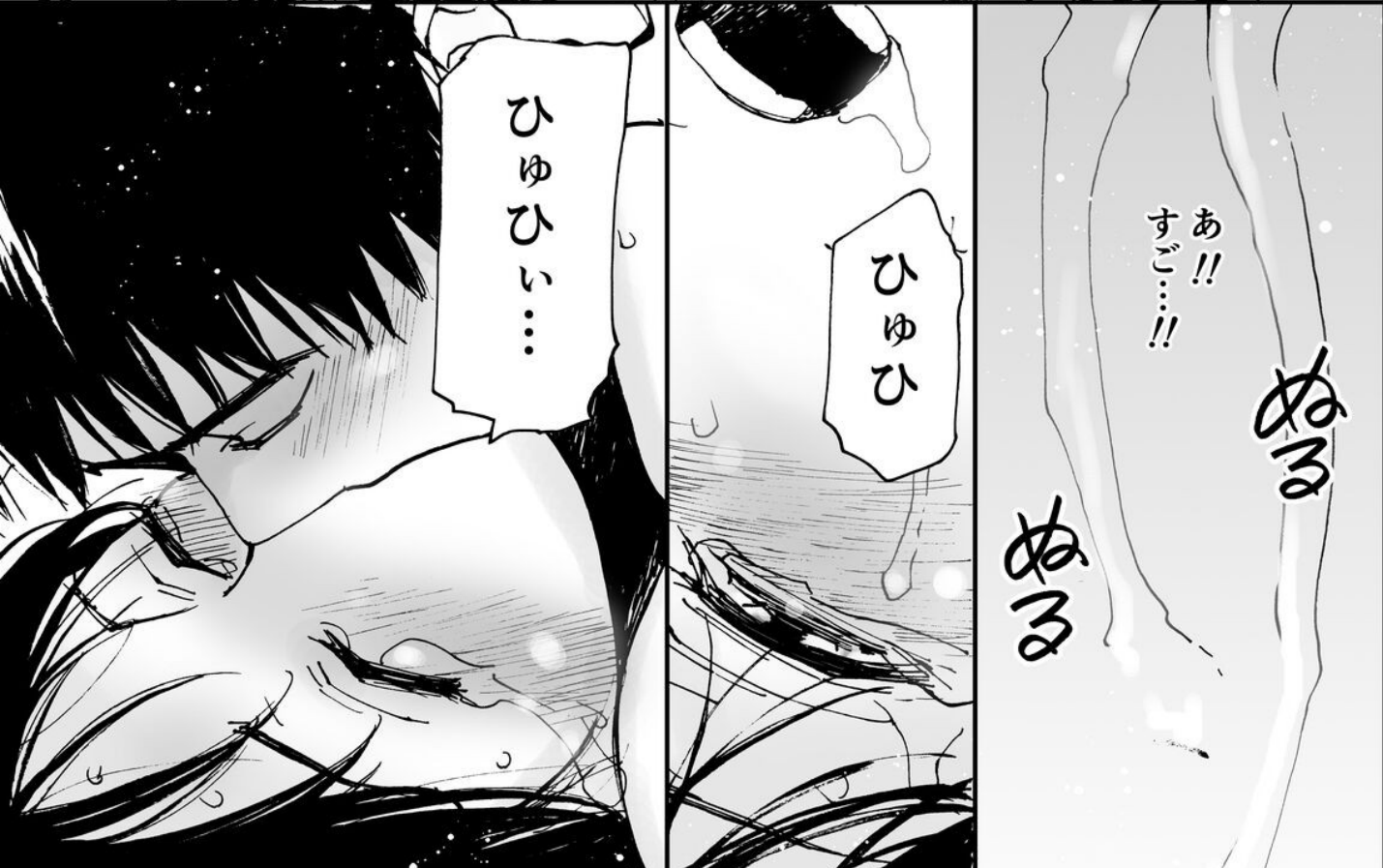




あッ!!

あッ!!

深い.....!!



あ!!
すご...!!

ぬる
ぬる

はッ

あああ…

ああ…

ナコ!!

ナコ!!

はああ

ナコ!!

ああああ…

好きだ…!!

好きだ!!



んあああッ!!

大好きだ!!





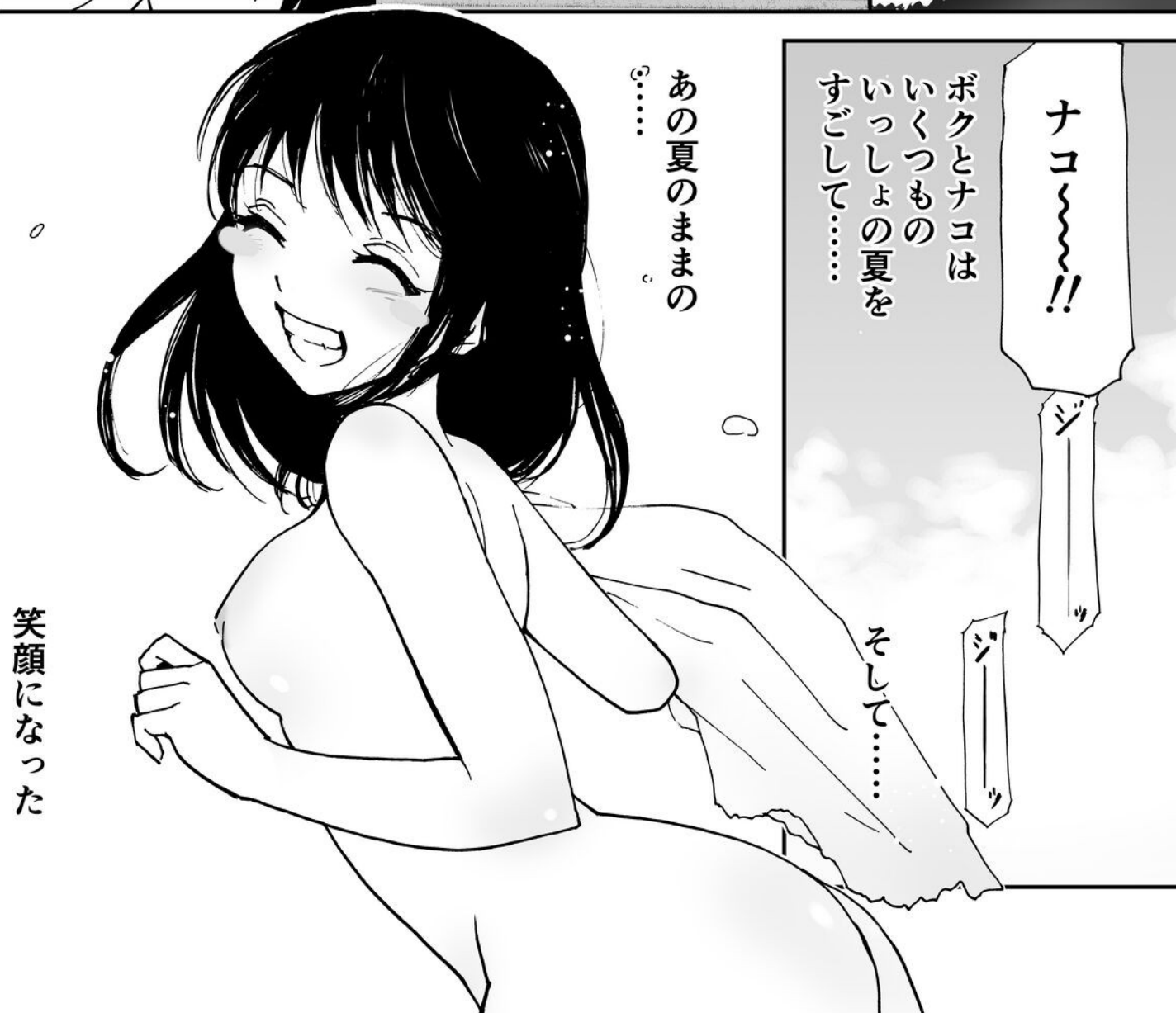
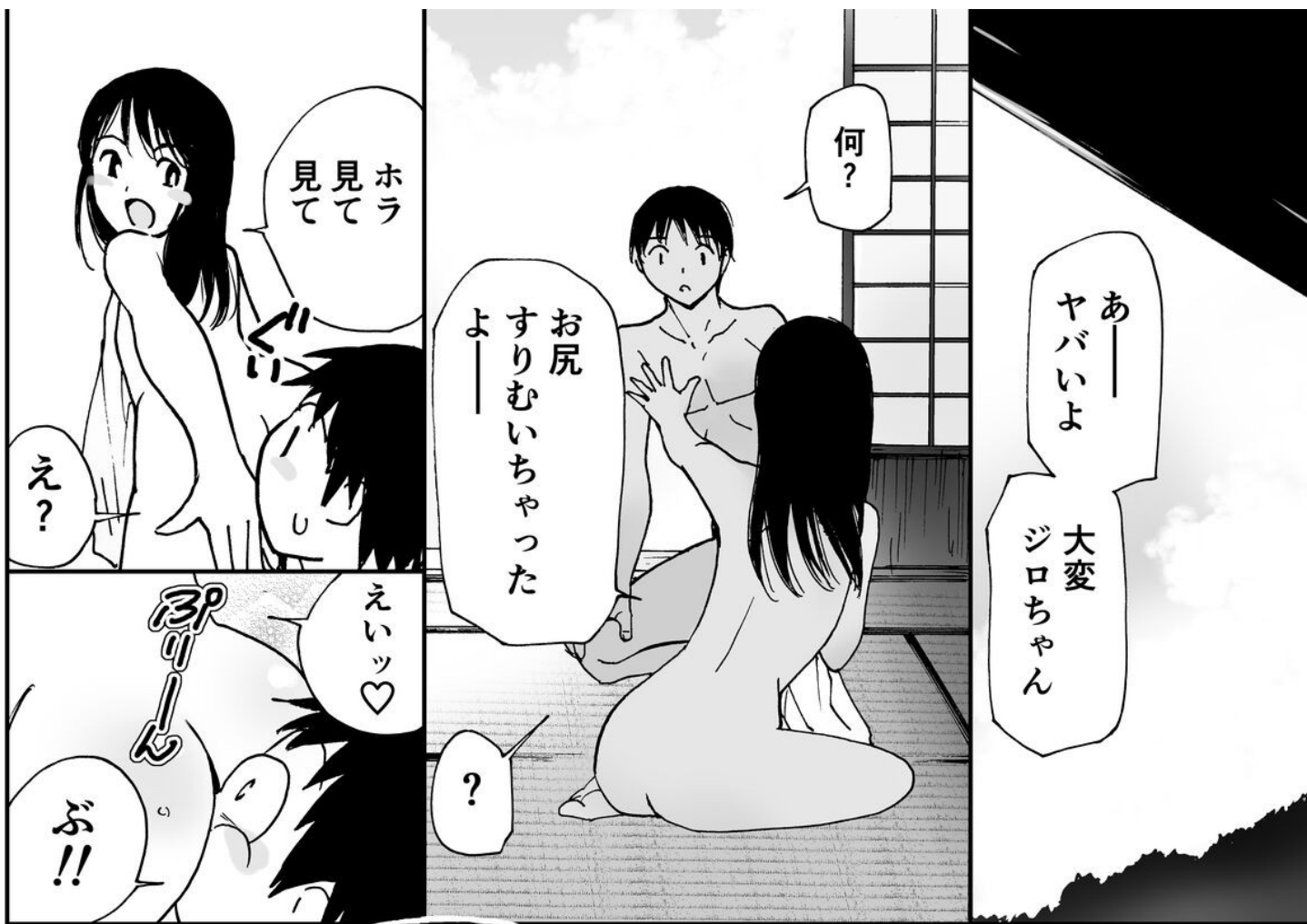
は...

は...

は...
は...
は...

は...
は...
は...

は...
は...
は...



八月
の
無
邪
気

白
い
体
験







あ…ダメだ…

ふう
風は…

やっぱり
まっ白なんだ…

まっ白に
無垢
なんだ



どうしました…

まいった
ヤバいな…

?



いくと
郁兎さんの方が
怖がつて
どうするのですか？



急に
ビビってきた…

はい？



何か
怖くなってきた

正直に
言った

だって…



汚して
しまいそう
だから……



はい？

わたくしはいまから
汚されてしまうの
ですか？

郁兎さんは
わたくしを
汚す気なのですか？

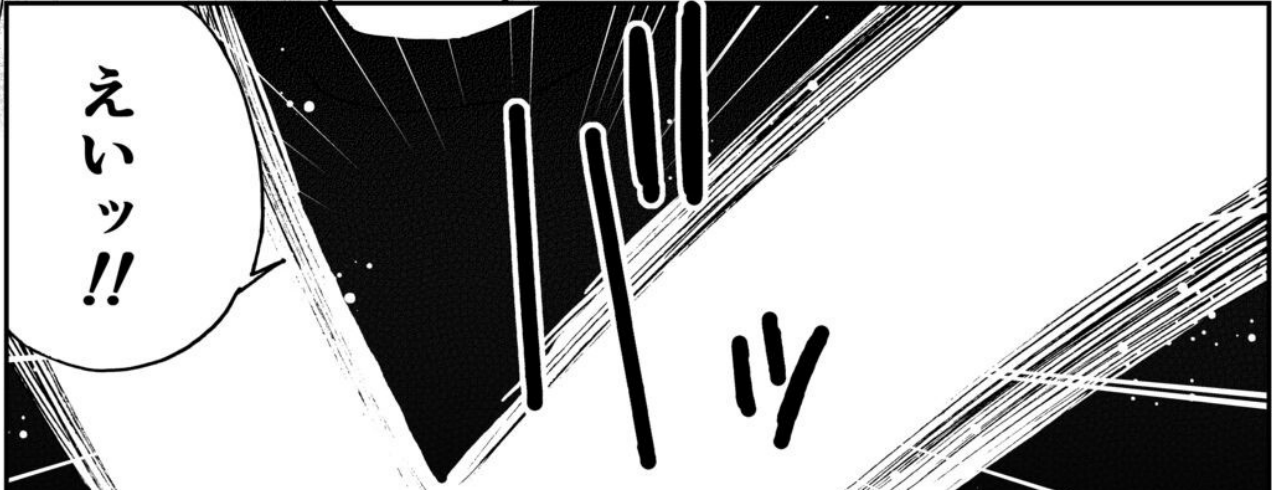
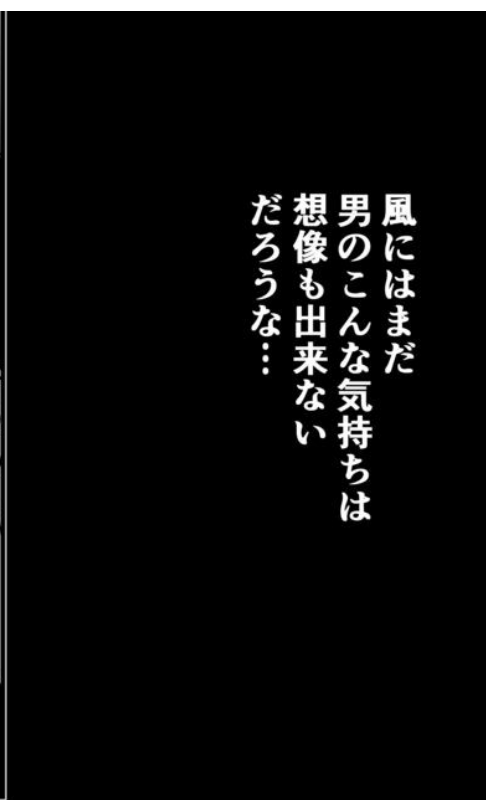
あ...
いや...

そんな
ひどいです

怒りますよ

.....

3%





何?!

どわッ!!

何?!

風!!



ホラ
わたくしの胸
こんなにドキドキ
していますわ

.....



ビビリの郁兎さんを
誘惑してるんです

きゅ



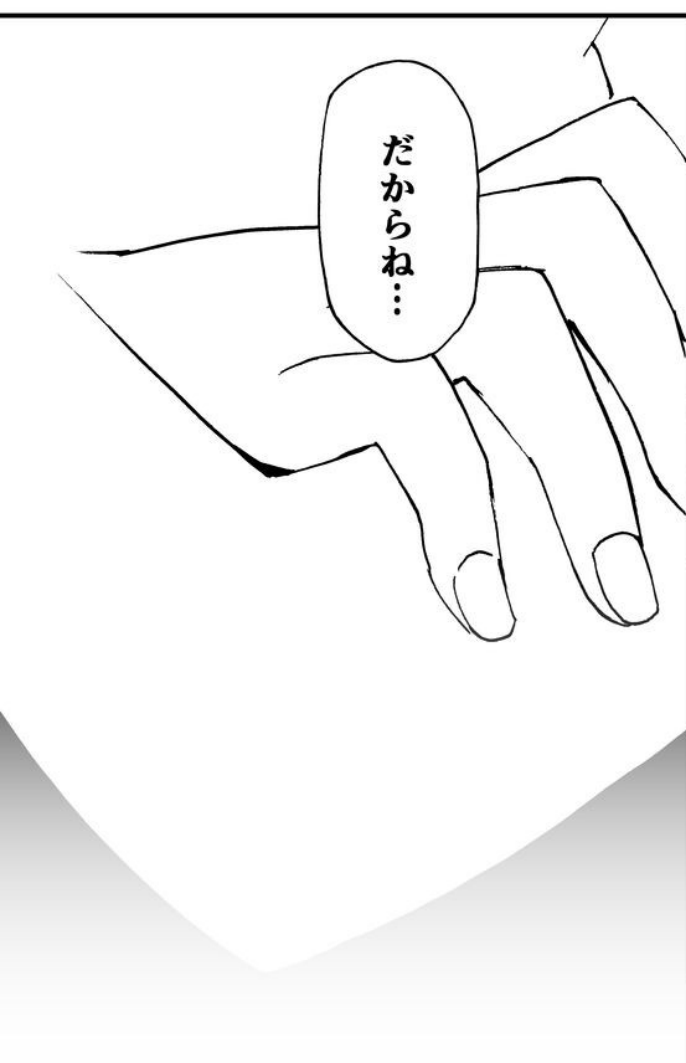
約束
しました

今日から
ふたりは
対等な
恋人になろうって
……



真剣
ですよ…

わたくしも
真剣です
……



だからね…



郁兔さん…



お子様め…
だから
怖いんだろ…

汚して

いいですよ。





大丈夫…

ですよ

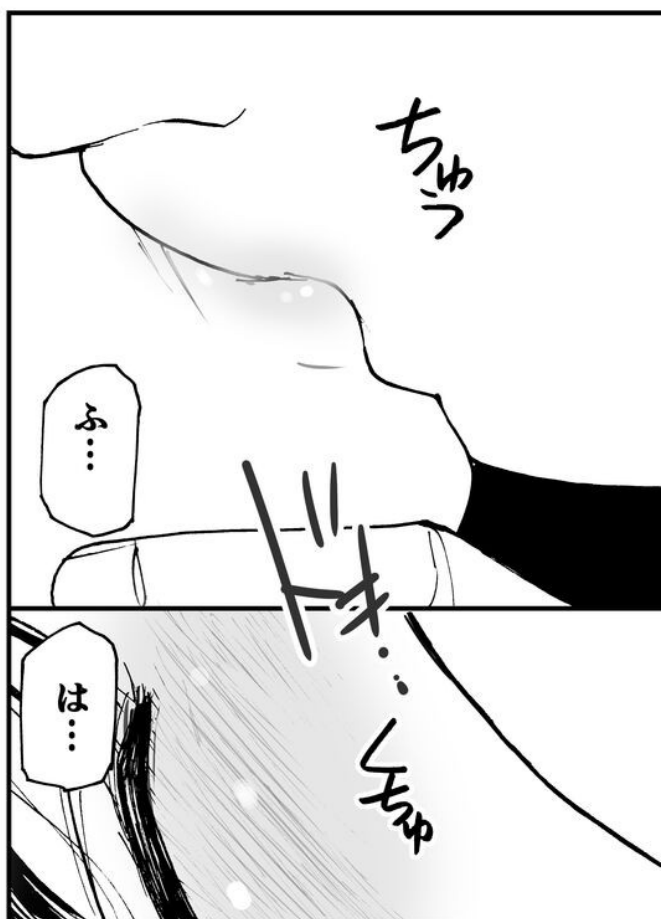
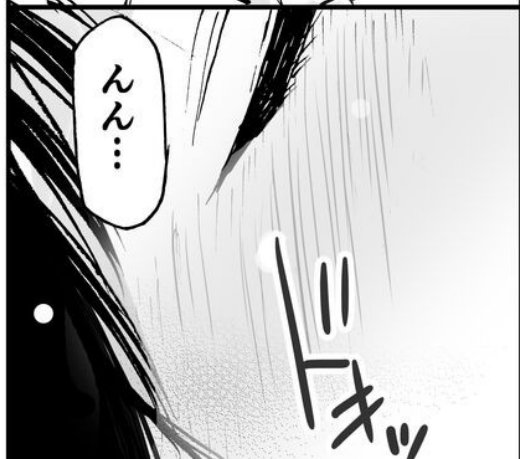


大丈夫
です…



風…

郁兔さん…







胸
まっ白だね…

恥ずかしい…
ですね…

は…

きれいだよ

あ…

はに…



すごい…

てのひらの中に
すっぽり
包まれてしまい
ました…

きゅん…

郁兔さんの手
大きい…







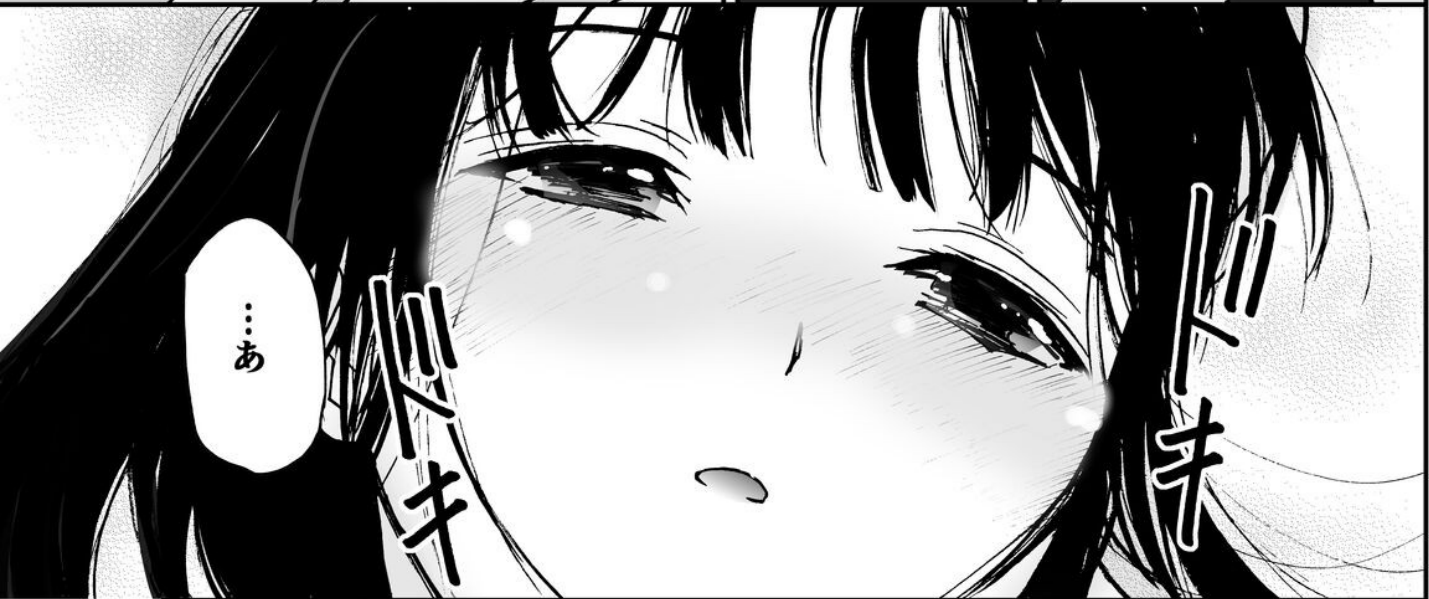
触って...

...

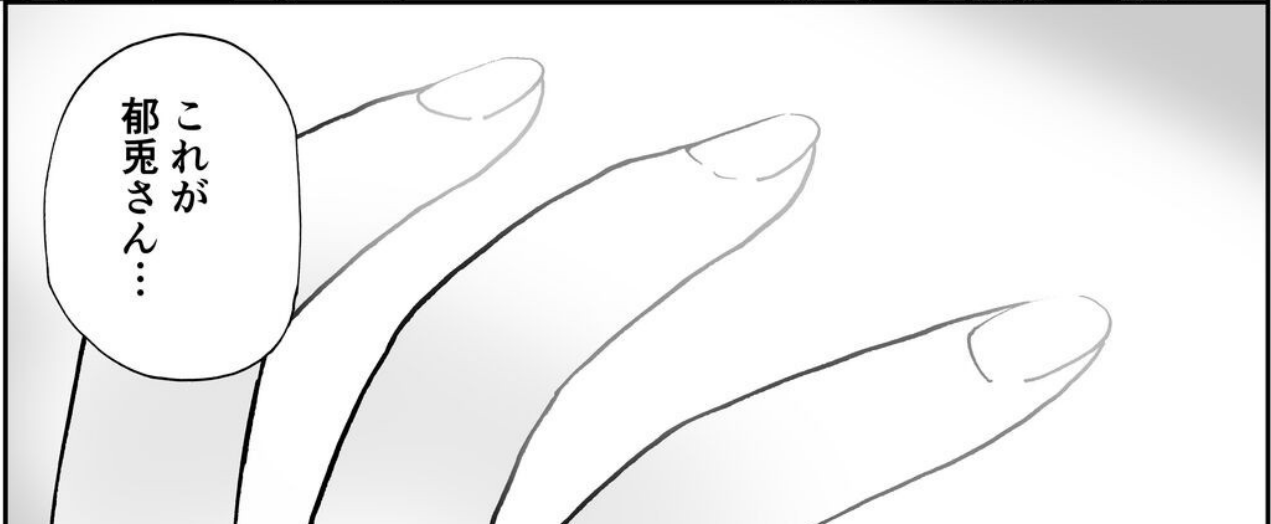
風のもの
だよ...



よく
見て...



...あ



これが
郁兎さん...



んふふっ



俺身体は
正直なんだよ…



すごい…

ドキドキして
いますね…



あ…

指先に触れた
風の性器は
もう……

ぐちゃ…

潤って…

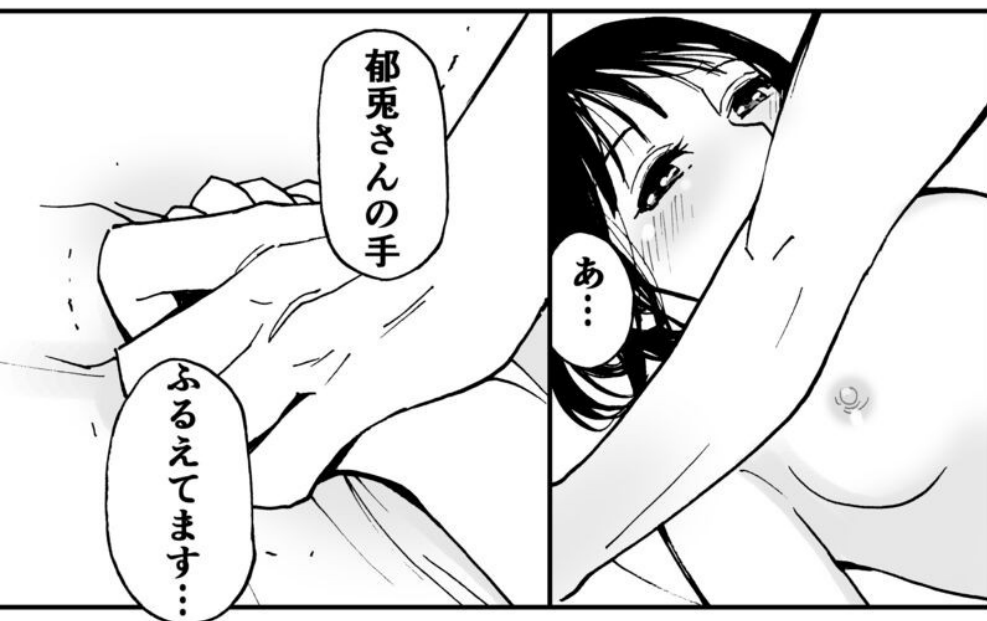
あふれて…

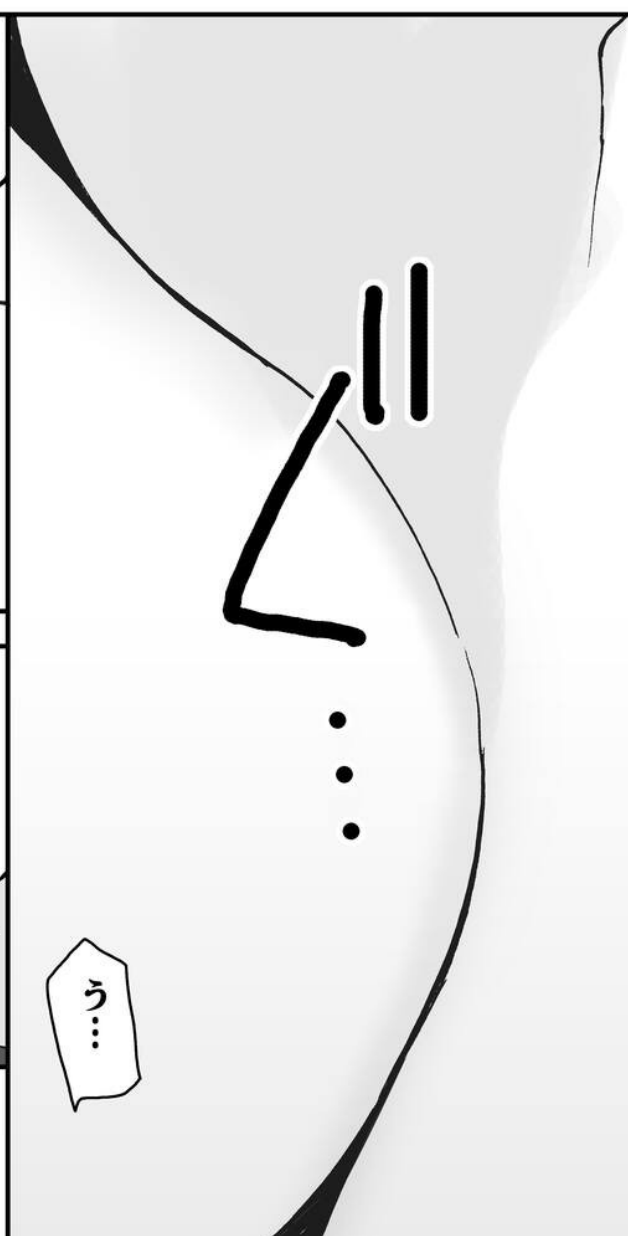
開いていた……





あ...







ちがい…

…ます…

うれしくて!!



入ってる
入ってるよ!!

風!!

〃
...

俺のちん〇
入ってるぞ!!

は...

はい



俺のぜんぶが
おまえに
入ってるぞ!!

ひはッ

はッ

とどいてるか!!

ああ...

わ...



わたくし

あなたで

いっぱいです♡



はッ

は...

はああ

は...
はちきれ
そうだッ!!

ぶちまけるぞ!!

奥ッ...

奥まで...

きてます

ひあ

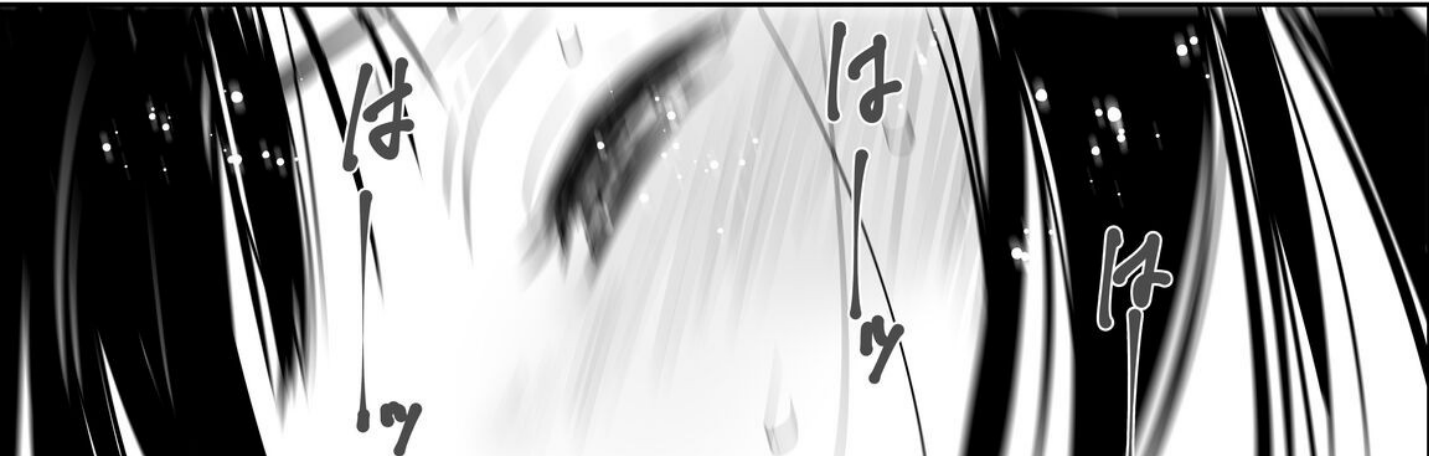
ああ

あああ

んあッ

は...

おまえの中に...







きて…

どうぞ

んああ
ああ
!!

きてえ…

あ…

ああ…



はあ
あああ…

31" 31"





ああ…

あああ…♡

もともと…

彼女を
汚すことなんて
出来るはずもないこと
だったんだと

郁兔さん

素敵
でしたね…

思い知る

目の前には

素敵
でしたね!!

まっ白な

恋人がいた——

いっ—ぱい

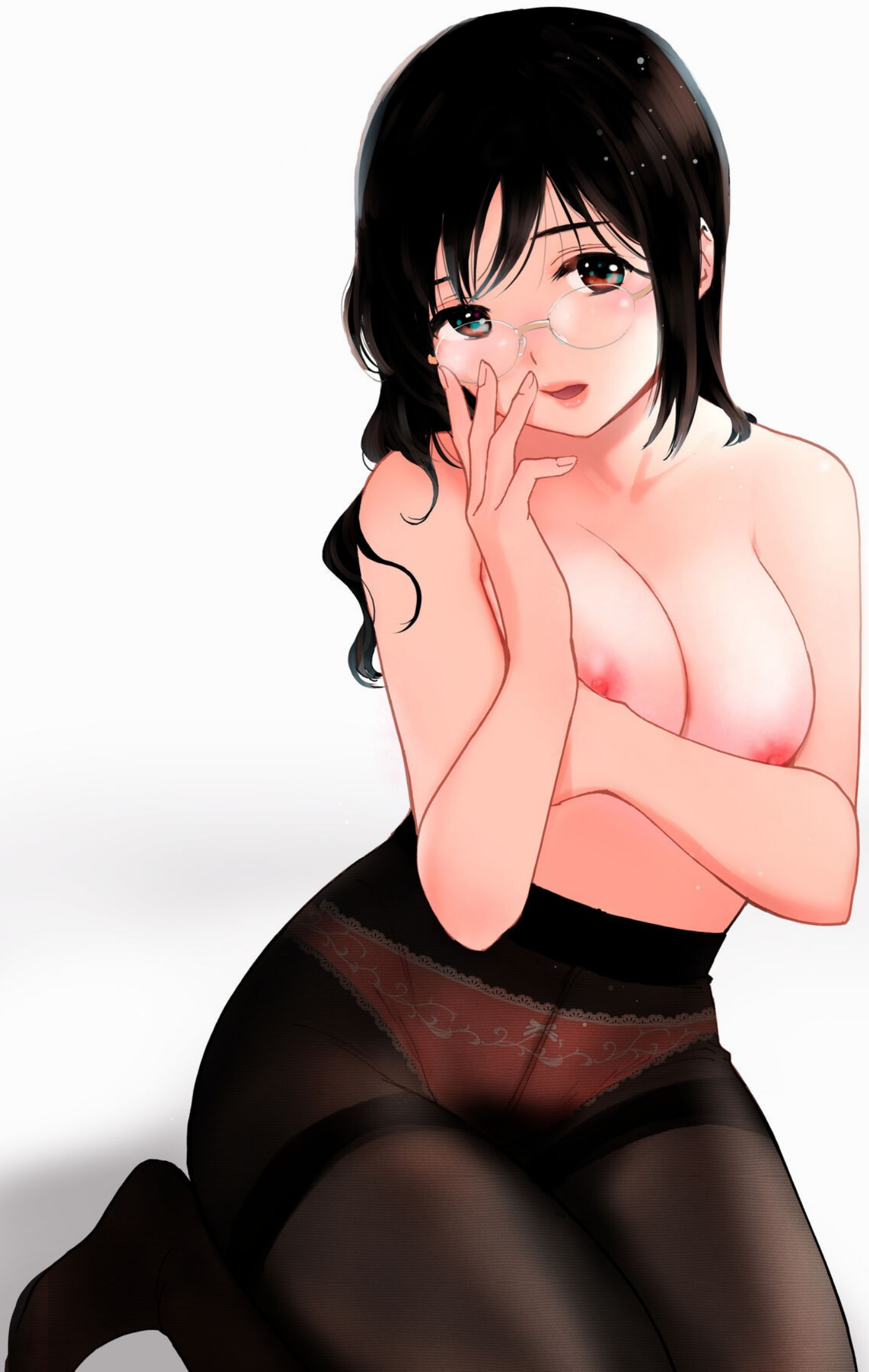
愛し合っちゃい
ましたね♡



い
体
験

ありふれた
ロマンス

A Commonplace Romance



オレが入社した時はもう
彼女の名前は
「カタブツさん」だった

あ
カタブツさん

おはよー
ございます

おはよう
ございます

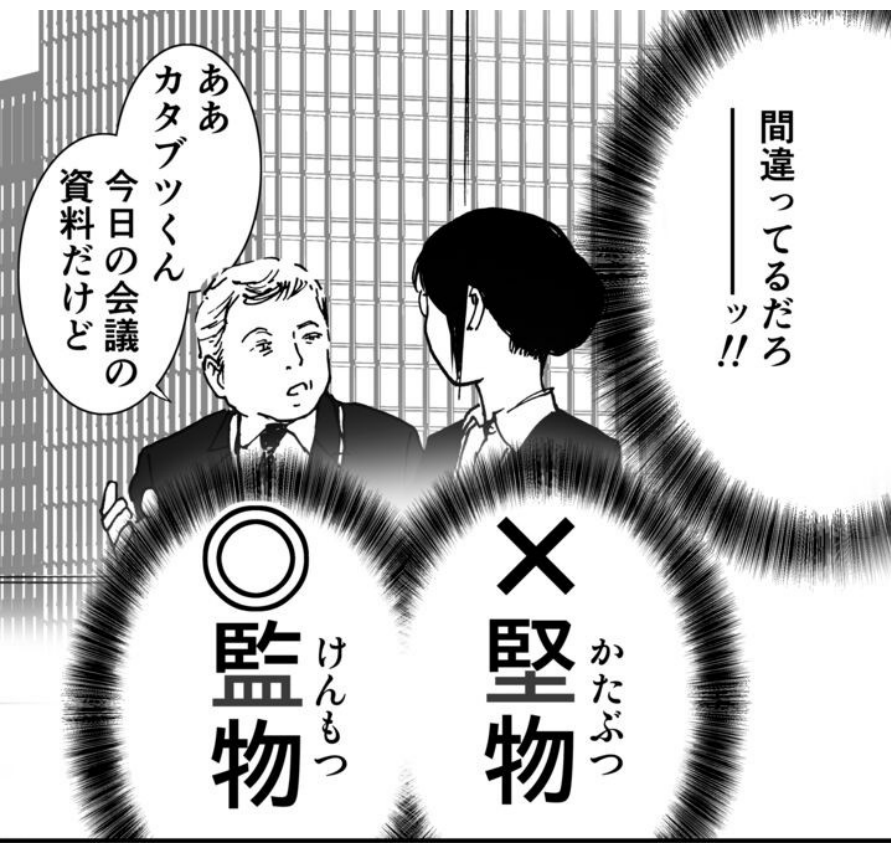
カタブツ

かわった名字
なんだな……

おはよう
カタブツくん

はい
おはよう
ございます

カタブツ



「カタブツさんって
名前通りの人だよ」

「うん」

「いつもニコリとも
しない感じで
笑うとか」
「楽しいってところが
想像できない」

「そんな感じ
そんな感じ」

「あの人の
絶対に恋愛経験値
低いよね」

「ゼロなんじゃない
そもそも…」

「あの人の
恋愛とか
したりする
のかな？」

監物さん

今日は
オレの趣味に
つき合ってくれて
ありがとうございました

いえ…

でも
退屈
させちゃい
ましたかね…

やっぱり
古典は…

……いいえ

楽しかった

…です

榎村くんと
いて…

とっても…

楽しかったです

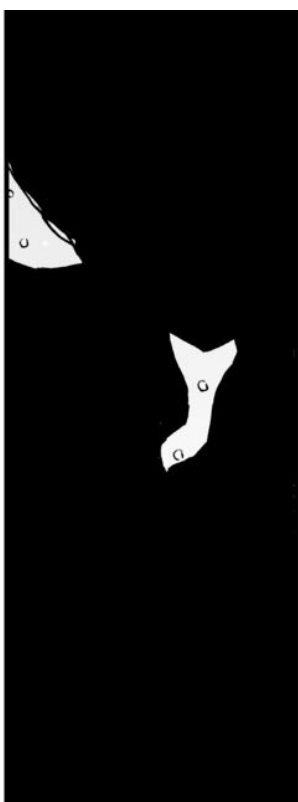
け…

監物さん

あの…
ですから…

また
誘ってくださったら

うれしいです



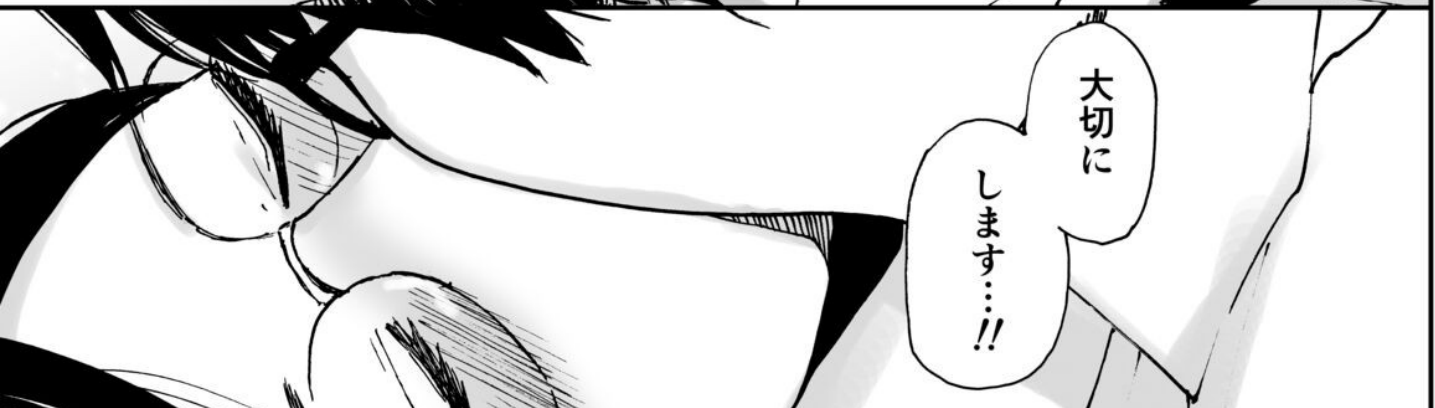


サッチちゃんの
キスは

とっても

熱かった!!

ちゅ…











オレ

うれしいです!!

七ツ...

あ!!

これ!!

サツちゃん

ドゥ

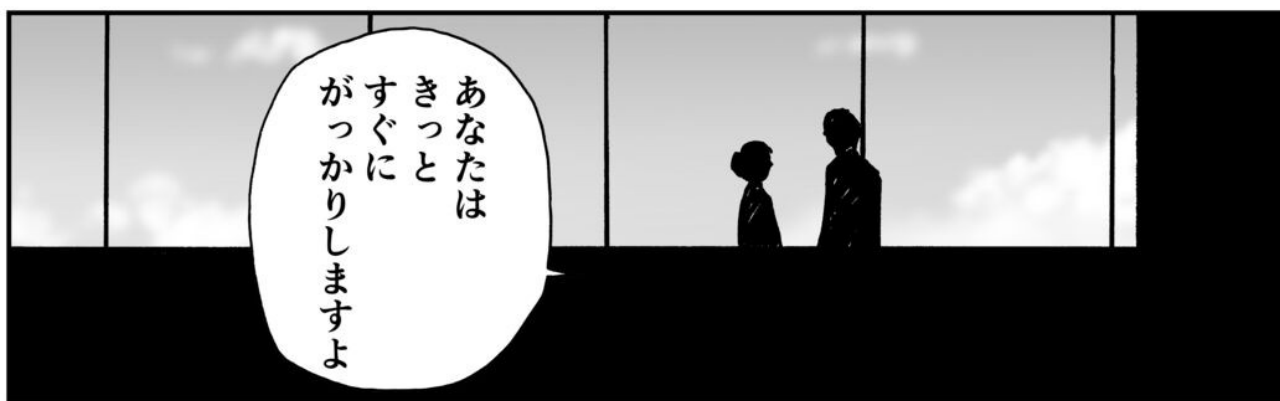
ドゥ

感じてる!!



ドゥ

ドゥ





サツちゃん!!

あ…

あ…

ゴク
ゴク

くちゅ

くちゅ

くちゅ

サツちゃんは
いま

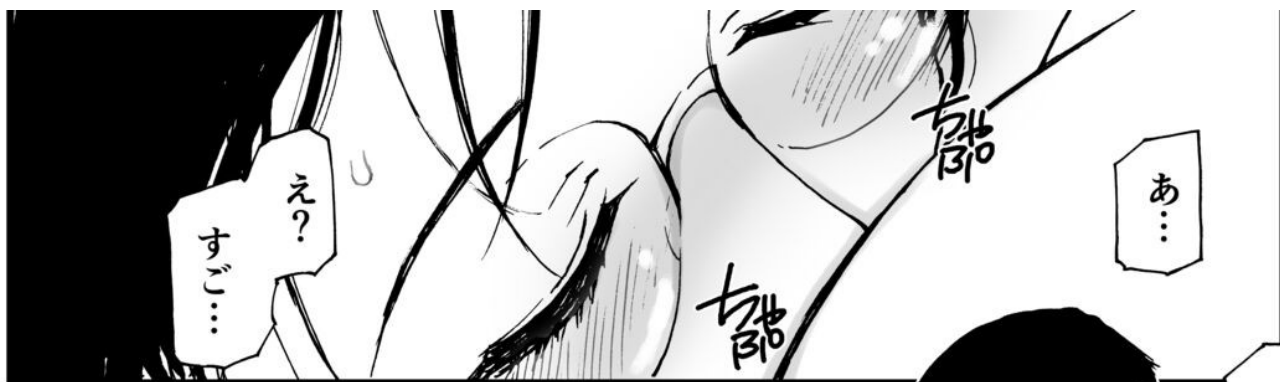
ああ…

最高に
愛されてるよ!!

ゴク
ゴク

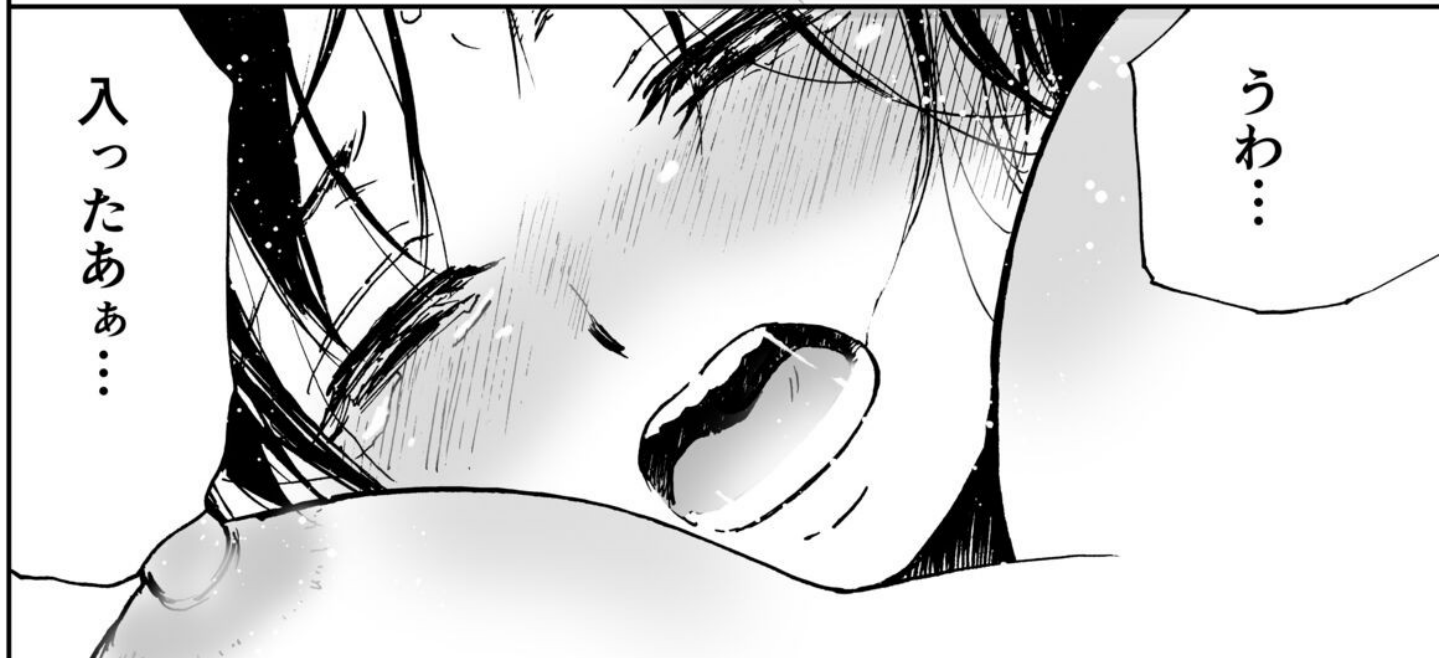
ゴク
ゴク







愛し合
たいで
す





大っき...

サッちゃん!!

はあああ...

あったかあい
.....



サッちゃんの中!!

すごく
熱くて...!!

やさしい!!

オレ

とけちゃいますッ!!

ふッ

はッ

ふふッ

あああ

ああああ♡



ねえ
どうしてですか？

はい？

どうして
「カタブツさん」の
わたしなんか
告白してきたんですか？

それも
出会った初日に

そう言われても
オレにも
わからないん
ですけど…

だけど
ひと目で
ビビっときたって
いうか…

ビビッ？

えっと
つまり
ですね…

ひと目見ただけで
なぜか勝手に
チンポがガチガチに
勃起ちゃったんです

へッ!!

これって
運命の出会いって
やつですよ!!

オレが
本気で
そう言う

サツちゃんが

笑った

バカ♡

ありふれた

ロマンス



ふ
た
り
の

♡
へ
ッ
ド



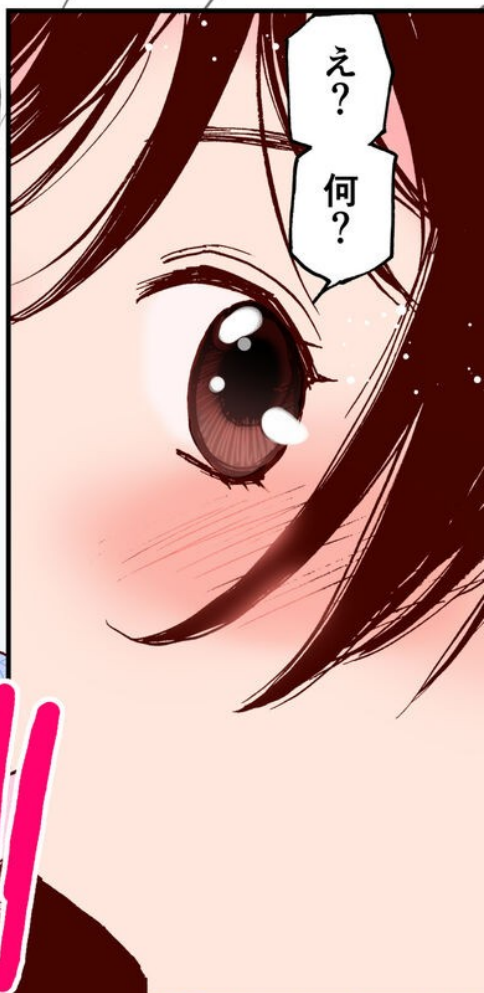


んッ...

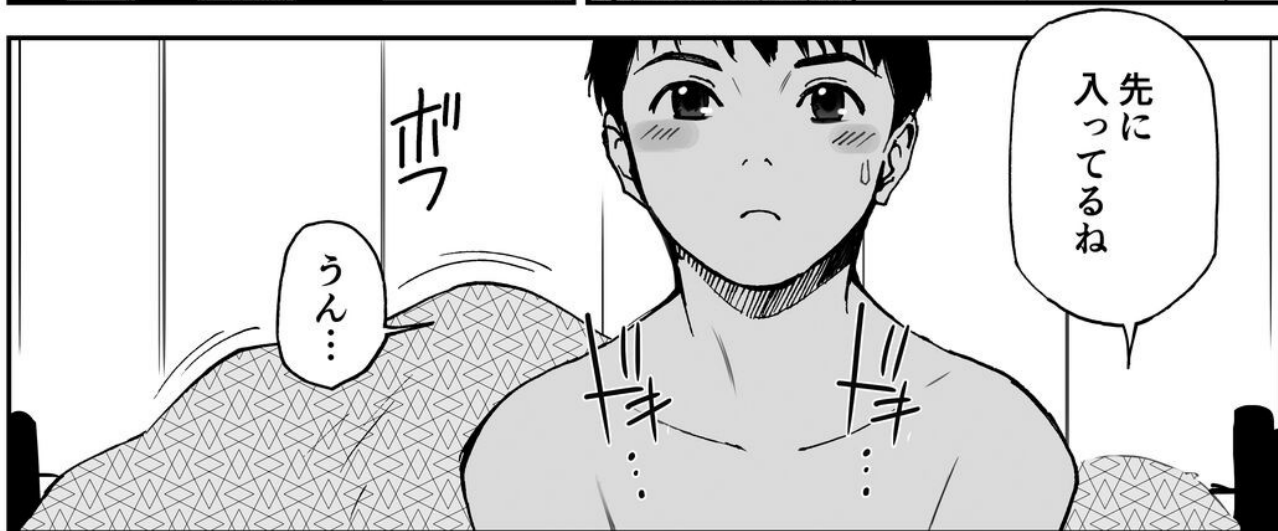


あっち
向いてって!!

めッ!!



え?
何?





コラ
何臭い
かいでんだ

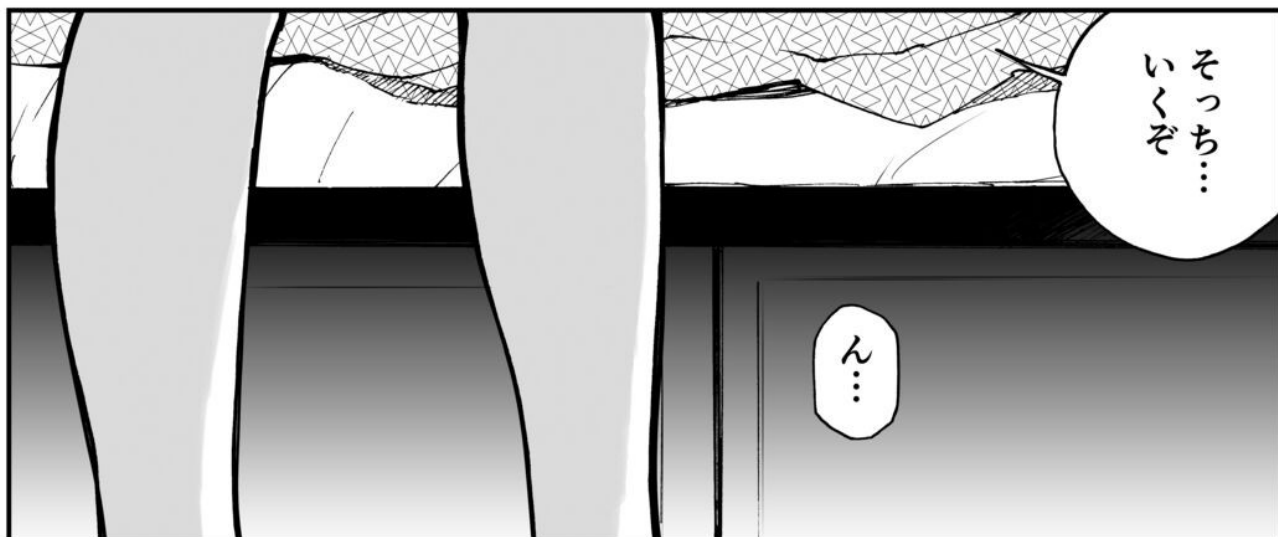


おおー
これが
穂ちゃん
が毎晩寝
ている
ベッドかー

スンスン



えへへ
けっこう
いい臭い
だよ



そっち…
いくぞ

ん…



もうちよい
奥へ詰めてよ

ん…



ガン見
すんな
スケベ



へー
そーゆー
パンツ
はいてんだ♡

ベッドが
もう一度
「キシッ」と
鳴った…



全部
脱いだの？

ううん
わたしも
まだ
パンツは
はいてる



やっぱり
せまいな

稔ちゃん
落っこちたり
しないでね

ゴン…

しないよ

ボクと由花^{ゆか}は
恋人というより
気のおけない
友だちみたいな
感じだった…

だけど



あんまり
エロい雰囲気
にならないもんだね

やっぱり
映画やマンガとは
違うんだね
実際は……

うん
けっこう
日常の続き
みたいだ

さっき
服を脱いでたのも
なんかおフロに
行くみたいだったし

お、おフロ
だ……

トクッ

このベッドの上で
今から
ボクと由花は
「男と女」に
なる



やっぱり
キスからが
いいな…

トクン…



うん…

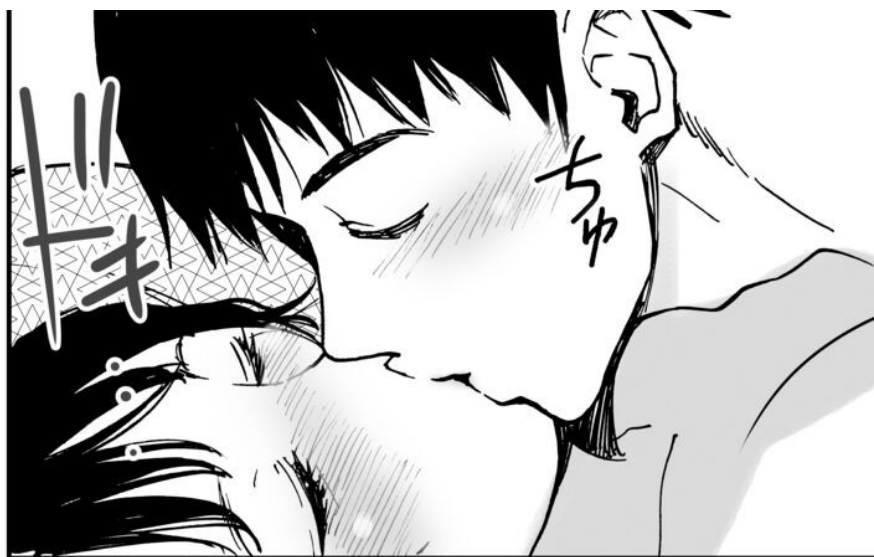
じゃ
由花…

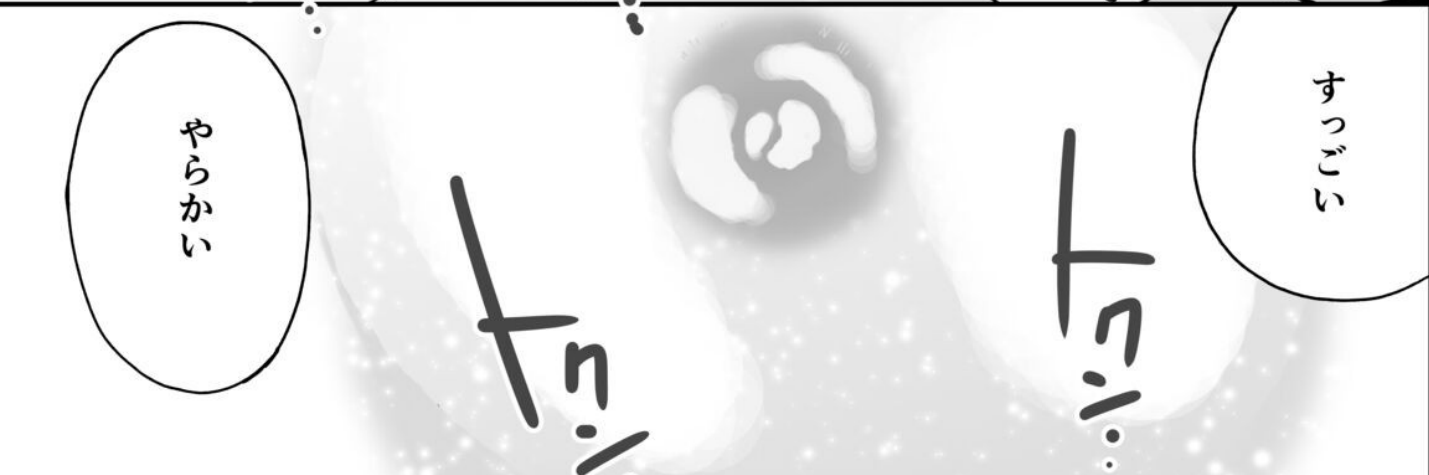


ヒキキ…

ヒキキ…

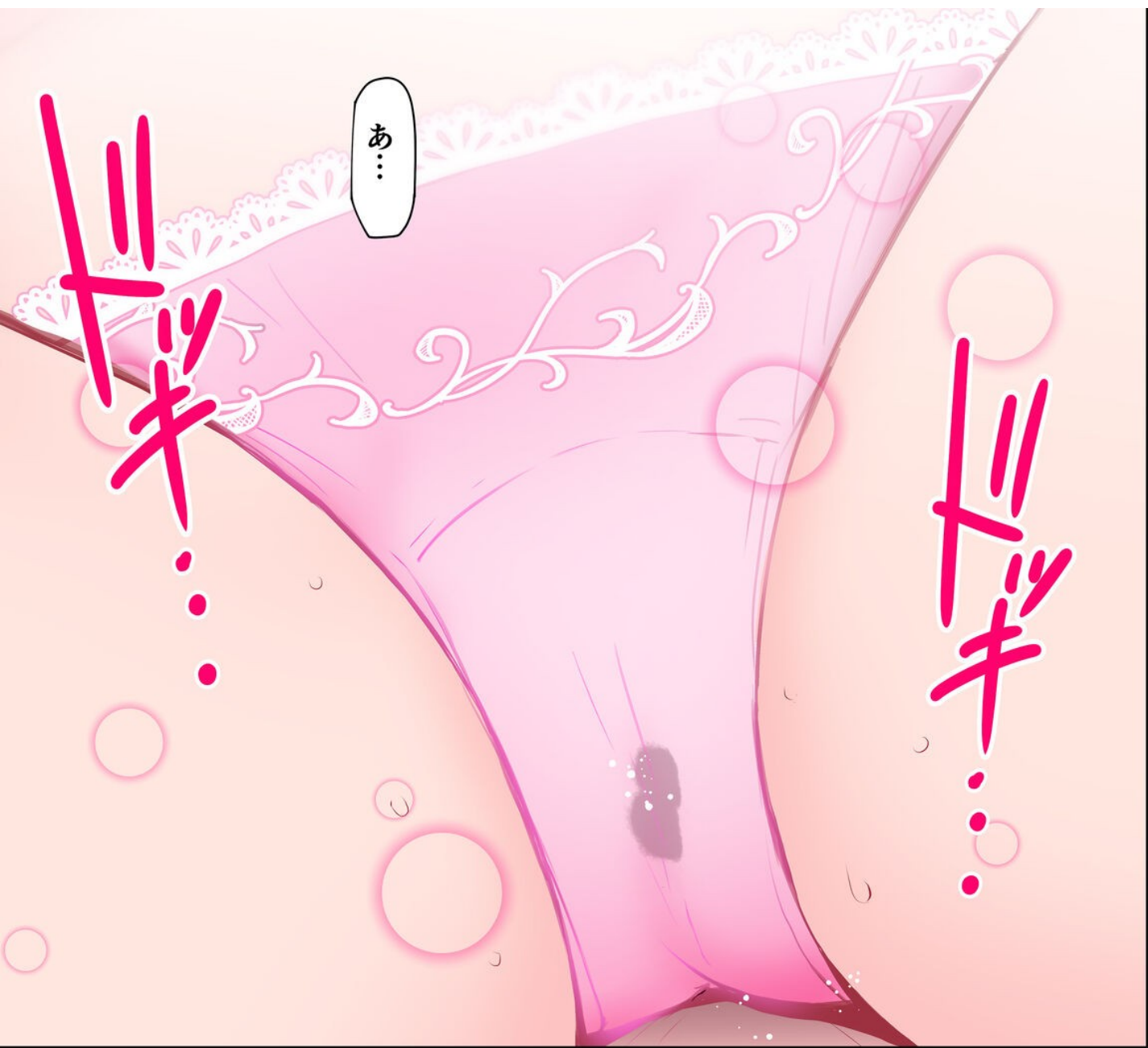
ヒキキ…













ドン
ドン
ドン

んはあッ♡

み...
穂...
ちゃ...

いん...

じん...

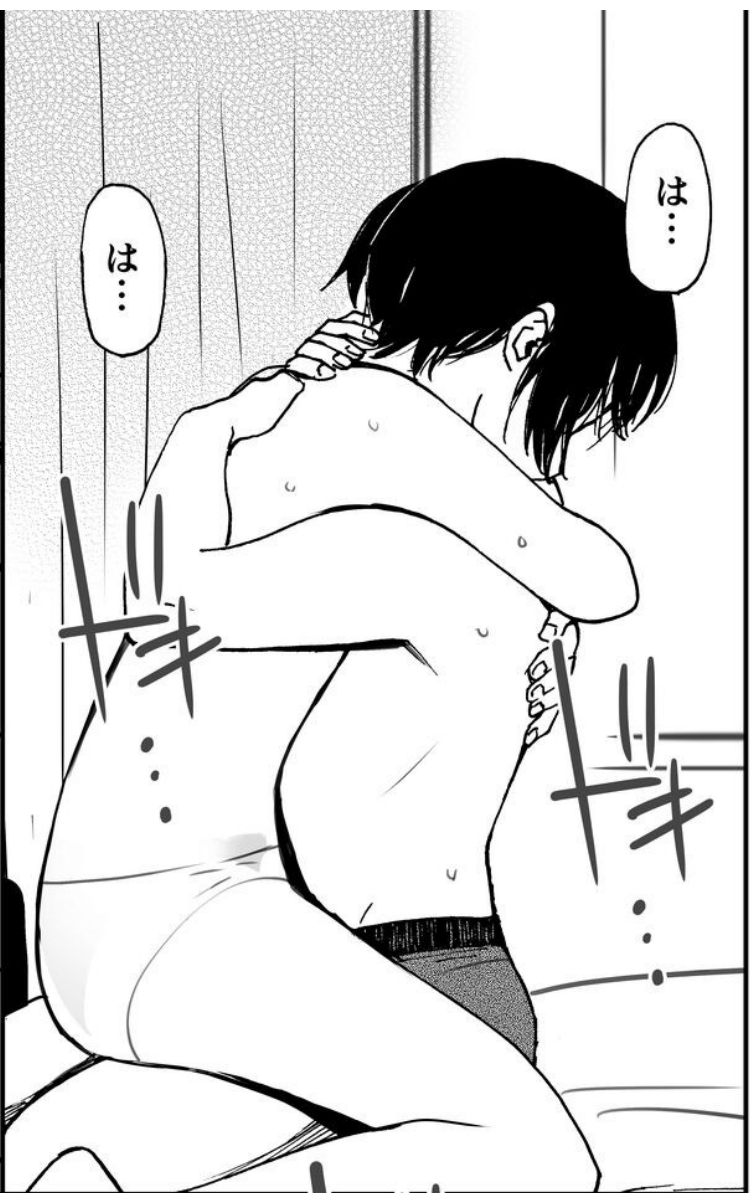


稔ちゃん…



稔ちゃんの
身体
熱い…

くっついてるとこが
じゅんって
なる…



は…

は…



裸になろう

もう早く
脱いじゃお



由花の
身体も

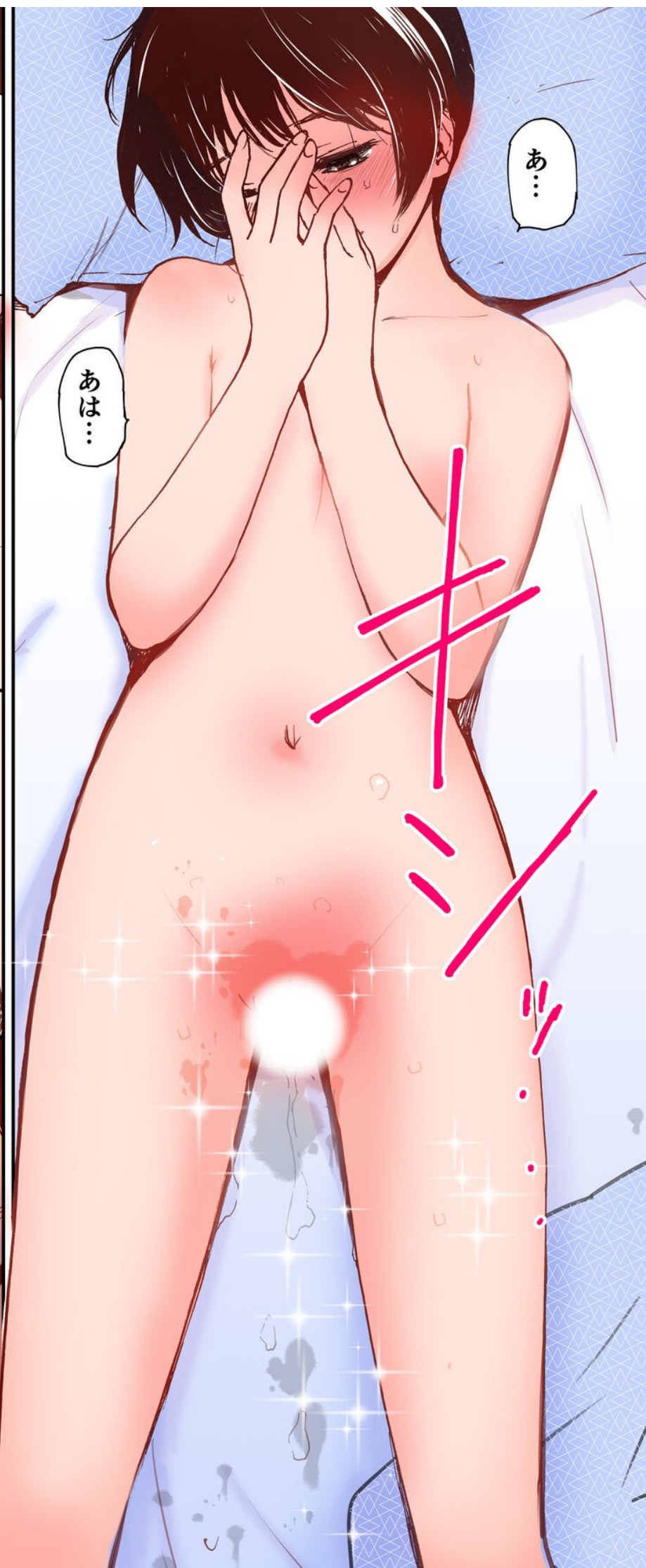
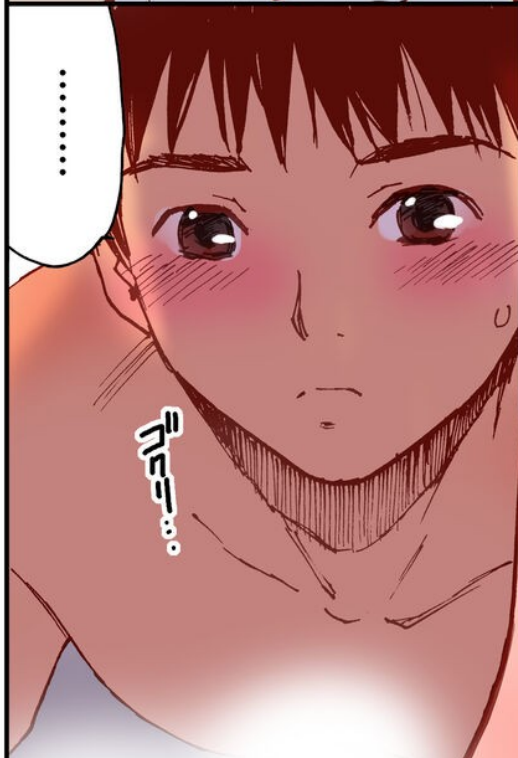
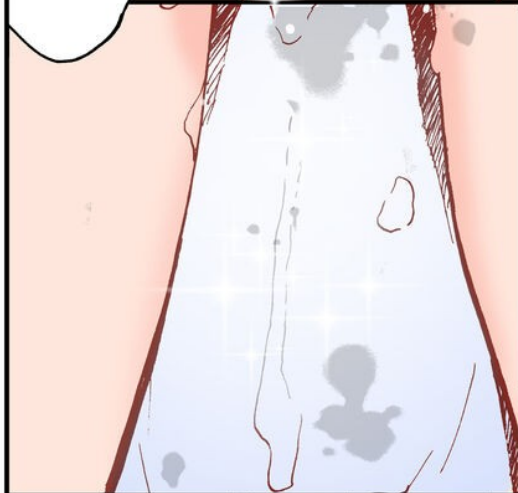
すごい
熱いじゃん…



ズキン

ズキン

ズキン





そっと
触った...

いっぱい
濡れてた
.....



こんなに
感じてくれて

すごい
うれしい

由花
ありがとう

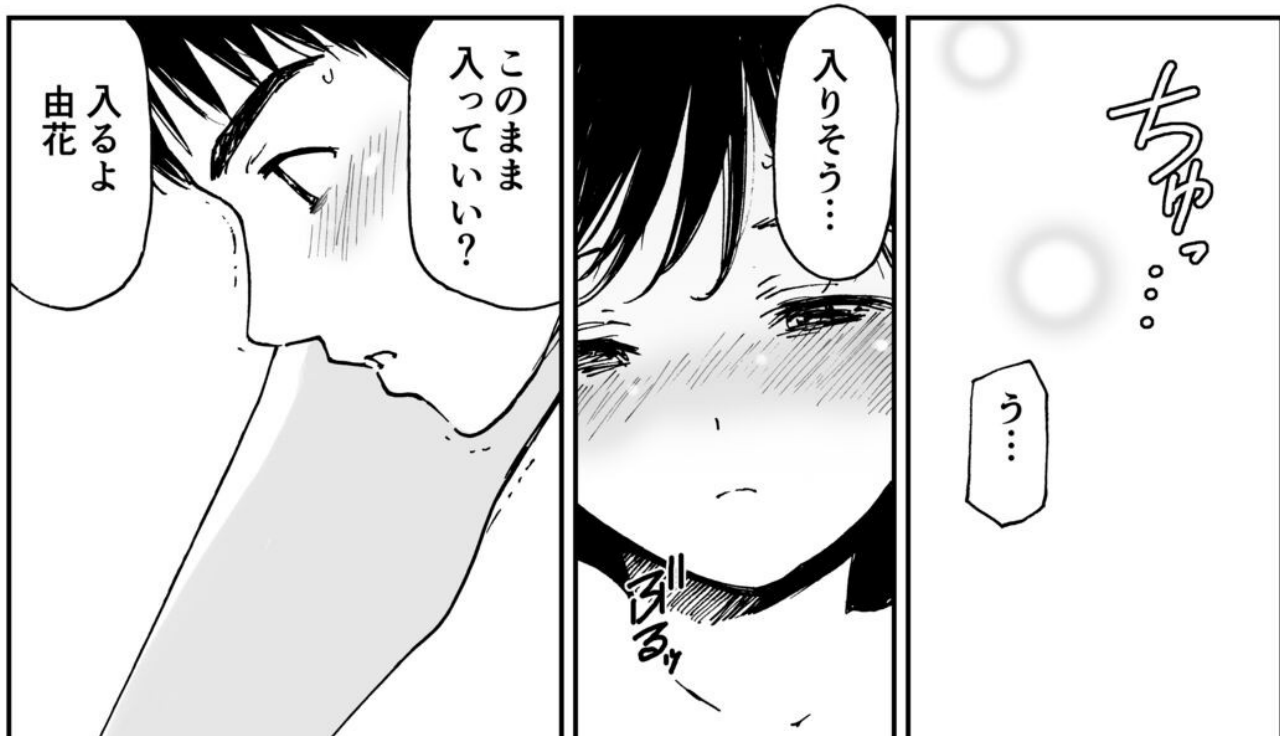
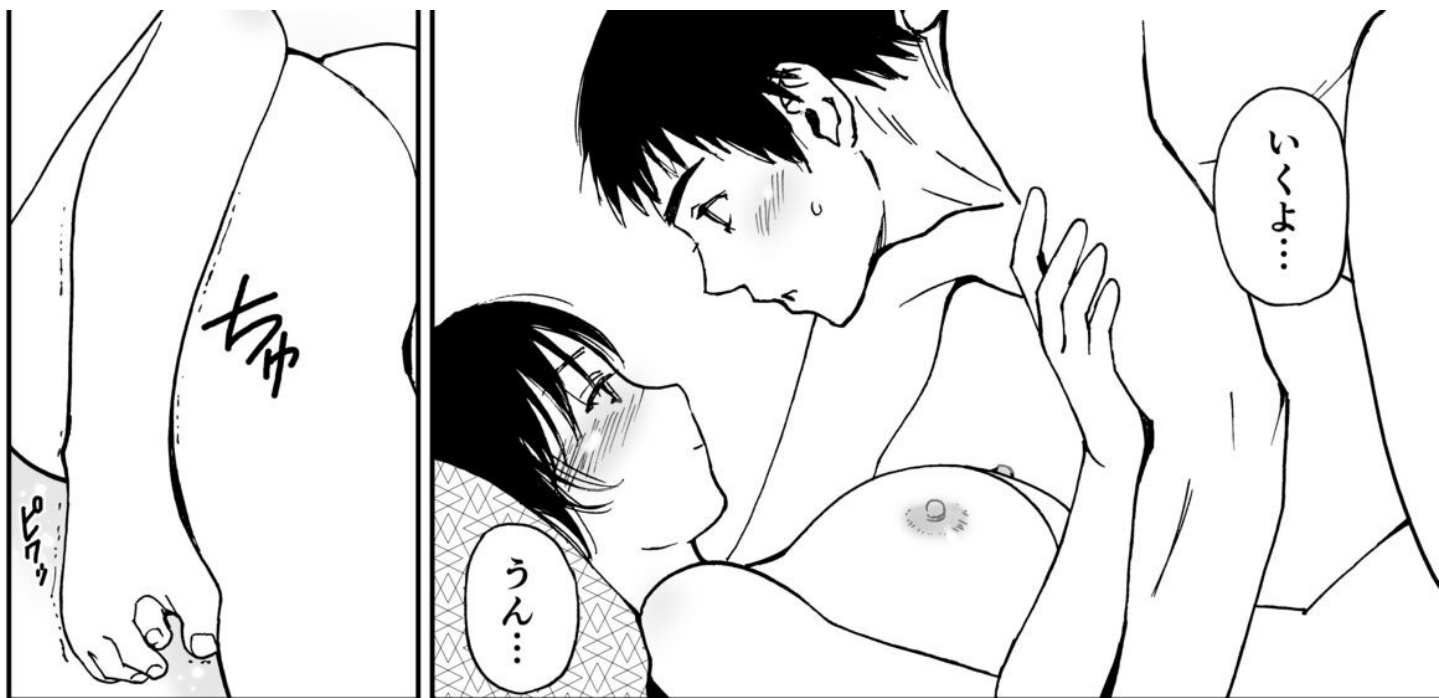
...バカ

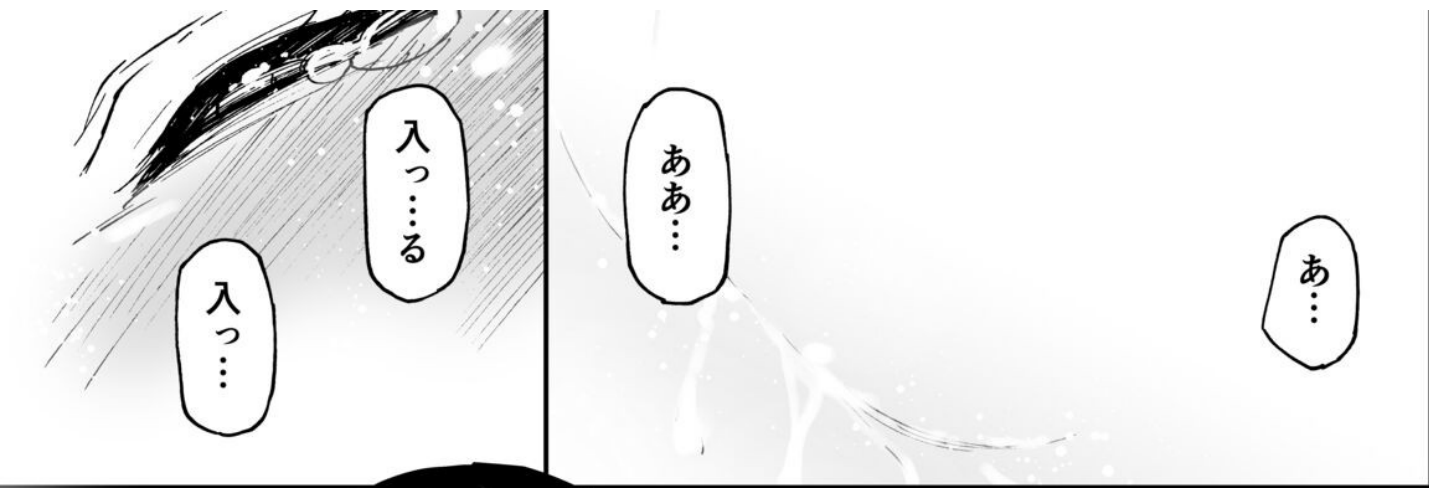
これは

こわれやすい
ものだと
感じた

大切に
してあげなきゃ
いけないものだ
と
感じた

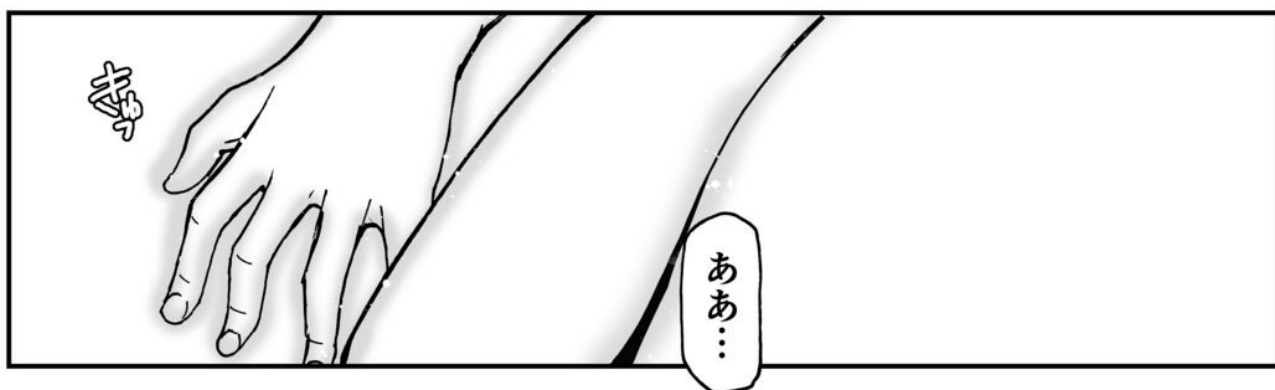
ボクの
「男」の心が
そう感じた











えっちするって
こういうこと
だったんだね

たまらなく

愛しく
なっちゃう

由花…

穂ちゃん…



大切な…
大切な…

特別な身体に
なっていく…

特別ないのちに
なっていく…

愛しい
……ッ!!



オレの

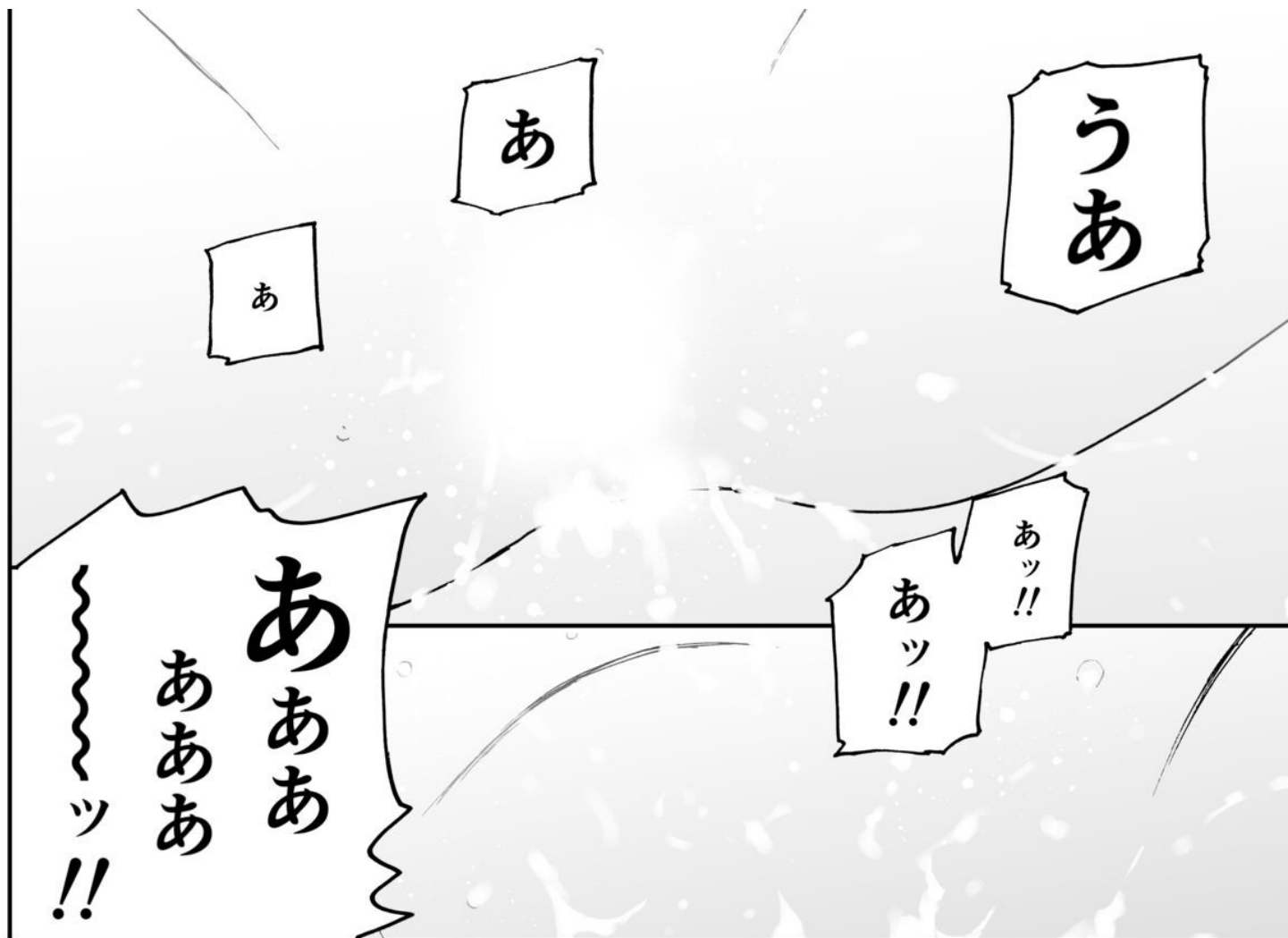
「女」だ!!

あ…

あ…

あッ

あああ…ッ





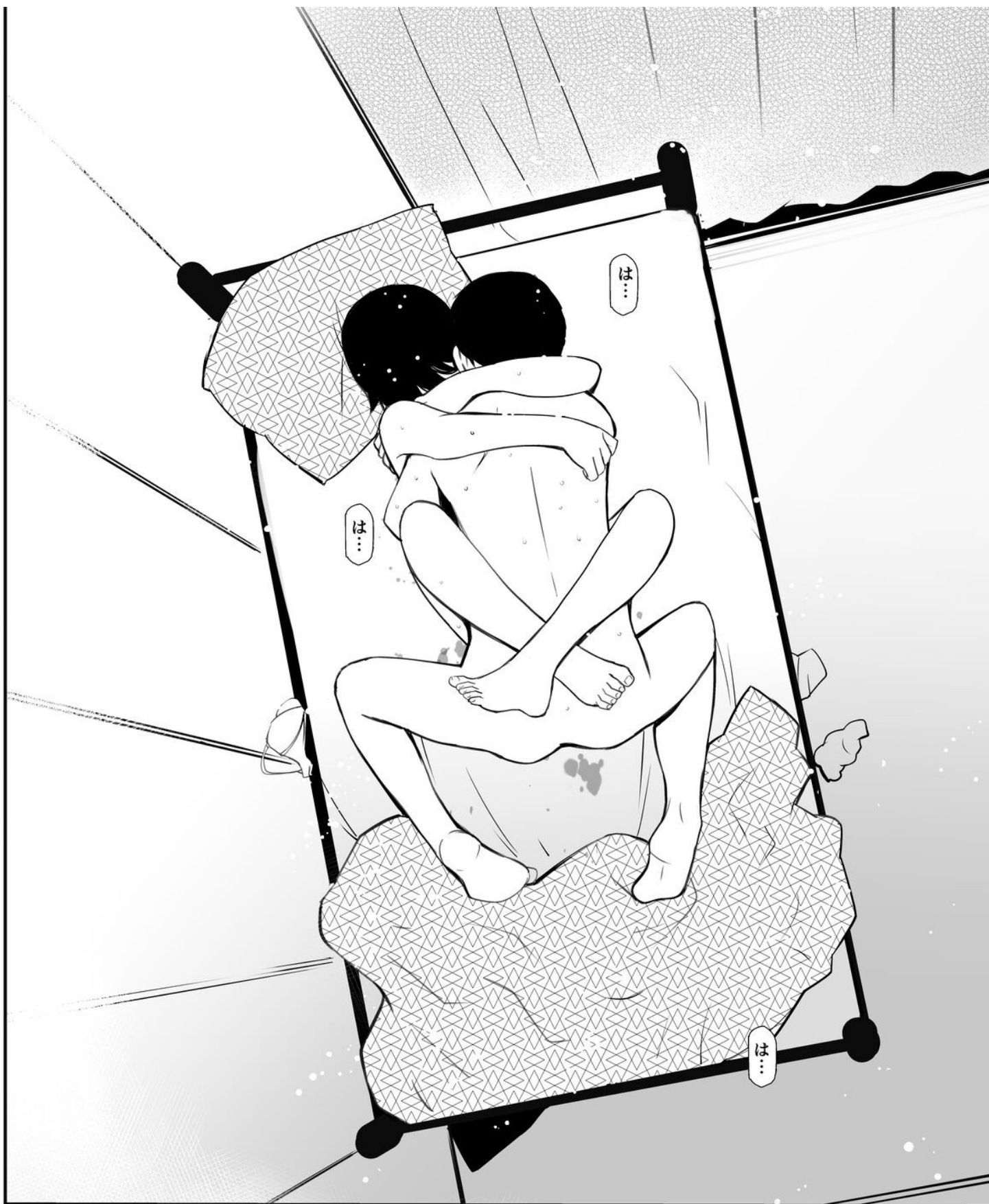
ああああああ♡

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ



しばらくは
動けなかった
目を開けることも
できなかった

……

ベッドが
合図するように

キッ……

小さく鳴った



は…

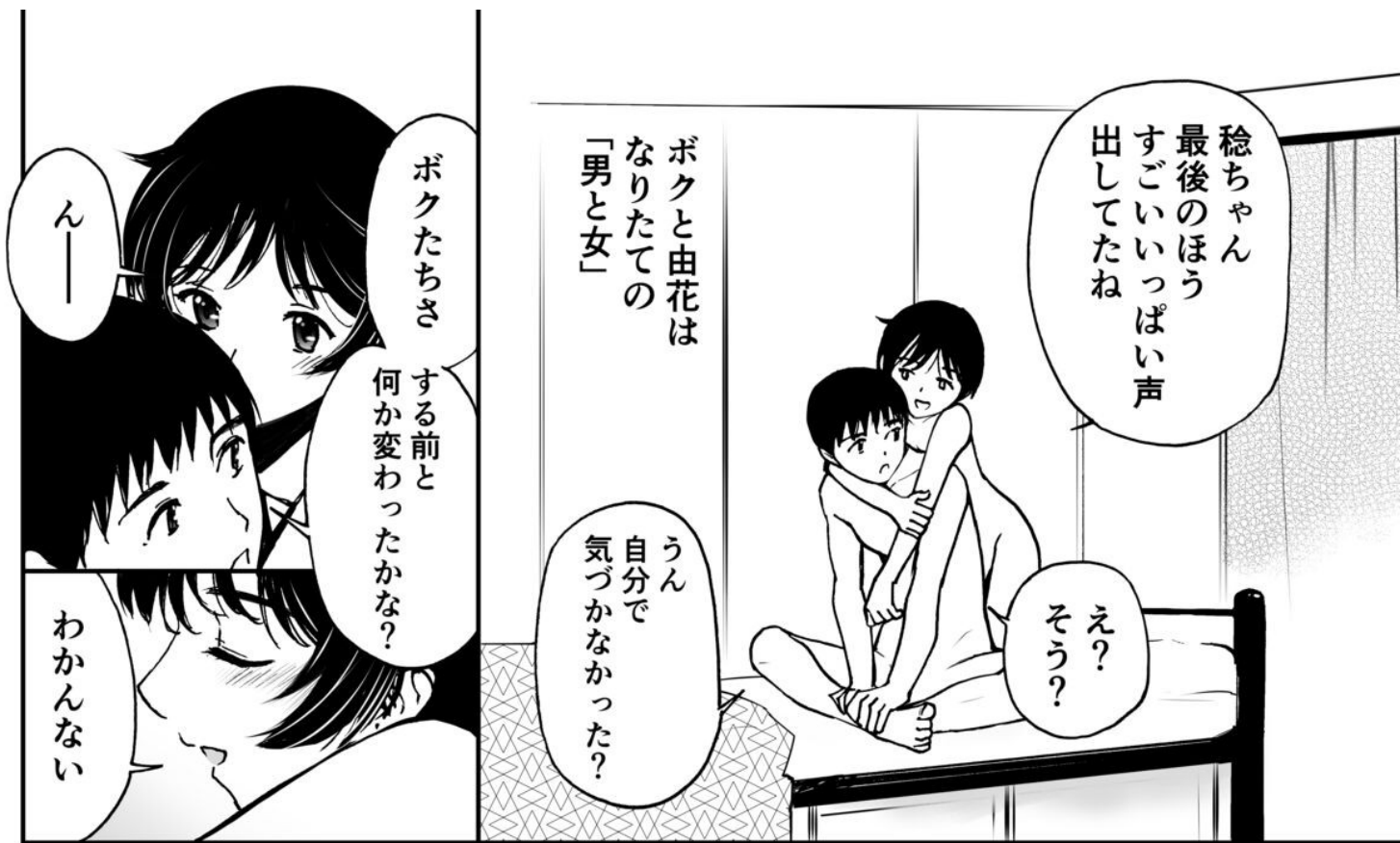
ふたりは もう…

あ…



あはっ…

恋人だった



穂ちゃん
最後のほう
すごいっぱい声
出してたね

え？
そう？

ボクと由花は
なりたての
「男と女」

うん
自分で
気づかなかった？

ボクたちさ
する前と
何か変わったかな？

ん——

わかんない



それはそうと
生乳
押しつけ過ぎだぞ

えへへ
これクセになりそ♡

背中が
くすぐったい

照れくさい…

あったかい…
つまりこれって…

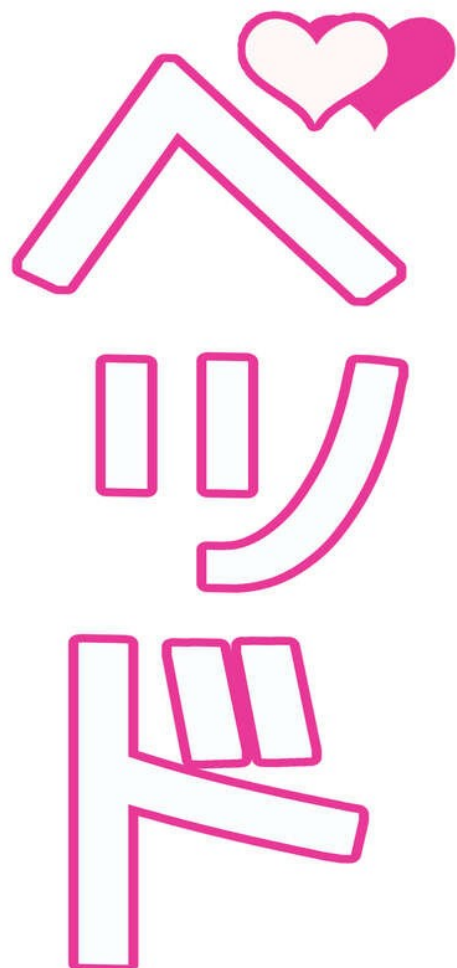
なあ
由花…

しあわせ♡

くそ
先に
言われたッ

キシ…

ふ
た
た
り
の





鼓動に
さわって...





触ったら
想像していたより
ずっと大きく
脈打っていた…



すい…

すごいな
本当に
ドッキドキって
いってるんだ…

もう…

止まったら
死んじゃいます

はは

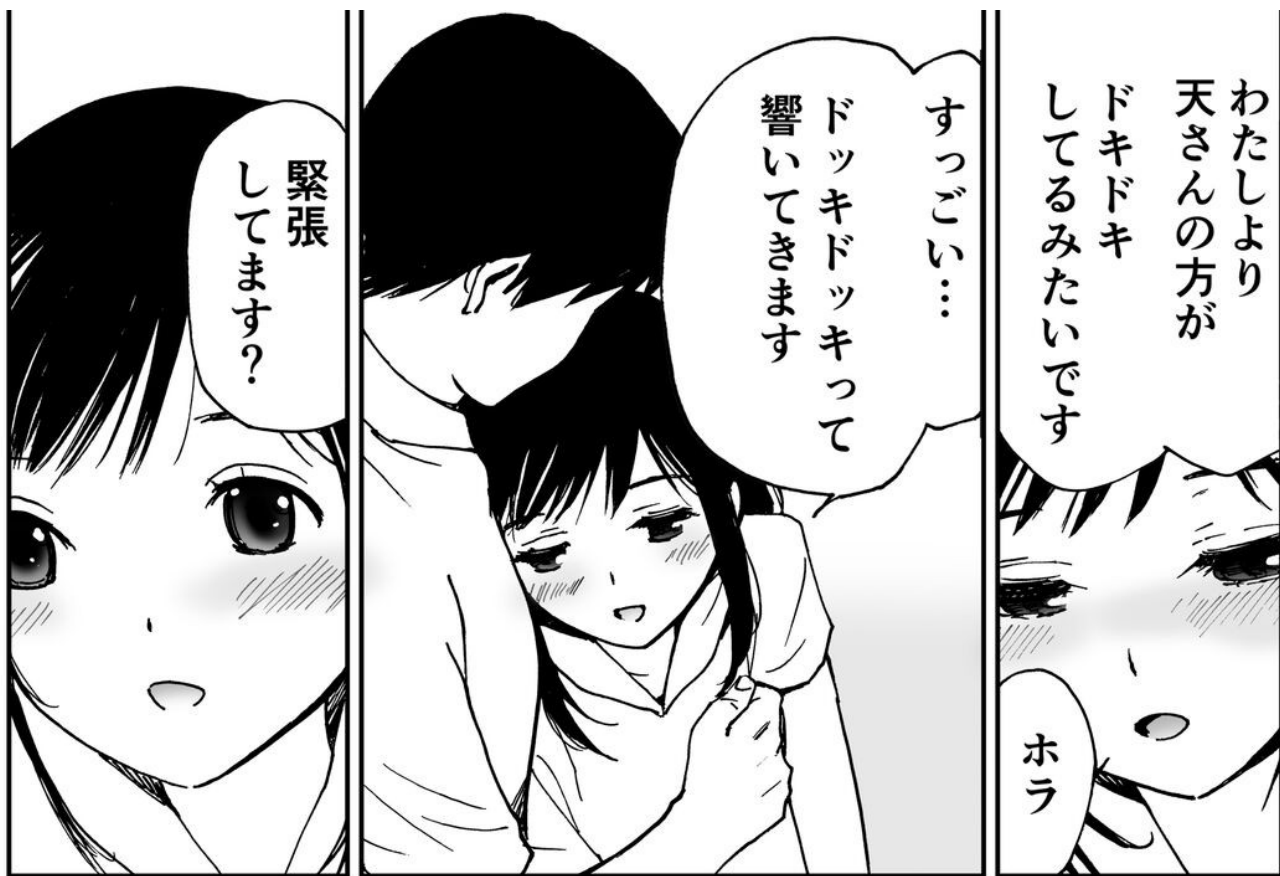
そりゃ
そうだね

はい!!

うん
そうだね

ちまに触れている
てのひら
ほんのりと
あたたかい……

ちゃんと
生きてますから





ふたりで
ドキドキ



うれしいです



いま
キュンって
きました♡



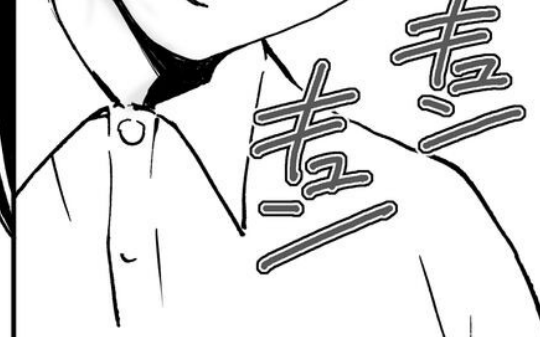
あ



…ちま



あ…やば
頭…まっ白に
なりそう…



キュン



ちま…

ド
ッ
キ

ド
ッ
キ

く
ちゅ
…

ド
ッ
キ

ちゅ…

ん…

ド
ッ
キ

ちまの
ドキドキと

自分の
ドキドキが

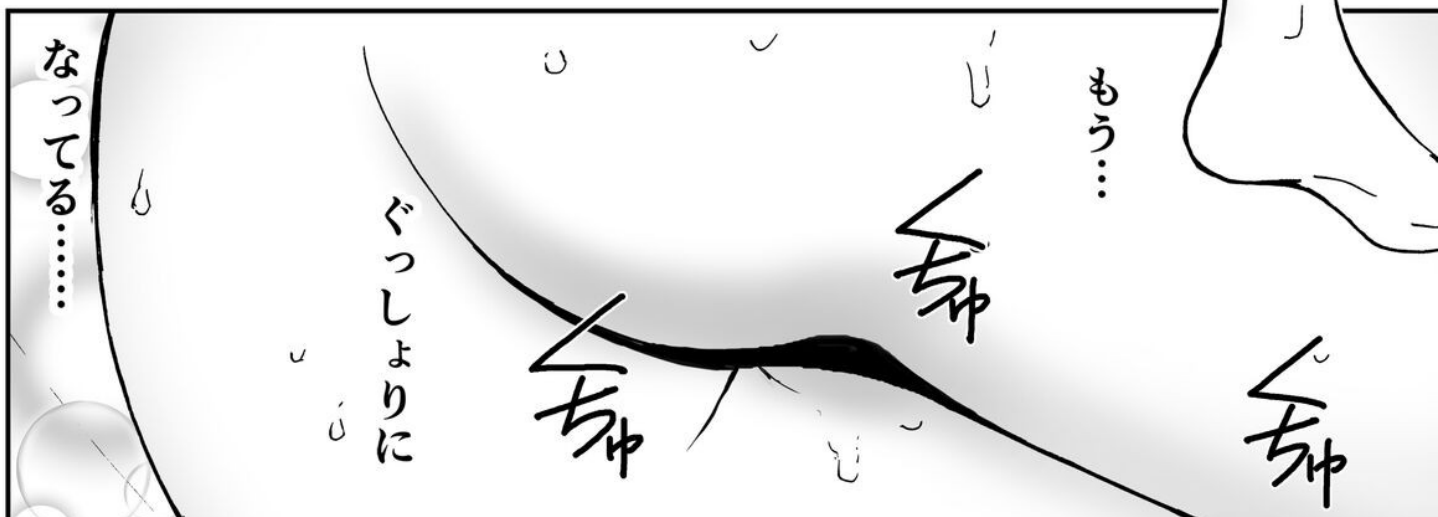
重なって
混ざって
いっしょになる…

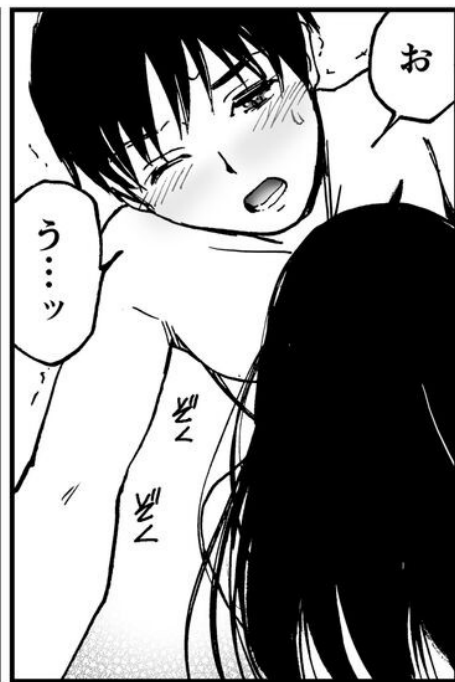
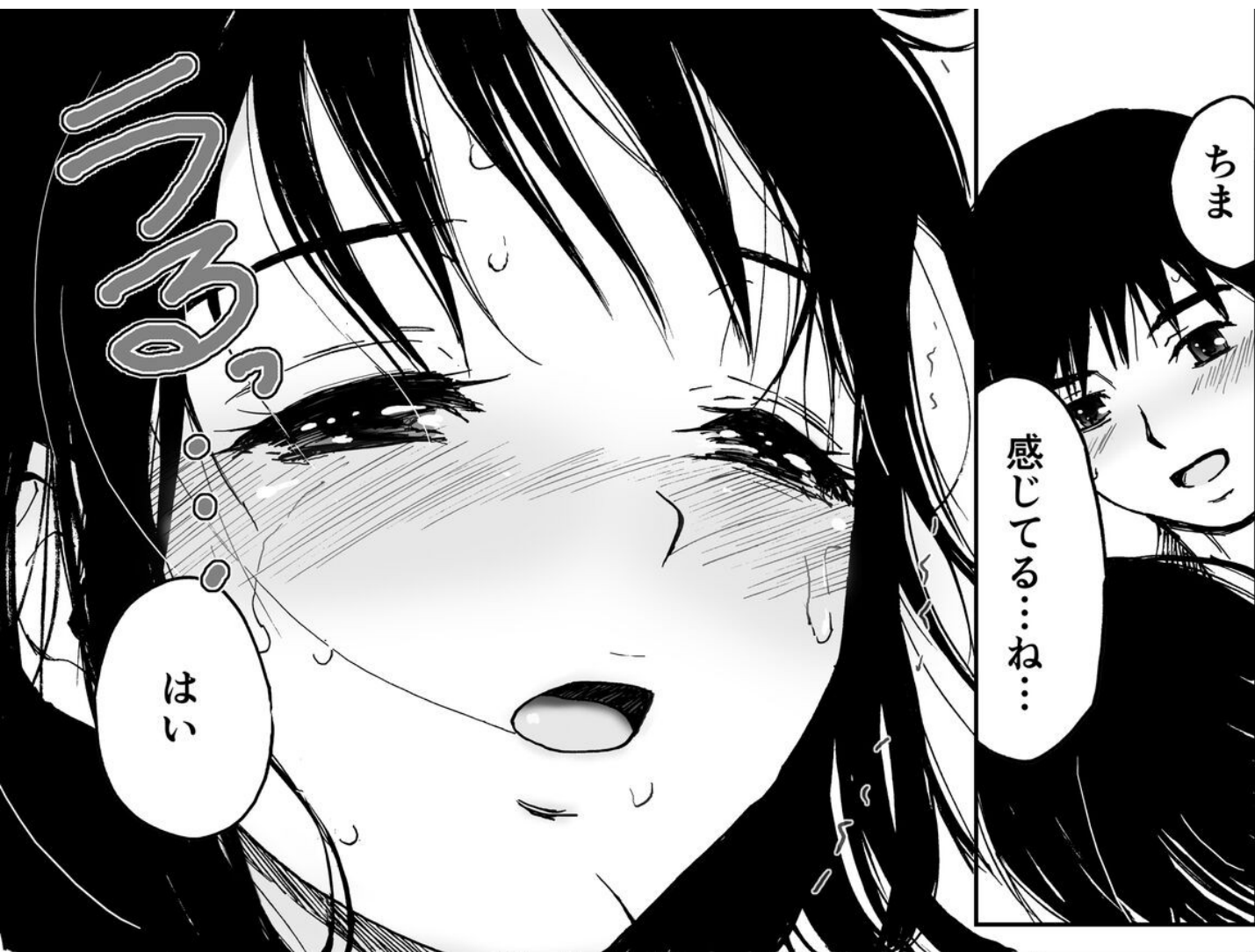


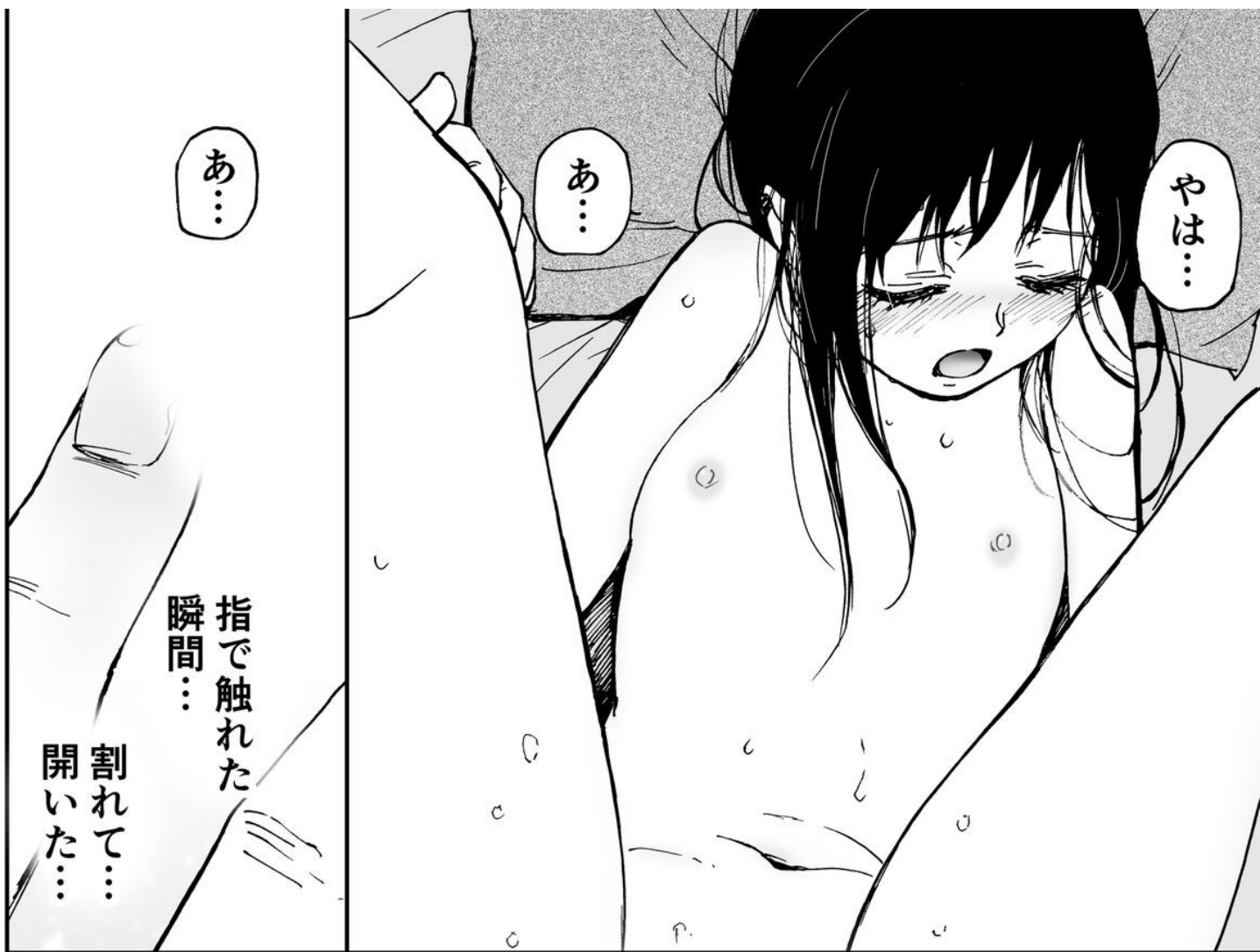


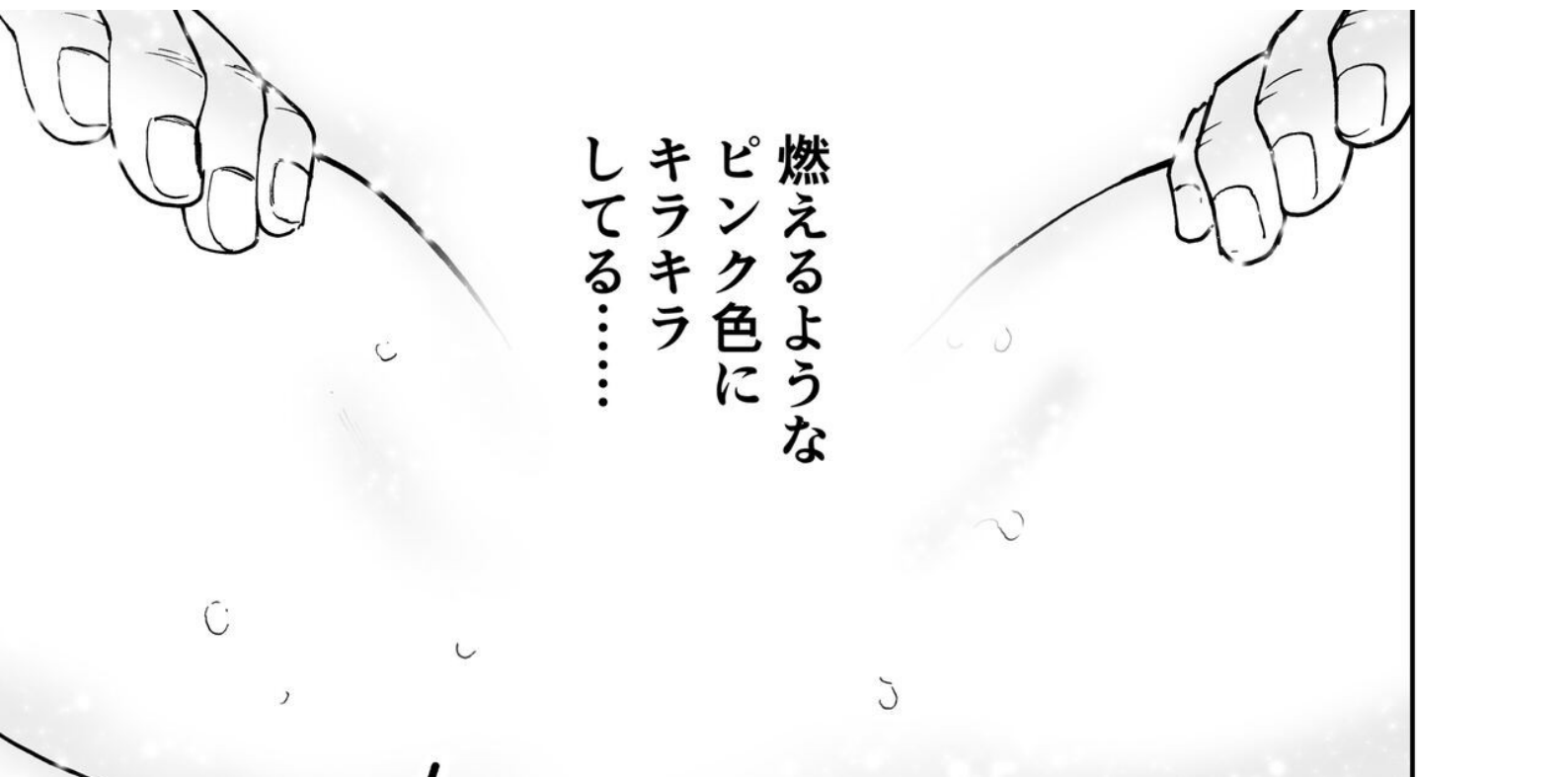












燃えるような
ピンク色に
キラキラ
してる……

ちゅ。

きれい……!!

ちゅ……

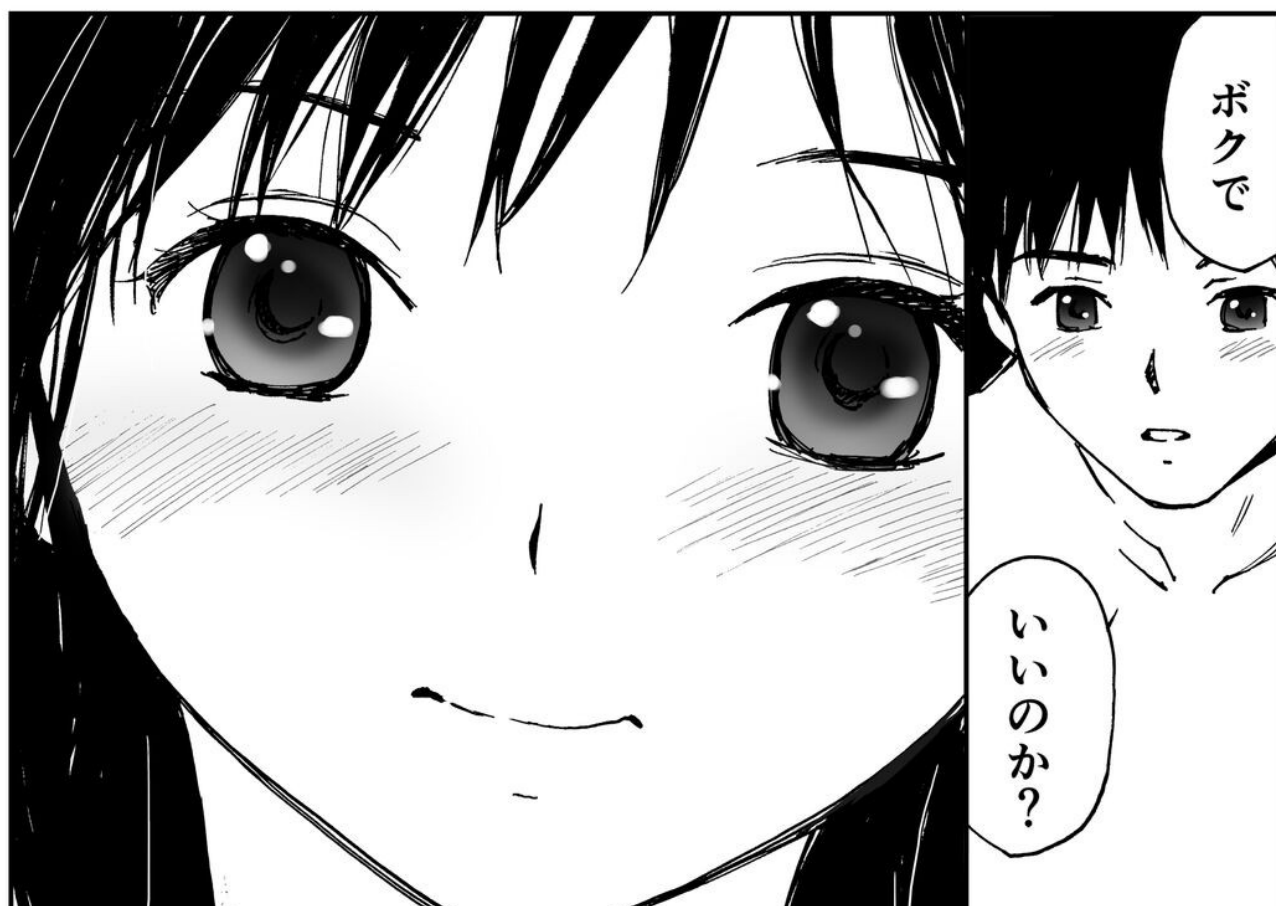
身体……

熱いです……



「こわくない？」

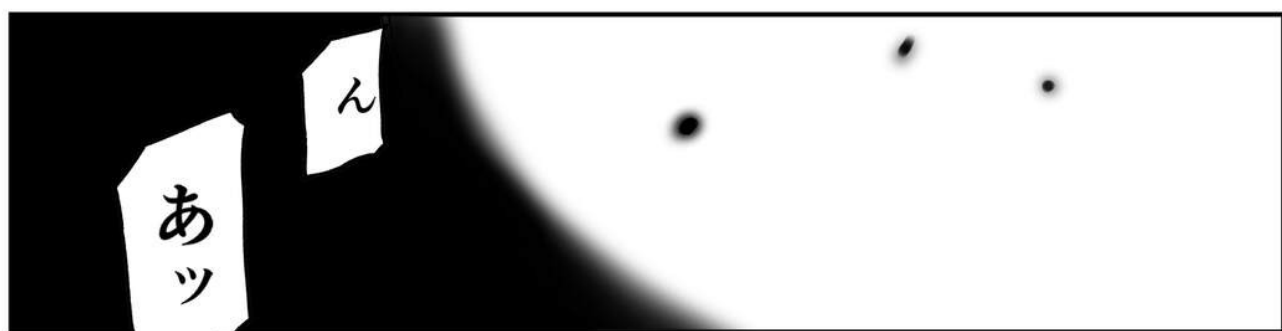
「...こわいより
“したい”って
気持ちの方が
ずっと強いです」





あなたじゃ
なきや

やだ
♡







もう

魂まで

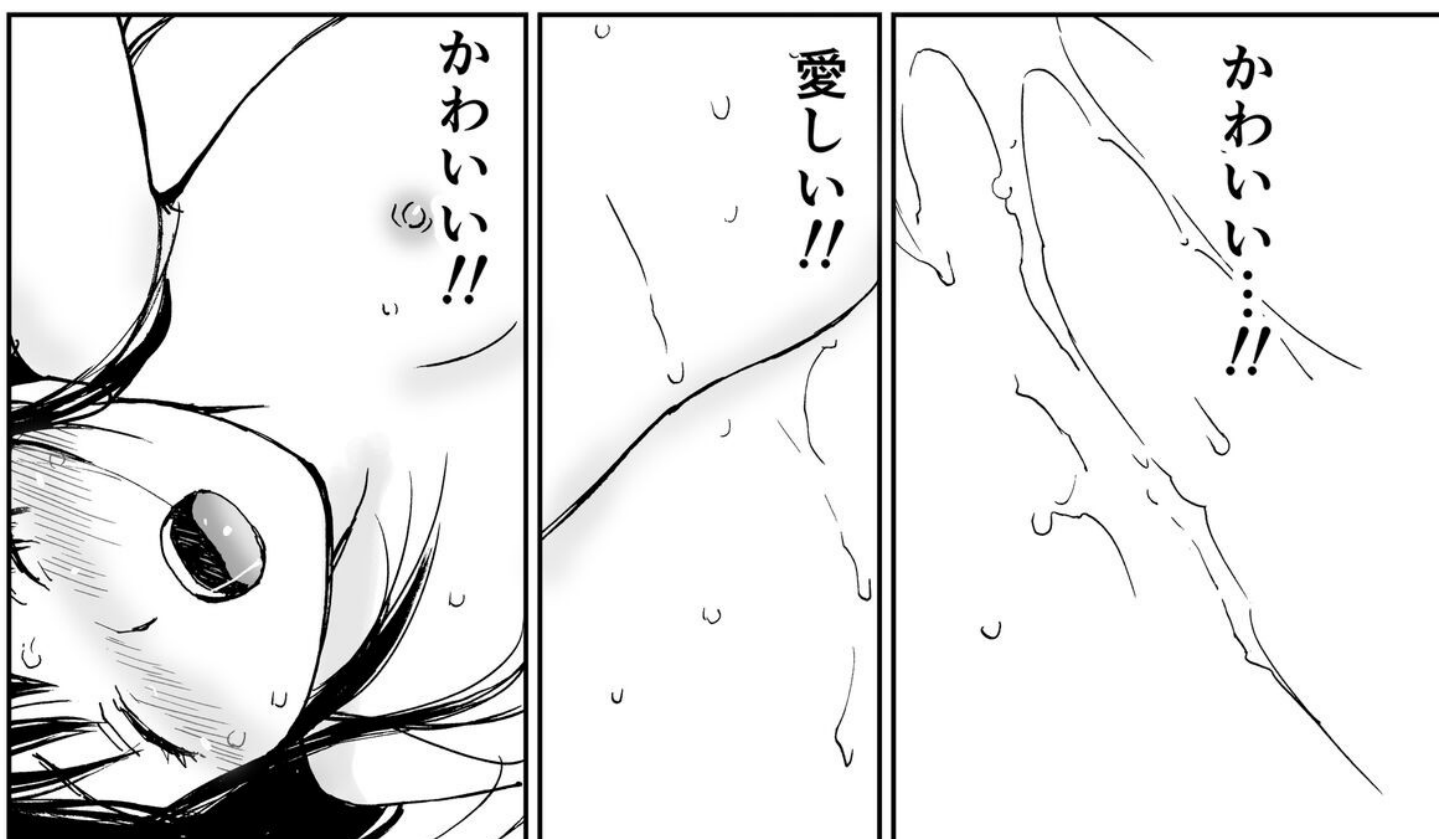
素っ裸になった



はあッ!!

はッ

はあッ!!



かわいい…!!

愛しい!!

かわいい!!



あッ

かわいい!!

ああ...

かわいい!!

かわいい!!

かわいい!!

かわいい!!

かわいい!!

かわいい!!

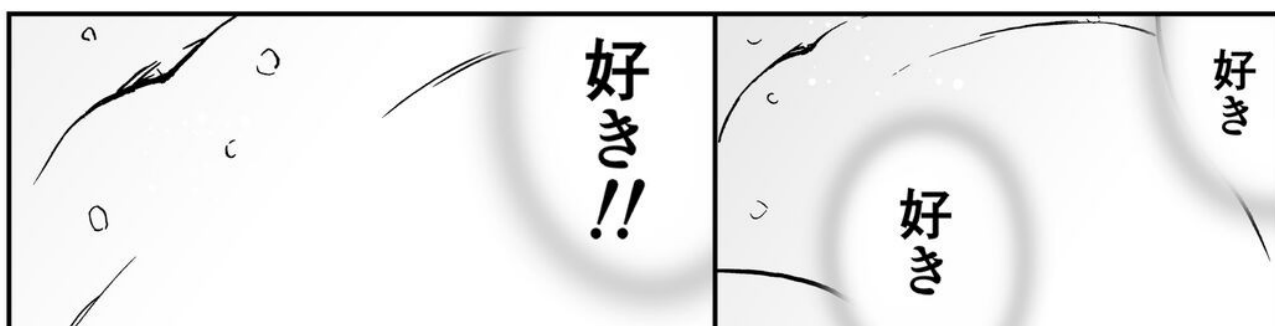
かわいい!!

愛してるッ!!



キゅん...

わたしも...!!





はじめて
全身で
愛し合うことを
体験した…

服
着たく
ならないね

はい♡

世界が
ふわふわ
していた

あー
この音
好きです

トクン
トクンが
ほっぺたに
まで
響いてきます
………

トクン
トクン…
トクン…

なんだか
自分がはじめて
生きものになった
みたいな気分
………

はい

くすぐったいって

笑っちゃいます♡

鼓動に

さわって…



この作品を読んでいただいて、ありがとうございます。
楽しんでいただけたなら、さいわいです。

愛ある漫画。
感動するエッチ漫画をこれからも、描き続けていきたいと思ひます。

大好きな人と愛し合うよろこびは人の一生の中でも
もっとも大きな感動の一つだと思ひます。
読者にそんな体験してもらえろ作品を目指します。

僕の漫画があなたの心を少しでもあたたかくするものでありますように。

良い作品をお届けできるよう、一生懸命がんばります。

田中ユタカ

■Twitter <https://twitter.com/tanakayutak>
どうぞお声をかけてください。
作品の感想などをいただければうれしいです。



■Fantia <https://fantia.jp/fanclubs/16725>
オンラインのファンクラブです。
ご参加をお待ちしています。

